

令和元年度

上田市社会福祉協議会事業報告

(自) 平成31年4月1日 (至) 令和2年3月31日

社会福祉法人 上田市社会福祉協議会



- 目次 -

令和元年度 総括 1～2

No.	事業名	ページ
1	組織図	3
2	職員構成	4
3	法人運営	5～15
4	善意銀行	15～23
5	企画広報	23～24
6	希望の旅事業	24
7	上田市ファミリー・サポート・センター事業	25～27
8	福祉推進事業	27～32
9	点字・声の広報発行事業	32～33
10	日常生活自立支援事業	33～35
11	地域ふれあい事業	35～38
12	上小圏域成年後見支援センター事業	39～46
13	“まいさぼ上田”上田市生活就労支援センター事業	46～48
14	有償在宅福祉サービス事業	48～52
15	心配ごと相談事業	52～54
16	結婚相談事業	54～55
17	たすけあい資金貸付事業	56～59
18	ボランティア地域活動センター事業	59～71
19	地域子育て支援拠点事業	72～73
20	上田市高齢者福祉センター管理事業	73～76
21	上田市丸子老人福祉センター設置管理事業	76～77
22	上田市真田老人福祉センター管理事業	77～78
23	上田市武石老人福祉センター管理事業	78～79
24	真田ふれあいバス運行事業	79～80
25	在宅介護者リフレッシュ事業	80～81
26	上田市ふれあい福祉センター管理事業	81～82
27	上田市真田総合福祉センター管理事業	82
28	上田市真田地域活動支援センター管理事業	83
29	上田市長瀬市民センター管理事業	83～84
30	共同募金配分金事業	84～92
31	地域包括支援センター事業	92～102
32	通所介護事業	102～108
33	居宅介護支援事業	108～112
34	児童館・児童センター事業	113～124
35	その他の事業	124～129

令和元年度 総括

5月1日「令和」の改元と共に新しい時代が始まりました。上田市社会福祉協議会においては、丸山正明会長の退任により、6月25日の理事会において宮之上孝司理事が新会長に選定され、新たな体制がスタートしました。

新体制においては、宮之上会長が掲げる「笑顔 花咲く 上田市社協」をコンセプトに、市民の皆様が一人でも多く笑顔になれるよう職員一人ひとりが質の高い福祉サービスの提供に心がけて来ました。

近年、福祉課題がますます複雑・多様化している中で、課題の解決には地域における連携や新たな支えあいの仕組み作りが求められています。

上田市においては、10月には令和元年東日本台風(台風19号)による各地の甚大な被害があり、令和2年に入っては、新型コロナウイルス感染症の拡大により社会機能が大きく脅かされています。様々な事業が自粛されると同時に、感染症拡大の影響から減収となり、生活維持が難しい世帯への緊急小口資金の貸付の受付が年度末から始まりました。

こうした中、事業計画にある重点施策についても適切な運営実施に努めてまいりました。

第1の「住民参加と協働による地域福祉活動の推進」については、地区社協住民会議が16地区で開催され、延1,197人が参加しました。福祉のまちづくりを目指し住民が主体となって様々な問題意識を持ち、地域福祉に関心と理解を深める会議となりました。

住民支え合いマップについては、令和元年東日本台風の災害を受けて、自治会の要援護者に対する非難誘導の意識が高まりつつあると感じますが、いかに日常の支え合いにつなげていくかが今後課題となっています。福祉推進委員研修会では、住民の社会参加や日常の中での支え合いについて自治会で取り組みやすい事例を学び意識の向上に努めました。

第2の「地域包括支援センターを拠点とした総合的な福祉サービスの推進」については、地域の総合相談窓口として関係機関と連携を図り適切なサービス利用など迅速な対応を行うとともに、地域ケア会議を積極的に開催し、専門職からの具体的なアドバイスを受けることで課題解決につなげることができました。

また、今年度から、地域における支え合いの体制作りを目的とした上田市生活支援体制整備事業の中学校区(第2層)における生活支援コーディネーターを、神川・真田、丸子、武石地域に3人配置しました。住民主体の取り組みが活性化されるよう、話し合いの場である協議体の設置に向け、地域住民に対し各地でコーディネーターの役割と事業の理解を得るための働きかけをしました。

第3の「地域で安心して生活できる環境づくりのための子育て支援事業の推進」については、保護者の就労等で留守家庭が増えていることから児童の放課後等の居場所として児童館・児童センターはますます重要度が増しています。小学校から直接来館したり、小学校の休業日に弁当持参での利用もできるようになったものの、児童館の立地条件や地域性により利用

者数に差が出ています。3月には新型コロナウイルス感染拡大防止のために学校の休校措置が取られ、児童の居場所の確保として午前中から利用できるよう開館時間を延長し対応しました。館内での密の状態を避けるため、利用できる児童を低学年のみとするなど利用制限を設けたことで、今年度の利用者数に影響し、全体としては減少傾向となりました。

子育てひろばでは、子どもの成長に不安を抱えていた母親に対し、上田市や専門機関と連携し安心して入園できるようにつなげるなど親子の交流の場だけでなく相談機関としての機能を果たしました。

また、上田市ファミリー・サポート・センターでは、出張登録や社協内でのお子様の預かりなど初の試みにより事業の周知や登録へと結びつけることができました。

第4の「ボランティア地域活動センターの充実とボランティア活動及び福祉教育の推進」については、令和元年東日本台風の被害を受け、上田市災害対策本部の要請により上田市社会福祉協議会として初の上田市災害救援ボランティアセンターを立ち上げました。開設と同時に長野大学生を始め多くの団体、個人から活動申し込みがあり、82件のニーズ受付に対し、延べ452人のボランティアが被災地区で活動を行いました。また、上田市内の災害救援活動が終息してからは、長野市への災害救援へと移行し、ボランティアセンターへの社協職員派遣や、災害救援ボランティアバスパックを2度実施し、延べ38人のボランティアを現地に派遣しました。

福祉教育においては、小中学校等22件1,479人を対象に高齢者疑似体験や障がい者理解の出前講座を開催し、高齢者や障がいのある方への理解を深め、体験学習を通して、自ら課題を見つけ、学び、考え、判断できる力を育てました。

また、各地区で様々なボランティア養成講座を企画し延べ345人が受講しました。

第5の「地域の福祉ニーズに基づくサービスや先駆的な取組み」については、社協お結びサポーターを、新たに川辺・泉田地区に1人配置し、自治会行事へ訪問し活動調査等の活動を行いました。

“まいさぼ上田”においては、「就労準備支援事業」を市から受託し、これまでの「自立相談支援事業」、「家計改善支援事業」と合わせ、三事業を一体的に結びつけた支援体制づくりに取り組みました。新規相談者の増加に伴い、相談件数も大きく伸びています。

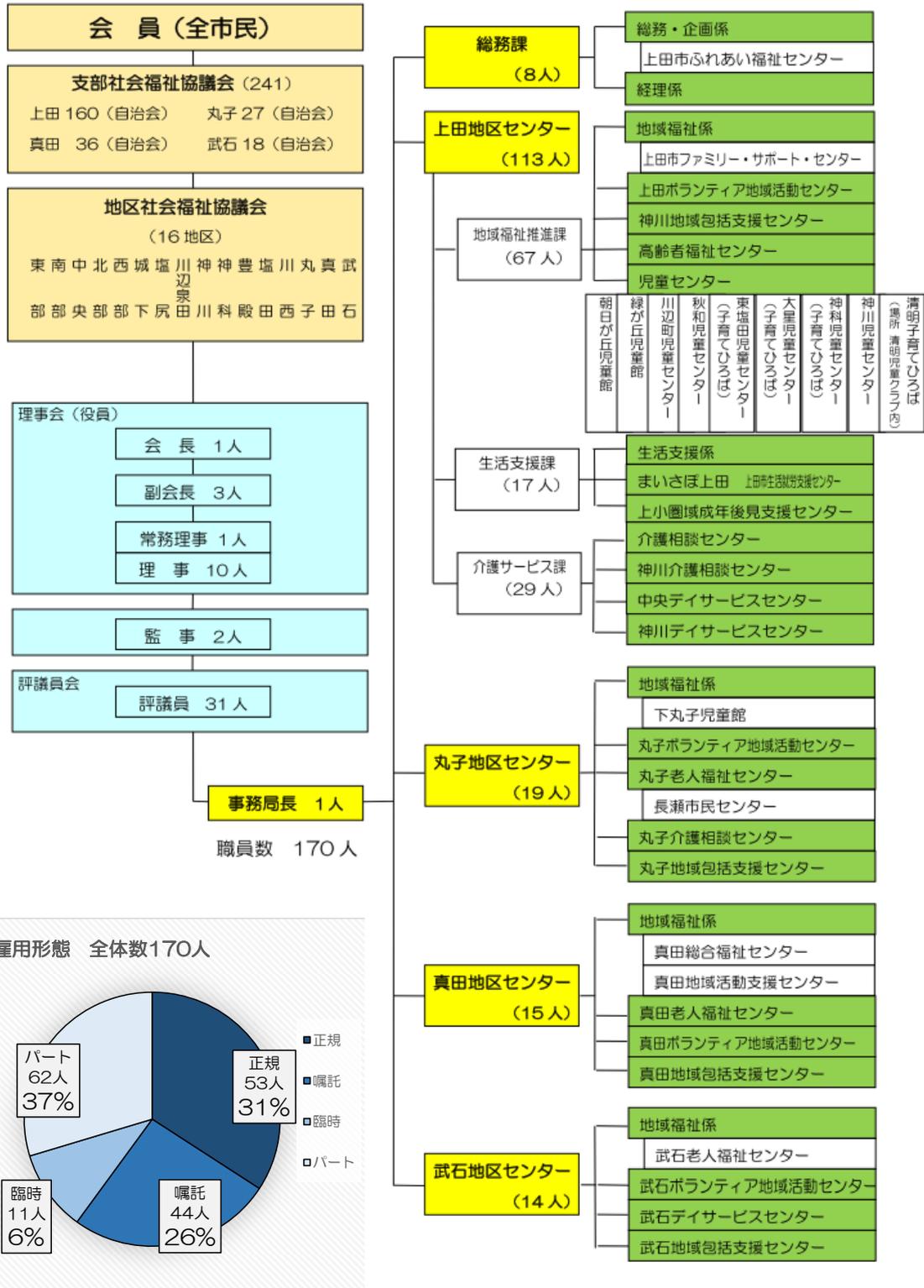
上小圏域成年後見支援センターにおいては、4月から法人後見支援員を雇用し単独での活動が可能となったため、迅速な支援を行うことができました。また、8月には養成過程を経て2人目の市民後見人が誕生しました。

上田市社会福祉協議会では、合併以降の事業精査により8増9減の改革を行い、常に時代が求めるものを見つめ直し、必要とされるものに力を注いで参りました。事業成果及び実施過程の課題検証をし、次年度の事業が効果的に実施できるよう活かしたいと思っております。

1 組織図

上田市社会福祉協議会組織図

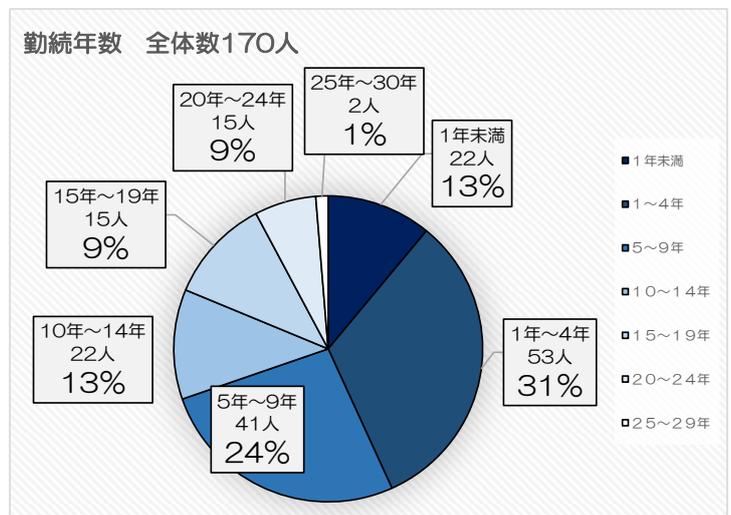
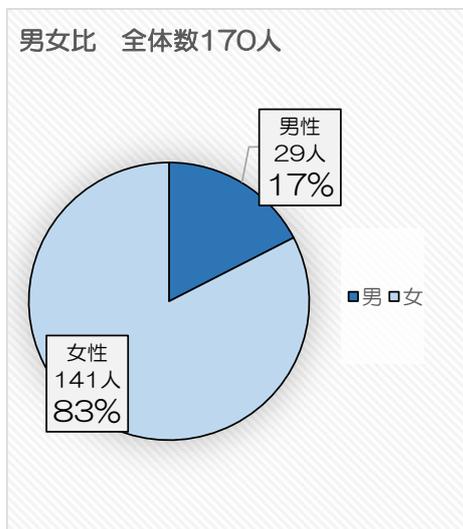
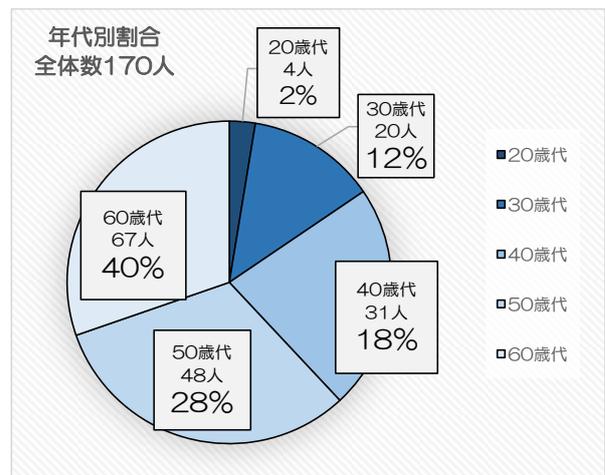
令和2年3月31日現在



2 職員構成 (令和2年3月31日現在)

平均年齢(単位:歳)

	平均年齢
全職員	53.1
正規職員	45.0
非正規職員	56.9



有資格者数(令和2年3月31日現在)

資格種類	人数(人)
社会福祉士	32
精神保健福祉士	8
介護福祉士	32
主任介護支援専門員・介護支援専門員	26
保健師・看護師	10
教諭・保育士	99

3 法人運営

【令和元年度事業費】 177,971 千円

法人運営

事業実績		
(1) 理事会・評議員会		
理事会	第 57 回理事会 6 月 6 日 (木)	【議案内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年度事業報告及び社会福祉事業決算について ・令和元年度社会福祉事業第 1 次補正予算 (案) について ・任期満了に伴う理事、監事候補者の推薦について ・評議員選任・解任委員の選任について ・評議員の選出団体について ・定款の変更について ・定款細則の変更について ・職員就業規則の変更について ・組織規則の変更について ・第 35 回評議員会の開催について
	第 58 回理事会 6 月 25 日 (火)	【議案内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・正副会長及び常務理事の選定について ・顧問の委嘱について ・交代に伴う評議員候補者の選出について
	第 59 回理事会 10 月 11 日 (金)	【議案内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・職員就業規則及び正規職員以外の職員就業規則の一部改正について
	第 60 回理事会 書面決議 2 月 5 日 (水)	【議案内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・第 36 回評議員会の招集について ・理事選出団体の役員改選に伴う理事 1 人の推薦について ・評議員選出団体の役員再選に伴う評議員候補者 9 人の推薦について
	第 61 回理事会 3 月 19 日 (木)	【議案内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・副会長の選定について ・令和元年度社会福祉事業第 2 次補正予算 (案) について ・令和 2 年度事業計画及び資金収支予算 (案) について ・役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の変更について ・第 37 回評議員会の開催について

評議員会	第 35 回評議員会 6 月 21 日(金)	【議案内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年度事業報告及び社会福祉事業決算について ・令和元年度社会福祉事業第 1 次補正予算(案)について ・任期満了に伴う理事、監事の選任について ・定款の変更について ・定款細則の変更について
	第 36 回評議員会 書面決議 2 月 29 日(土)	【議案内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・理事 1 人の選任について
	第 37 回評議員会 3 月 27 日(金)	【議案内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度社会福祉事業第 2 次補正予算(案)について ・令和 2 年度事業計画及び資金収支予算(案)について ・役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の変更について

(2) 会長業務執行状況

月 日	内 容
4 月 5 日	日常生活自立支援事業 支援員委嘱状伝達式
8 日	定例課長会議
17 日	上田市民生委員・児童委員協議会役員会
22 日	お結びサポーター委嘱式
23 日	高齢者学園入学式
5 月 10 日	上田市関係部局連絡会
13 日	定例課長会議
16 日	社会福祉法人のどか特養「神川苑」見学
17 日	上田市民生委員・児童委員協議会総会
29 日	福祉推進委員連絡協議会地区会長会
6 月 6 日	第 57 回理事会
7 日	上田市福寿クラブ連合会総会
10 日	定例課長会議
12 日	寄付贈呈式(林工務店)
14 日	地区社協正副会長会
21 日	第 35 回評議員会
25 日	第 58 回理事会
26 日	新会長就任あいさつ回り(～7 月 1 日)
28 日	上田市共同募金委員会 真田地区社協総会

7月	3日	上田市民生委員推薦委員会
	4日	社会を明るくする運動上田大会
	6日	丸子いきいきフェスティバル
	12日	定例課長会議 長寿園理事会
	16日	身障協マレットゴルフ大会
	18日	福祉推進委員全体研修会
	20日	社会福祉法人のどか特養「神川苑」開所式
	23日	社協決算報告会
	24日	社協評議員選任解任委員会
	25日	苦情解決第三者委員会
	27日	上田わっしょい
	29日	上田市人権尊重まちづくり審議会
	30日	元埼玉県社協次長来訪
8月	2日	長寿園夏祭り
	5日	信州上田大花火大会
	6日	佐久市社協小林会長と会談
	8日	定例課長会議
	9日	社協役員施設見学会
	19日	寄付贈呈式(メンネルコール我謝)
	21日	上小地域包括医療協議会臨時総会
	26日	上田市名誉市民称号贈呈式
	27日	長野県社会福祉協議会トップセミナー(塩尻市)
	29日	豊殿ふれあいサロン運営委員会定期総会
	31日	上田市防災訓練
9月	3日	中央デイ利用者100歳祝
	4日	第13回上田市社会福祉大会表彰審査委員会
	8日	神科地区住民会議
	10日	定例課長会議
	18日	信州上田医療センター地域医療諮問委員会
	20日	長野県社会福祉大会(駒ヶ根市)
	24日	長寿園理事会
	25日	丸子地域シルバースポーツ大会
	26日	南部地区社協住民会議
10月	1日	社会福祉法人別所清明会 別所温泉長寿園 評議員会
	3日	第1回上田市総合計画審議会「福祉健康部会」
	4日	第14回人権を考える市民の集い

10月	5日	第41回うえだ市民ふれあい広場（上田創造館）
	9日	寄付贈呈式（美し信州建設）
		第59回理事会
	11日	第13回上田市社会福祉大会運営委員会
		定例課長会議
	14日	上田市災害救援ボランティア立ち上げ
	17日	台風19号による市内の被害状況の確認（神川、丸子、真田地区）
	18日	台風19号による市内の被害状況の確認（鹿教湯）
	19日	第42回上田市高齢者文化祭
		豊殿地区社協住民会議
		神川地区社協住民会議
	20日	上野が丘公民館運動会 ※中止
	25日	西部地区社協住民会議
	26日	真田地区社協住民会議
	30日	川西地区社協住民会議
11月	1日	第13回上田市社会福祉大会
	3日	第36回砥石・米山城まつり
	5日	定例課長会議
		第2回上田市総合計画審議会（第2回全体会、第2回福祉健康部会）
	7日	上田市民生委員・児童委員協議会 役員会・慰労会
	10日	第23回上小「いい歯の日フェスタ」
	11日	上田地区民生委員・児童委員慰労会
	12日	城下地区社協住民会議
	13日	寄付贈呈式（ガールスカウト長野県第5団）
	14日	東部地区社協住民会議
	18日	丸子地区社協住民会議
		第37回上小地域健康の集い
	19日	北部地区社協住民会議
		塩田地区社協住民会議
	20日	武石地区社協住民会議
	22日	令和元年度上田市功労者表彰式
	26日	2019年度上田市戦没者追悼式・遺族大会
	27日～	役職員視察研修
	28日	岩手県南三陸町
12月	5日	定例課長会議
		市議会厚生委員会災害救援ボランティア活動報告会
	6日	寄付贈呈式（「小さな親切」運動上田支部）

12月	7日	令和元年度丸子ボランティア連絡協議会定期交流会
	10日	民生委員・児童委員委嘱書伝達式
	11日	武石地区 社協お結びサポーター委嘱式 社協中間決算報告
	14日	上田青年会議所卒業式・年忘れの宴
	16日	福祉推進委員連絡協議会地区会長会
	18日	信州上田医療センター地域医療諮問委員会
	19日	第3回市総合計画審議会福祉健康部会
	20日	退任民生委員・児童委員感謝状贈呈式 上田ライオンズクラブ クリスマス家族例会
	23日	寄付贈呈式(赤十字奉仕団) 寄付贈呈式(個人)
	26日	寄付贈呈式(上田西ロータリークラブ)
	27日	仕事納めの式
1月	6日	仕事始めの式 新年挨拶回り
	8日	上田商工会議所新春賀詞交換会
	9日	定例課長会議
	11日	第20期「安心」の地域づくりセミナー開講式 上田青年会議所 2020年度新年懇親会
	15日	上田地域定住自立圏共生ビジョン懇談会
	20日	台風19号被災状況の確認(長野市穂保地区)
	22日	上田市災害義援金配分委員会
	23日	第4回上田市総合計画審議会「福祉健康部会」
	24日	上田地区保護司会 新年懇親会
	26日	上田市視覚障害者福祉協会 新春交流会 NPO法人子育て応援団ぱれっと内閣府特命大臣表彰受賞記念パーティー
	28日	寄付贈呈式(信越郵便局長協会)
	31日	上田市中心市街地活性化協議会総会
2月	1日	高齢者の健康を考える集い
	5日	上田市民生委員・児童委員協議会役員会懇親会
	7日	定例課長会議
	12日	上田市特殊詐欺被害防止連絡協議会
	14日	第1回社協広報委員会
	15日	多文化共生推進協会10周年記念式典・祝賀会
	18日	市総合計画審議会・全大会・部会

2月	19日	県シニア大学卒業式
		寄付贈呈式(さくら国際高等学校)
	23日	設立総会「千曲川洗濯大作戦」
	26日	地域福祉推進フォーラム ※中止
	29日	安心の地域づくりセミナー閉講式 ※延期
3月	1日	多文化共生事業「ランチ交流会」 ※中止
		上田ライオンズクラブ「車いす贈呈」例会 ※延期
	4日	別所清明会長寿園理事会
	5日	定例課長会議 ※延期
	6日	真田地区福祉推進委員・福祉委員研修会 ※中止
	7日	令和元年度上小ブロック社協役員研修会 ※中止
	10日	令和元年度高年齢者学園卒業式 ※延期
	11日	第53回正副会長会
	13日	市総合計画審議会中間答申
	17日	上田市身体障害者福祉協会連合会「イーちゃんの白い杖」映画上映会 ※中止
	18日	信州上田医療センター地域医療諮問委員会 ※中止
	19日	第61回理事会
	20日	令和元年度長野大学卒業証書・学位記授与式 ※卒業生と教員のみに変更
	22日	第1回千曲川洗濯大作戦 ※中止
	23日	社会福祉法人別所清明会 別所温泉長寿園 評議員会
	25日	令和元年度上田市防災会議 ※中止
	27日	第37回評議員会

※ その他内部用務

職員採用面接、辞令交付、事務処理 等

(3) 関係機関との懇談会

5月10日(金) 上田市関係部局との連絡会

(4) 表彰審査委員会

9月4日(水) 第13回上田市社会福祉大会表彰審査委員会

(5) 視察研修

役職員研修 11月27日(水)・28日(木) 宮城県南三陸町

(6) 理事・監事社協事業見学 8月9日(金)

(7) 苦情解決第三者委員会

7月25日(木) 上田市ふれあい福祉センター

平成30年度苦情状況：苦情件数 20件 ヒヤリハット 23件 意見要望 2件

(8) ブロック会議

6月24日(月) 上小ブロック社協連絡会

(9) 福祉人材の育成

社会福祉士受験資格取得のための実習指導 5人(長野大学4人 群馬医療福祉大学1人)

(10) 災害救援職員派遣(長野市) 延べ人数 32人 延べ活動日数 15日

DSAT(災害初動時における先遣チームスタッフ) 2人 延べ活動日数 10日

社協会費

【事業概要】

社協の会員制度は、市民一人ひとりが福祉に関心を持ち、積極的に地域の福祉活動に参加していただくことを目的としている。

会員になることが、福祉活動に参加することと同じ意味を持っており、財政面だけでなく、地域福祉を支える大きな力になる。地域福祉の主役である市民と、それを推進する社協が一体となり、福祉のまちづくりを行うために欠かせない仕組みとして、会員会費制を取り入れている。

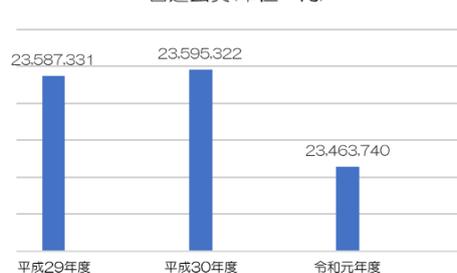
事業実績

全市民の会員会費制による社協会費は、貴重な財源であり、広く地域福祉活動に活用した。

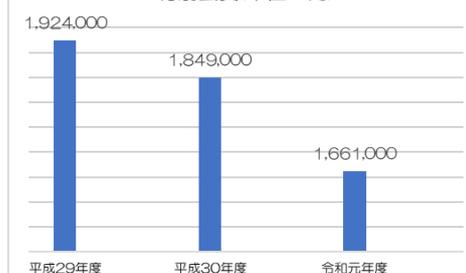
(1) 社協会費納入実績・推移

	平成 29 年度 (平成 30 年 3 月 31 日現在)	平成 30 年度 (平成 31 年 3 月 31 日現在)	令和元年度 (令和 2 年 3 月 31 日現在)
普通会費 (円)	23,587,331	23,595,322	23,463,740
特別会費 (円)	1,924,000	1,849,000	1,661,000
法人会費 (円)	2,425,136	2,578,000	2,533,000
団体会費 (円)	167,000	182,000	176,000
合 計 (円)	28,103,467	28,204,322	27,833,740

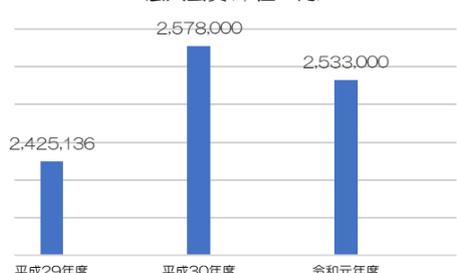
普通会費(単位：円)



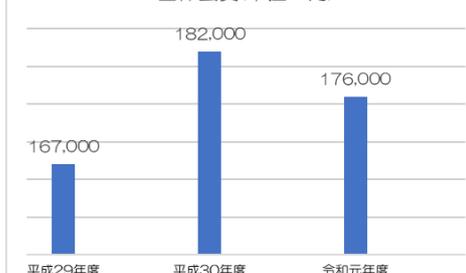
特別会費(単位：円)



法人会費(単位：円)



団体会費(単位：円)



合 計		
平成29年度	28,103,467	
平成30年度	28,204,322	
令和元年度	27,833,740	
評価・課題		
<p>普通会費、特別会費、法人会費、団体会費の納入について、予算額は超えたが、総額は、昨年度より減額になった。</p> <p>自治会からの納入額が減少してきている。世帯数が減ってきているわけではないが、高齢一人世帯などで自治会費が免除されている世帯に対し、自治会としても集金しづらい現状があるようだ。</p> <p>減少傾向にはあるが、経年推移をみると大きな変動はなく、一定の水準は保っていると言える。ただこの水準を維持していくために、今後も社協活動について理解を深めるように働きかけを行い、広く社協事業のPRをしていく。</p> <p>また、令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会費の納入について、時期や依頼方法等、慎重に検討していく必要がある。</p>		

社会福祉大会

【事業概要】

市内の社会福祉功労者や優良団体の表彰とその時代の福祉情勢に応じた課題に対し毎年講演会を開催している。自治会長や民生委員・児童委員、福祉推進委員や市民などが来場され、毎年盛大に行われている。また、長野県社会福祉大会には、理事、監事、評議員が参加している。

事業実績
<p>(1) 上田市社会福祉大会</p> <p>11月1日(木) サントミュージゼ大ホール 参加者 約1,200人</p> <p>ア 内 容</p> <p>(ア) 式 典 … 表彰者 50人、3団体 感謝状 2人、1団体</p> <p>(イ) アトラクション 社協お結びサポーターと社協職員による健康体操</p> <p>(ウ) 講 演「みんなと 仲良く すこやかに」 講 師 戸兵 周一 氏 (豊殿診療所 所長)</p>



「第13回上田市社会福祉大会の様子」



「講演会の様子」

(2) 長野県社会福祉大会

9月20日（金） 駒ヶ根市文化会館 上田市から28人参加

ア 内容

(ア) 大会式典、表彰、共同募金に対する謝辞、信州共生みらいアイデアコンテスト2019、講演

(イ) 表彰者(上田市のみ)

・長野県社会福祉協議会会長表彰

(ボランティア団体表彰)：ふれあい日本語教室、NPO 法人ほこほコネクト

(永年勤続者表彰)：石井栄子、小野里猛、島田秀子、中村洋子、宮下敏

(ウ) 講演

『ごちゃまぜで挑む 共生の地域づくり』

講師：雄谷良成（公益社団法人 青年海外協力協会 会長）

評価・課題

上田市社会福祉大会では、市内の社会福祉功労者や優良団体の表彰とその時代の福祉情勢に応じた課題に対し毎年講演を開催している。

自治会長や民生委員・児童委員、福祉推進委員や住民の方などが来場され、盛大に行われた。課題としては、表彰者をより広い団体から挙げてもらう工夫を考えていく必要がある。

人材育成

【事業概要】

専門性を高めるとともに視野を広げ、スキルアップを図るための研修会への積極的な参加を進めている。

事業実績

(1) 職員研修

ア 内部研修

上田市社協職員経理研修会、新人職員研修会、AED 研修会、事例検討会等

イ 外部研修

市町村社会福祉協議会実務者研修会、上小地区権利擁護専門職合同学習会、権利擁護推進セミナー、長野県地域福祉コーディネーター総合研修会、社会福祉法人トップセミナー、人事評価研修会、全社協管理職員研修会、市町村社協労務セミナー、苦情解決システム研修会、精神保健福祉担当者基礎研修会、生活困窮者自立相談支援事業従事者養成研修会、ひきこもり相談担当者研修会、10 包括合同研修会、介護予防ケアマネジメント研修会、介護支援専門員実習指導者養成研修会、認定調査員現認研修会、長野県高齢者虐待対応研修会、子育て全国フォーラム等

評価・課題

多様な職種が混在する社協では、外部における専門性の高い研修を多く取り入れスキルアップを図った。課題として社協職員としての意識改革が求められており、今後職員が参加しやすい開催時期、開催時間など検討を重ね、職員全員を対象に取り組んでいきたい。

出前講座

【事業概要】

依頼に基づき、社協職員が、自治会、企業、団体等に出向き、各種講座を無料で行っている。

事業実績

自治会や団体等から依頼があり、社協職員が講師として出向いた。

講座名	回数	主催者
うさたま出張	2回	上川原柳町自治会、中之条自治会
いきいき体操	15回	いきいき仲間の会、緑が丘西自治会、上原自治会、上田市連合婦人会、緑が丘北自治会、シニアクラブ百動会、竹室自治会、中之条自治会、舞田自治会、浦野自治会、千曲町自治会、沢田福寿会、
タオル犬作り	5回	上常田自治会、久保林自治会、岩下福祉協議会、木町自治会、
地域ふれあい事業について	1回	川西地区社会福祉協議会
住民支え合いマップについて	2回	緑が丘北自治会、緑が丘西自治会
成年後見制度について	2回	川西地域包括支援センター、上小山びこ会
介護保険制度について	1回	神科地区福祉推進委員会
エンディングノートについて	4回	神科地域包括支援センター、いきいき仲間の会、秋和自治会、上田地域シルバー人材センター女性班
その他(小物作り)	2回	十林寺自治会、赤井自治会

合計 33回実施



「タオル犬作りの様子」



「うさたま出張の様子」

評価・課題

昨年の実績 33 件に対し、今年度は 36 件の依頼があった。内訳としては、自治会からの要請が多かった。令和元年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、予定されていた出前講座が 1 件延期、2 件中止となり実施回数は 33 回となった。

出前講座は、社協職員が、地域の人たちとの交流が持てる良いきっかけとなっている。依頼内容を見るとタオル犬作りやいきいき体操など参加型のものが多いので、飽きられないようもっと講座内容を見直し充実させたい。

4 善意銀行

【令和元年度事業費】 7,013 千円

【事業概要】

市民の皆様や企業・団体から寄せられた金品を必要とされている方や学校、施設等へ受け渡す「橋渡し」を行っている。

事業実績

個人、団体、法人等の皆さまから多くの金品を御寄附いただき、社会福祉活動に役立たせていただいた。

(1) 金銭寄付

(敬称略)

月 日	金 銭(円)	氏 名	備 考
5 月 16 日	1,594	匿名	
5 月 22 日	19,805	匿名	東日本大震災義援金として 10,094 円 平成 30 年 7 月豪雨災害義援金として 9,711 円
5 月 29 日	10,700	上田山草会	
6 月 4 日	50,000	八十二銀行六文銭会	
6 月 10 日	6,021	匿名	丸子地域へ
6 月 17 日	1,000	高野昭三	

6月18日	30,000	旧上田市保健補導員OB 竹の会	平成30年7月豪雨災害義援金として
8月19日	104,000	メンネルコール我謝	
8月19日	51,001	ビューティーサロンさつき	カット収益金 39,000円 お客様からの募金 12,001円
9月3日	20,000	西塩田夏まつり実行委員会	塩田西小学校へ
9月20日	24,560	丸子ゴルフ大会実行委員会	丸子地域へ
10月4日	2,085	生塚自治会	佐賀県豪雨災害義援金として
10月7日	1,000,000	故 小林美智江	
10月8日	10,000	匿名	
10月9日	180,000	美し信州建設(株)	豊殿ひなたぼっこ おけまる食堂 にじいろカフェへ 60,000円ずつ
10月10日	50,000	匿名	丸子地域へ
10月23日	60,914	上田市立武石小学校	
10月25日	5,340	つくしの会	
10月29日	3,100	上田市多文化共生推進協会(AMU)	
10月29日	17,940	上田市少年少女合唱団	台風19号義援金(上田市)として
10月30日	30,505	青木ダンスサークル	台風19号義援金(上田市)として
10月31日	21,591	豊殿まちづくり協議会振興部会	台風19号義援金(上田市)として
11月5日	30,000	旧上田市保健補導員会OB ボランティアグループ竹の会	台風19号義援金(上田市)として
11月13日	77,234	ガールスカウト長野県第5団	台風19号義援金(上田市)として
11月14日	30,000	のんびりカフェ	台風19号義援金(上田市)として
11月8日	10,820	株式会社 夢グループ	
11月14日	50,000	匿名	手をつなぐ育成会へ
11月15日	500,000	甲田利廣	台風19号義援金(長野県)として
11月15日	12,666	匿名	台風19号義援金(上田市)として
11月18日	2,803	砥石昇三	
12月2日	100,000	匿名	チャイルドラインうえだへ
12月5日	10,000	匿名	
12月12日	5,000	匿名(掲載不可)	うえだ市民ふれあい広場へ
12月12日	23,375	柳澤政次	台風19号災害義援金(長野市)として
12月18日	10,000	金井八重子、小平律子	
12月19日	50,000	陽泰寺仏教婦人会	台風19号災害義援金(上田市)として
12月23日	501,870	上田市赤十字奉仕団	台風19号災害義援金(上田市)として

12月23日	2,000,000	匿名	台風19号災害義援金（上田市）として
12月23日	5,000	匿名	
12月24日	30,500	園芸福祉グリーンドア	上田ボランティア地域活動センターへ
12月25日	100,000	ふれあい広場 i n さなだ	台風19号災害義援金（上田市）として
12月26日	271,503	上田青年会議所	台風19号災害義援金（上田市）として
12月26日	30,000	匿名	台風19号災害義援金（上田市）として
12月26日	47,000	上田西ロータリークラブ	
12月27日	10,000	第十二教区曹洞宗青年会	
1月17日	10,215	匿名	
1月30日	20,000	日本基督教団 上田新参町教会	
2月4日	6,165	匿名	台風19号災害義援金（上田市内）として
2月7日	15,564	上田友の会	
2月7日	22,565	匿名	台風19号災害義援金（長野県内）として
2月14日	195,957	上田市立真田中学校生徒会	
2月18日	23,245	平成5年度上田市立第五中学校 5組卒業生保護者有志	
2月19日	60,000	さくら国際高等学校 煌桜祭チャリティ部	
2月28日	307	匿名	
3月3日	50,000	窪田建設（株）OCF研究会	台風19号災害義援金（長野県内）として
3月3日	43,635	窪田建設（株）OCF研究会	
3月25日	5,010	グループ何があるかな	
3月25日	856	匿名	

(2) 物品寄付

(敬称略)

月 日	物 品	氏 名	備 考
4月1日	使用済切手	上田間税会	
4月9日	飲料	からだ元気治療院 上田店	
4月17日	(1) 文房具一式 (2) 未使用切手 62円10枚、82円10枚	匿名	
4月19日	(1) 毛糸 (2) おむつ（バラ）	匿名	
4月22日	未使用切手 10円20枚、20円40枚	新田長生会サロンこすもす	ボランティア地域活動センターへ
5月9日	尿取りパッド 7袋	匿名	
5月9日	使用済切手	常入ふれあい会	

5月16日	(1) 未使用切手 7円28枚、40円11枚、 80円40枚、82円7枚、 130円39枚 (2) 304円分の切手シート	匿名	
5月20日	お米30kg	匿名	
5月21日	飲料10本	からだ元気治療院 上田店	
5月22日	(1) 子ども用車いす 1台 (2) 3人掛けソファ2つ	キリングroup労働組合協議会	丸子地区センターへ
5月22日	毛糸	匿名	
5月29日	(1) 使用済切手 (2) 使用済テレホンカード	幸福の科学 上田支部	
6月10日	(1) タオル65枚 (2) 衣類17点	匿名	
6月12日	車いす1台	(株)林工務店	
6月14日	紙おむつ4袋	匿名	
6月27日	飲料8本	からだ元気治療院 上田店	
7月1日	お米4kg	匿名	丸子地区センターへ
7月19日	使用済切手	匿名	
7月22日	紙おむつ5袋	匿名	
7月26日	ぬいぐるみ2点	匿名	
7月29日	(1) 未使用切手 20円4枚、30円4枚、 40円48枚、50円4枚 (2) 外国通貨・紙幣 約2700円分	新田長生会サロンこすもす	
7月31日	飲料8本	からだ元気治療院 上田店	
8月9日	毛糸	船橋良子	
8月9日	(1) 紙おむつ 1袋 (2) ペット用シーツ	匿名	
8月9日	(1) 尿取りパッド 3袋 (2) 紙おむつ 3袋	匿名	
8月14日	使用済切手	匿名	
8月26日	(1) 掛布団 2枚 (2) タオルケット 2枚	匿名	
8月28日	毛糸	匿名	
8月28日	(1) 使用済切手 (2) タオル 3箱	幸福の科学 上田支部	

8月29日	未使用年賀はがき 50円91枚	匿名	
8月29日	使用済切手	匿名	
8月30日	飲料16本	からだ元気治療院 上田店	
9月6日	マスコット猫 100個	Chi-ku 竹庵	武石デイサービスセンターへ
9月12日	紙おむつ3袋	匿名	
9月30日	(1) 未使用切手 10円15枚、20円46枚 (2) 未使用はがき 7円5枚、62円15枚	新田長生会サロンこすもす	ボランティア地域活動センターへ
9月30日	飲料 8本	からだ元気治療院 上田店	
10月3日	信州みそ 10kg	匿名	うえだ市民ふれあい広場へ
10月7日	使用済切手	匿名	
10月15日	マスク 500枚	匿名	災害ボラ用
10月15日	玄米 30kg	匿名	
10月16日	使用済切手	匿名	
10月16日	(1) 飲料 (2) 経口補水液 OS1 ゼリー 120個 (3) 経口補水液 OS1 飲料 96個	(株)大塚製薬工場	災害ボラ用
10月16日	飲料 4箱	匿名	災害ボラ用
10月17日	栄養ドリンク 5箱	匿名	災害ボラ用
10月17日	マスク 300枚	匿名	
10月21日	みかん 10kg	尾畑啓嗣	災害ボラ用
10月23日	防塵マスク 40個	上田労働基準監督署	災害ボラ用
10月23日	食品(乾麺、お茶漬け、ふりかけ)	匿名	
10月24日	(1) おむつ3袋 (2) 尿取りパッド1袋	匿名	
10月24日	飲料 5ケース	北陸コカ・コーラボトリング (株)東信支店	災害ボラ用
10月25日	(1) タオル 400枚 (2) 雑巾 370枚	(株)トーカイ 松本支店	災害ボラ用
10月25日	(1) スコップ 2本 (2) タオル 20枚	匿名	災害ボラ用
10月28日	(1) お米 30kg (2) タオル 20枚	大塚農園	
10月28日	未使用はがき 57円33枚	新田長生会サロンこすもす	ボランティア地域活動センターへ

10月28日	観葉植物 2鉢	会田保良	
10月29日	(1) 防塵マスク 400個 (2) タオル 620枚	フコク生命外野クラブ松本支社	災害ボラ用
10月30日	(1) 杖 1本 (2) ボディーソープ 2本 (3) 食器用洗剤 1本	小林諒	
10月31日	(1) タオルギフトセット 2箱 (2) クオカード 1枚 (3) テレビカード 1枚 (4) アメニティグッズ	幸福の科学 上田支部	
10月31日	飲料、菓子 11点	からだ元気治療院 上田店	
11月6日	赤ちゃん用おしりふき 3個	匿名	
11月7日	(1) 土嚢袋 200枚 (2) 雑巾 100枚	豊中市社会福祉協議会	災害ボラ用
11月8日	尿取りパッド 6箱	匿名	
11月14日	(1) タオル (2) 洗剤 14箱	匿名	
11月18日	タオルの雑巾 230枚	真田モチーフの会	
11月26日	未使用切手 40円 38枚	新田長生会サロンこすもす	ボランティア地域活動センターへ
11月26日	パーティクイーンキッチンセット1つ	匿名	神科児童センターへ
11月27日	(1) 未使用はがき 50円 10枚 (2) 未使用切手 1円 1枚、2円 1枚、 15円 1枚、52円 2枚、 50円 10枚、84円 5枚、 140円 1枚、200円 2枚、 500円 1枚	匿名	
11月28日	食品 6点	匿名	
11月29日	(1) 菓子 2点 (2) 飲料 9本	からだ元気治療院 上田店	
12月3日	(1) タオル 72枚 (2) 雑巾 3枚	長野県理容生活衛生同業組合 上小支部	
12月6日	車いす 1台	「小さな親切」運動上田支部	
12月10日	(1) お米 9kg (2) 食品 12点	匿名	
12月12日	(1) お皿 2点 (2) 衣類 2点	匿名	

12月16日	お米 30kg 4袋	匿名	
12月16日	(1) 上掛け 1枚 (2) ティッシュ 5箱 (3) タオル 9枚 (4) スポーツタオル 1枚	幸福の科学 上田支部	
12月17日	尿取りパッド 1袋	匿名	
12月18日	(1) 飲料 6本 (2) 菓子 4点	からだ元気治療院 上田店	
12月18日	絵本 104冊	シニア大学第43期生 1学年	
12月18日	使用済切手	中之条簡易郵便局	
12月19日	日用雑貨一式	陽泰寺仏教婦人会	上田市台風19号災害 義援金
12月20日	(1) 登山用リュック 1つ (2) 着物帯 2枚	匿名	
12月27日	お米 90kg	匿名	
1月9日	未使用切手 20円36枚	新田長生会サロンこすもす	
1月16日	マッサージチェア 1台	依田幸紀	丸子老人福祉センターへ
1月17日	(1) 固形石鹸 37個 (2) ハンドソープ 8個	匿名	
1月17日	使用済切手	豊里郵便局	
1月17日	使用済切手	匿名	
1月23日	使用済切手	滋野郵便局	
1月27日	使用済切手	匿名	
1月28日	車いす 1台	信越郵便局長協会	
1月31日	(1) 飲料 7本 (2) 菓子 3点	からだ元気治療院 上田店	
1月31日	使用済切手	匿名	
2月10日	毛糸	匿名	
2月13日	使用済切手	三好町郵便局	
2月17日	(1) 紙おむつ 3袋 (2) 尿取りパッド 3袋	匿名	
2月19日	(1) 布団 1枚 (2) 毛布 1枚 (3) 衣類 1着 (4) タオル 1枚 (5) 雑貨 7点	匿名	

2月25日	(1) 使用済切手 (2) 書き損じはがき 62円2枚 (3) 未使用はがき 50円200枚、62円59枚 (4) テレホンカード	上田市赤十字奉仕団	
2月27日	(1) 飲料 9本 (2) 菓子 4点	からだ元気治療院 上田店	
2月28日	毛糸、タオル	幸福の科学 上田支部	
3月5日	(1) 毛糸、シーツ類 (2) 未使用はがき 50円81枚 (3) 年賀はがき 41円5枚、50円67枚 (4) 書き損じはがき 41円12枚、50円75枚	匿名	
3月6日	もち米 20kg	樋沢健一	
3月9日	(1) 使用済み切手 (2) 書き損じはがき 52円14枚、63円6枚 (3) タオル	上田市商工会議所 女性会	タオル→指定寄付： ハッピーシニアリビングへ
3月10日	使用済み切手	青木村ボランティアの会	
3月10日	使用済み切手	東御郵便局	
3月13日	使用済み切手	上田郵便局	
3月19日	(1) ランニングマシン 1台 (2) 長いす 1脚	匿名	(1) ランニングマシン →丸子老人センターへ (2) 長いす →高齢者福祉センターへ
3月24日	(1) シーツ類 32点 (2) 食器類 3点 (3) 電気ポット 1個	匿名	
3月23日	マスク 930枚	(株) 夢グループ	社会福祉施設へ
3月31日	雑巾 16枚	宅老所おおら	
3月31日	飲料、菓子 10点	からだ元気治療院 上田店	

金銭寄付合計	6,061,446 円
物品寄付合計（金額換算）	951,592 円
寄付合計	7,013,038 円
評価・課題	
多くの市民から寄付の申出を受け入れることができた。近年、災害が続いており、義援金の受付数が増えている。義援金等、指定寄付に関しては、寄付者の希望に沿い、受け渡しをすることができた。	

5 企画・広報

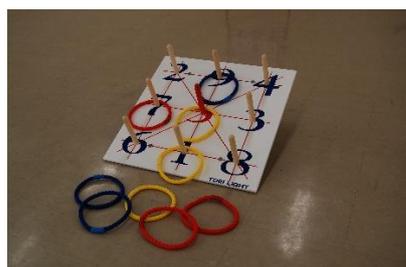
【令和元年度事業費】 2,662 千円

【事業概要】

事業や福祉推進に関する調査研究を行うと共に福祉関係情報の収集及びその広報PRを行っている。

事業実績	
<p>(1) 新たな事業の企画に向けた調査・研究</p> <p>自治会訪問時に要望の聞き取りや、社協活動の中で出てきた市民からの意見をもとに、社協の特性を活かした出前講座の内容検討や新たな事業の企画等を行った。</p>	
<p>(2) 「社協うえだ」の発行</p> <p>社協のPRや福祉に関する情報源として、講座、イベント、各地域で行われている福祉活動の様子などを掲載し、偶数月に市内全世帯をはじめ、学校関係や社協法人会員の皆さまへ配布し、お知らせした。</p> <p>また、様々な人の意見を反映するため、市民で構成する広報委員会を立ち上げ、広報紙に関する内容の検討を行った。</p>	 <p>「社協うえだ」</p>
<p>(3) 「社協ホームページ」の活用</p> <p>社協が行う各種福祉サービスをはじめ、ボランティア情報、社協職員募集等、様々な情報を発信した。台風災害においては、災害救援ボランティアセンターの情報を適宜お知らせした。また、より見やすいホームページにするため、専門業者を入れて検討を行った。</p>	
<p>(4) エンディングノート「絆」の販売</p> <p>窓口での販売をはじめ、社会福祉大会等の催し物の際にも販売した。また、市内書店に依頼し、店頭での販売も行った。</p> <p>※ 販売数 123 冊（内書店販売数 16 冊）</p>	 <p>エンディングノート「絆」</p>
<p>(5) レクリエーション備品の貸出し</p> <p>ア 令和元年度実績</p> <p>(ア) 輪投げ 19 件</p> <p>(イ) 的当て 20 件</p>	

(ウ) エアボールセット 2件



「輪投げ」



「的当て」



「エアボールセット」

評価・課題

広報紙については、市民の声を反映させることを目的として、市民で構成される広報委員会を立ち上げ、広報紙をはじめ、社協の広報活動全般に関して意見をいただいた。今後より市民に伝わりやすい広報活動に努めていく。

ホームページについては、現在システムが古く、様々な端末に対応できていないため、リニューアルを進めていく。

新たな事業の企画に向けて、調査の方法を検討しながら、ニーズをくみ上げ、社協の事業へとつなげていくよう努める。

6 希望の旅事業

【令和元年度事業費】 331 千円

【事業概要】

日ごろ、旅行に出る機会が少ない在宅の重度障がい者の方に、社会交流の場とレクリエーションの機会をつくり、その体験を通じてより生きがいを高めることを目的に一泊二日または、日帰りの旅行を行っている。

事業実績

日ごろ外出する機会の少ない重度障がい者とその介護者が、多くの人々とふれあい、社会参加することで生きがいを高め、より豊かで潤いのある生活を送ることを目的に実施した。

- (1) 期 日 10月23日(水)、24日(木)
- (2) 場 所 群馬県方面
- (3) 参加者 16人(障がい者8人、介護者8人)

評価・課題

元年度は8組16人で群馬県方面を旅行した。隣県ということで移動時間も短く、余裕を持った行程となった。訪れた観光地や宿泊先もバリアフリーが整っていたが、入浴施設にチェアーリフトがなく、入浴できない参加者もいた。次年度は、施設の情報をより詳しく調査することが必要である。また、半数の参加者が固定化されており、さらなる周知と新規希望者が増えるような企画が必要である。

7 上田市ファミリー・サポート・センター事業（市受託事業）

【令和元年度事業費】 4,603 千円

【事業概要】

子育ての手助けをして欲しい人と、子育てのお手伝いをしたい人が会員として登録し、子育ての相互援助を有償で行う会員組織。日常的な子育てのお手伝いのほか、子育てに関する講習会や会員相互の交流を深めるための交流会等を開催している。

事業実績

(1) 前期講習会

5月16日(木)、17日(金)、20日(月)、21日(火) 延べ受講者 65人

(2) 後期講習会

10月28日(月)、29日(火)、30日(水)、31日(木) 延べ受講者 68人

(3) 第1回会員交流会

6月8日(土) 参加者 154人

内容「ハッピースマイル・マスカレードファミリーコンサート」

(4) 第2回会員交流会

9月6日(金) 参加者 19人

内容「体組成測定&レッツダンス」



「第3回会員交流会の様子」

(5) 第3回会員交流会

11月30日(土) 参加者 29人

内容 王鷲美穂さんの「誰にでもできる簡単お正月おもてなし料理」

(6) フォローアップ研修会

2月20日(木) 参加者 31人

内容「パラ・スポーツを体験しよう！ボッチャ」



「出張登録会の様子」

(7) 出張登録会（新規）

7月17日(水) 登録者2人 にじいろひろば

9月25日(水) 登録者3人 神科子育てひろば

1月20日(月) 登録者5人 東塩田子育てひろば

(8) 上田市社協（ふれあい福祉センター2階和室、3階訓練室）でのお預かり（新規）

1月 骨折のため、通園できない子の預かり（3日間）

3月 兄弟の卒園式の際（生後10か月の双子と姉）



「上田市社協での
お預かりの様子」

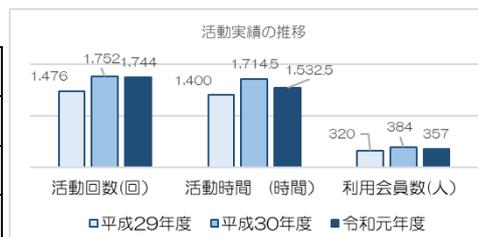
別表

(1) 年間事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
活動回数(回)	203	155	128	141	83	120	
活動時間(時間)	194	143.5	131	125	76	108	
利用会員数(人)	38	30	27	28	24	25	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
活動回数(回)	151	172	189	183	151	68	1,744
活動時間(時間)	135.5	121.5	146.5	171	119	61.5	1,532.5
利用会員数(人)	28	31	36	35	35	20	357

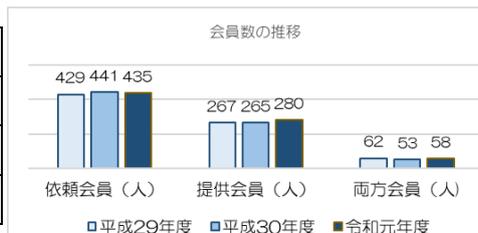
(2) 活動実績 推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
活動回数(回)	1,476	1,752	1,744
活動時間(時間)	1,400	1,715	1,532.5
利用会員数(人)	320	384	357



(3) 会員数 推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
依頼会員(人)	429	441	435
提供会員(人)	267	265	280
両方会員(人)	62	53	58



評価・課題

今年度、初の試みとして、出張登録会や社協内（ふれあい福祉センター）で子どもの預かりを行った。出張登録会では、ファミリー・サポート・センターを知らない人も大勢いたが、子育てひろば職員の協力もあり、周知、登録へとつながった。また、説明会の間、提供会員による託児を行った。

以前、依頼会員から「知らない人に子どもを預けるのが不安」という声もあったが、実際に子どもを預けていただいたことで、安心して次回の依頼につながったケースもあった。

社協施設内での子どもの預かりについては、複数の提供会員が交代しながらサポートをすることができた。

毎年行っている会員交流会では、ファミリーコンサートを実施し150人を超える方に来場していただき、大勢の方にファミリー・サポート・センターを知っていただく機会になった。

また、日々の業務の中で、子育てに困難を抱える方からの相談が多く、病院のケースワーカーや子育て・子育て支援課からの相談もあり、支援会議に参加し、依頼会員に寄り添ったサポートを行うことができた。

今後、より多くの方に当事業を知っていただくことで、支え合いながら子育てができる環

境となるように、他機関との連携も深めていきたい。また、他市では利用料金の補助が低所得者やひとり親世帯などに対する補助制度もあるので、上田市とも協議していきたい。

8 福祉推進事業

【令和元年度事業費】 4,801 千円

社協お結びサポーター事業

【事業概要】

住民同士によるふれあい、支え合いの仕組みづくりをお手伝いするために、平成 28 年度から丸子・真田・武石の 3 地区をモデル地区として「社協お結びサポーター」を配置した。

現在は、7 地区(9 人)に配置している。地域の福祉ニーズは何か、どんな福祉サービスが必要かを一緒に考え、人と人を結ぶ、人と地域を結ぶ、人と機関を結びつけるお手伝いを行う。

事業実績

令和元年度は、川辺・泉田地区に 1 人配置した。

現在、城下・神科・豊殿・川辺-泉田・丸子・真田・武石の 7 地区 9 人のお結びサポーターを配置しており、自治会行事へ訪問しての活動調査や地区福祉推進委員協議会活動への参加等の活動を行っている。

(1) 連絡会議の開催

ア お結びサポーター連絡会議 6 月 24 日 (月)

3 月 16 日 (月) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期

(2) 上田地区

ア 自治会への訪問 9 自治会

イ 活動回数 延べ 64 回

(3) 丸子地区

ア 自治会への訪問 4 自治会(藤原田、沢田、下丸子、南方)

イ 活動回数 延べ 25 回

エ 子育て支援事業への参加 11 回

(4) 真田地区

ア 自治会への訪問 8 自治会

イ 活動回数 延べ 9 回

エ その他訪問(豊殿ひなたぼっこ、竹室コミュニティーよってけ)

(5) 武石地区

ア 自治会への訪問 18 自治会

イ 活動回数 延べ 50 回

ウ 福祉推進委員と合同施設見学(ふれあいサロン hinata bocca とよさと)

1 月 31 日 (金)

評価・課題

(1) 上田地区

令和元年度新たに1人のお結びサポーターを配置することができた。活動としては、各自治会への訪問を中心に子育て支援事業の計画、養成講座への参加、地区福祉推進委員協議会活動などに関わっていただいた。

年度初めにお結びサポーターの連絡会を開催し、他地区のお結びサポーターの活動状況や、自治会行事、サロンの様子などの情報共有を図った。また、福祉推進委員の研修会や各種講座に参加し自己研鑽を行い地域で実践を行っている。今後は、民生委員・児童委員の交代があったことから、定例会議で紹介を行い周知していきたい。さらに、住民自治組織や地区社協、福祉推進委員の方々などと連携を取りながら、未設置地区への配置拡大に努めていきたい。

(2) 丸子地区

主に子育て事業を中心に活動し、自治会のふれあいの会に参加したり、子育て支援事業などに参加し、地域とのつながりを深めることによるつながりの構築に努めた。今後、福祉推進委員や民生委員・児童委員等との関わりを密にして、地域のふれあいの会などでの活動を増やし、地域課題の把握に努めていきたい。

(3) 真田地区

サロンの企画立案など、自治会によっては福祉推進委員がお結びサポーターのアドバイスをもらいながら実施している。

また、元年度から生活支援コーディネーターも真田地区に配置されており、今後お結びサポーターとの連携によってさらなる地域の活動の支援を行っていく。

(4) 武石地区

お結びサポーターが交代となり、福祉推進委員へ紹介・周知、民生児童委員定例会で紹介・周知を行った。自治会行事やサロンへの参加により情報収集や活動の支援を行ったり、福祉推進委員と連携し、施設見学を行った。今後、更に民生委員・児童委員、福祉推進委員と連携を図り、地域ふれあい事業が充実したものとなるよう努めていく。

地区社協住民会議

【事業概要】

地域住民が主体となって様々な問題を協議し、住民が相互に地域福祉に関心と理解を深め、福祉のまちづくりを目指すために行うものであり、全16地区社協で開催されている。

事業実績

- (1) 東部 11月14日(木) 東部地区防災センター 45人
講演「少子高齢化社会を迎え、どのように考え行動に努めたらよいか」
- (2) 南部 9月26日(木) 祥園 39人
講演「上田・南部地区の郷土史と行事の歴史、成り立ちについて」
- (3) 中央 11月20日(水) 海野町会館 51人

- 講演「独居でも穏やかな看取りができるまちづくり」
- (4) 北部 11月19日(火) 魚よし 69人
講演「赤松小三郎とは？」
- (5) 西部 10月25日(木) 西部公民館 48人
講演「もっと身近に！成年後見制度」
- (6) 城下 11月12日(火) 城下地区防災センター 80人
講演「脳卒中の予防と緊急時の対応について」
- (7) 塩尻 11月12日(火) 塩尻地区公民館 46人
講演「地域医療のこれからと薬局の役割」
- (8) 川辺・泉田 10月29日(火) 川辺泉田防災センター 81人
講演「介護保険制度について 高齢者の福祉」
- (9) 神川 10月19日(土) 神川地区公民館 100人
講演「認知症の人と介護者の思いを考える」
- (10) 神科 9月8日(日) 上野が丘公民館 167人
地域福祉活動報告
講演「地域と共に子どもを育む学校支援」
- (11) 豊殿 10月19日(土) 豊殿地域自治センター 72人
グループワーク「豊殿の居場所づくりについて」
- (12) 塩田 11月19日(火) 塩田公民館 100人
講演「土砂災害 自分の命は自分で守る」
- (13) 川西 10月30日(水) 川西公民館 71人
講演「誰でも安心して暮らせる地域づくりは私たちで」
- (14) 丸子 11月18日(月) 丸子ふれあいステーション 78人
講演「認知症について理解する」
～認知症になっても身を委ねられる社会を実現させるために～
- (15) 真田 10月26日(土) 真田総合福祉センター 106人
講演「防災 その時あなたは」～大丈夫から「逃げる！」～
- (16) 武石 11月20日(水) 武石老人福祉センター 寿楽荘 44人
講演「人生100年時代に向けて」 老後の備えは進んでいますか？ 依田窪南部地域の医療は、どうなるの？

評価・課題

(1) 上田地区

各地区の住民会議では、地域福祉や医療に関する講演会が主流に行われている。住民会議や総会は、集まった住民同士が地域のことについて話し合う機会であるため、今後はグループワークも取り入れ、地域課題やニーズを共有し地区社協活動につなげていきたい。開催に向けての計画段階から地区担当職員も積極的に加わり、また、社協お結びサポーターや福祉推進委員と住民同士が連携しながら取り組んでいきたい。

(2) 丸子地区

今年度は認知症への理解をテーマに実施し、78名の地域住民に参加いただいた。もし自分が認知症になったら、という観点から認知症や認知症のある方との関わり方について理解を深めることができた。今後も「ともに生きる福祉の地域づくり」の推進を目指していく。

(3) 真田地区

本年度は、県危機管理防災課に講師派遣を依頼し、「地域の防災力をアップしよう」をテーマにゲーム形式による避難所運営の研修を予定していたが、開催14日前の台風19号による大災害発生のため、県からの講師派遣は叶わず、急きょ、県自主防災アドバイザーであり防災士の当地区社協理事に講師を依頼し、真田地域の土砂災害、河川氾濫などへの備えや対応について、正にタイムリーな講演をいただいた。被災自治会もある中、当日は106人の参加があり関心の高さがうかがえた。今後も「福祉のまちづくり」につながる身近な「課題」をテーマに開催していく。

(4) 武石地区

地域住民の興味関心がある防災関係や地域医療等に関する講演会を中心に行ってきた。今後は、ますます地域の自主性や主体性を求められる介護予防・生活支援総合事業についてや、身近な地域課題について開催をしていく。

住民支え合いマップづくり

【事業概要】

地図上に高齢者や障がい者などで支援が必要となる方々、いわゆる「要援護者」や、要援護者を支援する「支援者」、避難所、などの地域の資源情報を記載することにより、日ごろの地域での支え合い活動、共助の仕組みづくりに活用するものである。その延長線上に、「いざ」という時の災害時の避難行動等につなげていく。

事業実績			
(1) 住民支え合いマップ作成実施自治会状況			
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
協定書締結自治会数	3	1	3
完成自治会数	3	3	3
ア 令和元年度協定書締結自治会数	合計 171 自治会		
イ 令和元年度住民支え合いマップ完成自治会数	合計 207 自治会		
評価・課題			
住民支え合いマップは、令和元年度、台風災害があったため協定を結ぶ自治会が増加した。しかし、更新作業については、毎年行っている自治会と行っていない自治会との差が出てきている。住民支え合いマップから日常の支え合い活動につながり、それが災害時の支援にもつながってくる。そのため、今後も作成や更新も含め、地域内での支え合い活動と住民支え合いマップを一体的に取り組みできるよう、地区担当職員が積極的に自治会へ働きかけていきたい。			

車いす、特殊寝台貸出事業

【事業概要】

(1) 車いす貸出し事業

介護保険の福祉用具貸与対象外の高齢者、障がい者等が通院、外出等で必要な場合、1か月をめぐり無料で貸出している。

(2) 特殊寝台貸与事業

介護保険の福祉用具貸与対象外の高齢者、障がい者等が一時的に日常生活を営むことが困難になった場合、3か月を目途に無料で貸出している。

事業実績					
(1) 車いす貸出し事業 貸出件数					
地区	上田	丸子	真田	武石	合計
平成 29 年度	137 件	42 件	30 件	6 件	215 件
平成 30 年度	219 件	63 件	22 件	4 件	308 件
令和元年度	246 件	53 件	14 件	1 件	314 件
令和元年度保有台数	※52 台	26 台	6 台	11 台	95 台
※ 上田地区保有台数 貸出用 32 台・体験用 20 台					
(2) 特殊寝台貸与事業 貸出件数					
地区	上田	丸子	真田	武石	合計
平成 29 年度	3 件	2 件	1 件	0 件	6 件
平成 30 年度	10 件	1 件	0 件	0 件	11 件
令和元年度	13 件	0 件	1 件	4 件	18 件
令和元年度保有台数	3 台	2 台	1 台	4 台	10 台

その他(高齢者福祉事業)

事業実績	
(1) 真田地区センター	
ア 一人暮らし高齢者親睦会事業	
(ア) 役員会 1 回目 5 月 22 日(金)	
一年間の計画を策定	参加者 7 人 真田老人センター
(イ) 親睦会 7 月 10 日(水)	
笑って楽しい認知予防ゲーム	参加者 39 人 真田老人センター
(ウ) 役員会 2 回目 9 月 26 日(木)	
名簿確認・昼食懇親会	参加者 9 人 真田総合福祉センター
(エ) ふれあいの旅 10 月 29 日(火)	参加者 29 人 立科温泉「権現の湯」
(オ) 親睦会 (中止) 3 月 5 日 (木)	
人形劇・マジックショー	参加予定者 43 人 真田老人センター
(2) 武石地区センター	
ア 武石地域敬老会事業	
武石地域全体で 65 歳以上の方を対象として、社会への貢献に感謝し長寿を祝い今後の	

<p>健勝を願って式典と祝宴を地区社協と行政と連携し実施</p> <p>(ア) 日 時 9月7日(土)</p> <p>(イ) 会 場 長和町民センター</p> <p>(ウ) 出席者 240人</p>
評価・課題
<p>(1) 真田地区センター</p> <p>真田地域内の一人暮らし高齢者の方で、親睦会への参加を楽しみにしている方も多。自宅にこもったり、誰とも話さない日が何日も続く状況も耳にする。会話や体を動かし、交流を通して仲間づくりや孤独感を解消する良い機会になっている。令和元年度は、会員同士の情報から、新しい会員になり親睦会に参加された方が増えた。多くの一人暮らし高齢者に参加案内ができるよう該当者の把握に努めたい。</p> <p>(2) 武石地区センター</p> <p>武石地域総合センターの建設に伴い、次年度も武石地域外施設の利用を予定しており、参加者の送迎等、調整が必要となる。</p>

9 点字・声の広報発行事業(市受託事業)

【令和元年度事業費】 273千円

【事業概要】

広報うえだ・議会だより、社協うえだの内容を点訳やテープへの録音により、視覚障がい者へ情報提供を行う事業

事業実績			
(1) 点字広報			
ア	広報うえだ (4月 月2回発行)	利用者	25人
	(5月から 月1回発行)		
イ	議会だより (年5回発行)	利用者	10人
ウ	社協うえだ (隔月発行)	利用者	24人
エ	丸子自治センターだより	利用者	8人
(2) 声の広報			
ア	広報うえだ (4月は月2回発行)	CD利用者	12人
	(5月から月1回発行)	カセット利用者	8人
イ	議会だより (年5回発行)	CD利用者	20人
		カセット利用者	9人
ウ	社協うえだ (隔月発行)	CD利用者	20人
		カセット利用者	14人
エ	丸子自治センターだより	CD利用者	9人
		カセット利用者	2人

評価・課題

(1) 上田地区センター

広報うえだが月に一回の発行となり、原稿量が多く、ボランティアの負担が大きくなっているが、点字、音訳ともに、工夫をして対応している。課題としては、利用者の増加がみられないので、聞き取り等をして問題点などをきちんと把握し解決していく。

(2) 丸子地区センター

点訳・音訳ともに利用者に寄り添った情報提供に向け、研修を受け技術向上に尽力している。利用者の高齢化に伴い点字・声の広報の利用が減少している。事業周知が広がりを見せるにはどのようにしたらよいか課題である。

10 日常生活自立支援事業(県社協受託事業)

【令和元年度事業費】 3,925 千円

【事業概要】

認知症の高齢者や障がい者の方で、判断能力が十分でない方が、住み慣れた地域で安心して生活が送れるよう、福祉サービスの利用などに関わる相談や援助、また日常的な金銭管理のお手伝いをし、自立生活の支援を行う。

事業実績

(1) 日常生活自立支援事業

※ 別表参照

(2) 金銭管理・財産保全サービス

日常生活自立支援事業で補完できるため、廃止の方向で検討している。

ア 契約件数

(ア) 上田地区センター 0 件

(イ) 丸子地区センター 0 件

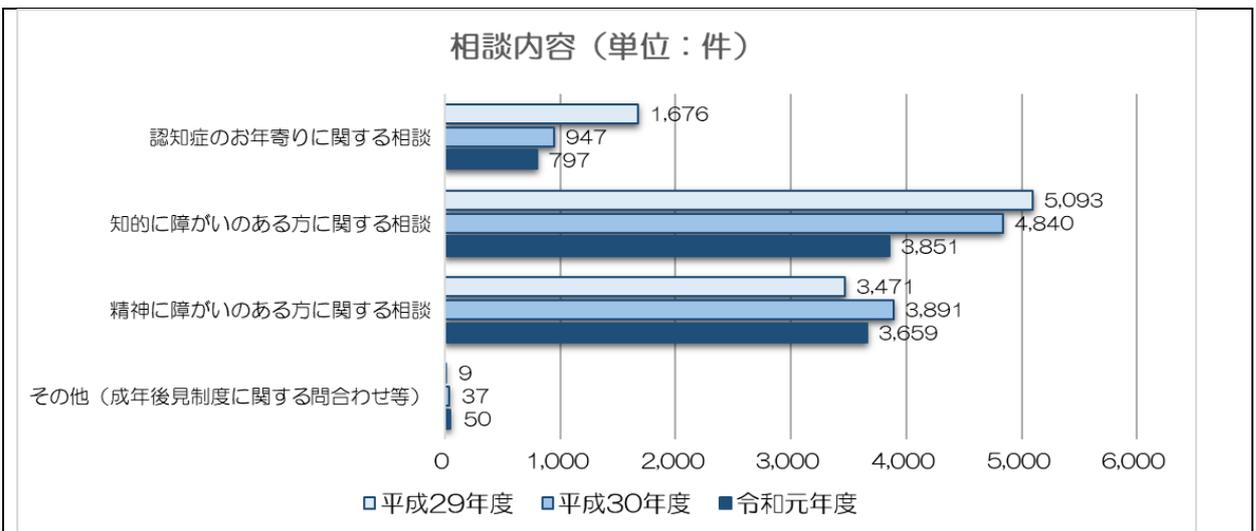
(ウ) 真田地区センター 0 件

(エ) 武石地区センター 0 件

別表

(1) 相談内容(単位：件)

内 容	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
認知症のお年寄りに関する相談	1,676	947	797
知的に障がいのある方に関する相談	5,093	4,840	3,851
精神に障がいのある方に関する相談	3,471	3,891	3,659
その他(成年後見制度に関する問い合わせ等)	37	59	50
合 計	10,277	9,737	8,357

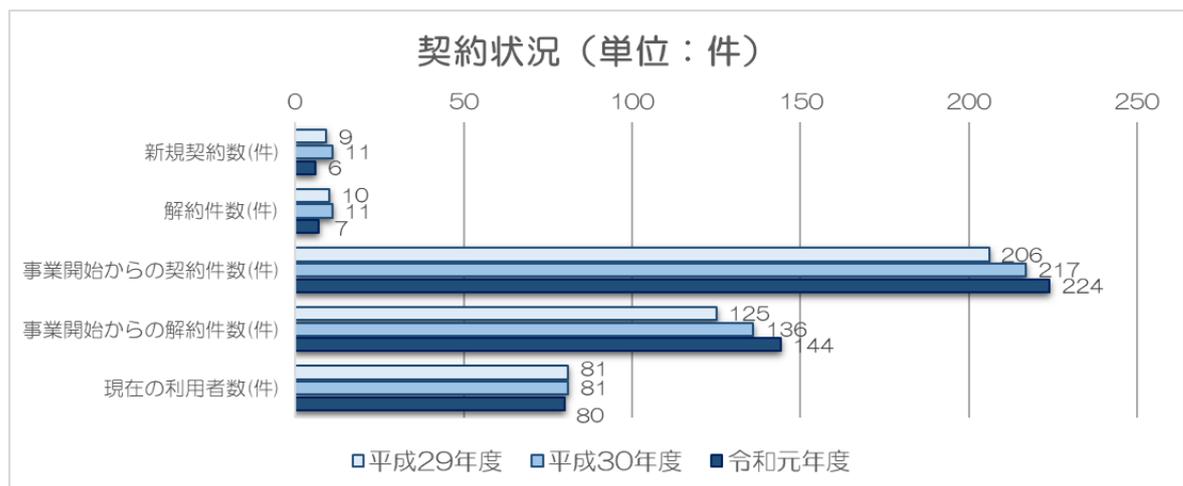


(2) 方法（単位：回）

内 容	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
専門員訪問調査回数	284	268	69
生活支援員援助回数	1,924	1,928	1,656

(3) 契約状況（単位：件）

内 容	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
新規契約数	9	12	6
解約件数	10	12	8
事業開始からの契約件数	206	218	224
事業開始からの解約件数	125	137	145
現在の利用者数	81	81	79



評価・課題

(1) 上田地区

福祉サービスの利用と本事業を利用することで、支援希望者が安定した日常生活を送れるように、支援機関と連携し制度利用につながることができた。また、あくまでも自立支援事業

なので、契約中の利用者と相談の上、余裕を持った金銭管理を行うことで、自らやりくり
に努める姿が多く見られるようになった。

家族や支援者から相談を受けることが多く、福祉サービスの利用援助ではなくて、金銭管
理のみを、本人が望む支援ケースが多くなってきている。

(2) 丸子地区

親族の関わりが少ないため福祉サービスを利用できなかった利用者が、本事業を利用する
ことによって日常生活が安定し、支援者のネットワークも広がるという効果がある一方で、
本事業契約後に、今まで関わってきた支援者の関りが薄くなり、社協だけになってしまうケ
ースもある。

(3) 真田地区

利用者数は、5人である。年度内に1人が生活保護に移行したが、その後収入があり廃止
となった。新規相談は、1件あったが、利用条件に該当せず契約に至らなかった。

ある利用者は、家族とのトラブルから精神科へ入院、グループホームへの入所と状況が変
化したが、各機関と連携し、日自支援を継続して生活を続けている。

(4) 武石地区

利用者数3人。うち1人新規契約。福祉サービスの利用と本事業を利用することで、支援
希望者が安定した日常生活を送れるように、他支援機関と定期的な連携会議を設けながら支
援を継続している。

1 1 地域ふれあい事業

【令和元年度事業費】 32,846 千円

地域ふれあい事業（市補助事業）

【事業概要】

地域の様々な人々がお互いに助け合い交流することにより、住民の連帯感を高め、それぞ
れの地域の特性に応じた福祉サービスを住民参加により自主的に推進し、明るく活力ある福
祉社会を創造し、近隣のつながりを補うことを目的として事業を実施している。

この事業は、「ふれあいのまちづくり事業」として平成3年度から平成7年度までの5年間
は、国の指定を受けて事業を進めた。指定終了後も、市の補助事業となり、平成15年からは
「敬老行事自治会委託事業」と統合され、名称が「地域ふれあい事業」となり、現在に至っ
ている。

事業実績	
(1) 上田地区センター	(数字は自治会数)
ア 世代間交流に関する事業	…… 104
イ 生きがいつくり事業(茶話会、会食会、健康体操を含む)	…… 125

ウ	マップ作り・更新	……	14
エ	広報・啓発活動	……	7
オ	学習講座	……	46
カ	訪問活動(配食含む)	……	33
キ	敬老会	……	137
ク	ボランティア活動	……	19
ケ	環境整備事業	……	38
コ	その他	……	33
(2) 丸子地区			
ア	世代間交流に関する事業	……	27
イ	生きがい作り事業	……	27
ウ	マップ作り・更新	……	3
エ	学習講座	……	1
オ	訪問活動	……	4
カ	ボランティア活動	……	3
キ	環境整備事業	……	12
ク	子育て支援事業	……	12
ケ	その他	……	24
(3) 真田地区			
ア	世代間交流に関する事業	……	5
イ	生きがいづくり事業(茶話会、会食会、健康体操含む)	……	36
ウ	学習講座	……	5
エ	訪問活動(配食含む)	……	23
オ	敬老会	……	5
カ	その他	……	1
(4) 武石地区			
ア	世代間交流に関する事業	……	32
イ	施設視察・ボランティア	……	1
ウ	生きがいづくり事業	……	7
エ	交流会(児童)	……	1
オ	環境整備	……	8
カ	その他	……	1



「世代間交流会」



「ふれあい会食会」

評価・課題

(1) 上田地区

地域ふれあい事業は、福祉推進委員を推進役として、地域の特性に応じた様々な活動が行われている。地域ふれあい事業の中では、子どもの参加を促すことにより、三世代の参加も見込め、普段は顔が見えない世代との交流が構築されている。また、自治会によっては、テレビ番組の「池の水全部抜きます」を参考に地域住民と農業組合、子ども達が自治会内のため池の水を抜き、生態調査を実施した。今まで継続して行ってきた事業を少し変えるだけで、いつも参加しない世代をも巻き込む工夫がされていた。このような取り組みを他にも広げられるよう、地区担当職員をはじめ社協お結びサポーターを活用しながら周知していきたい。

(2) 丸子地区

各自治会で地域の特徴を生かし世代間交流や多くの世代が参加する伝統行事の開催がされている。また、地域リハビリテーション事業を始めているところも増えてきた。しかし、地域活動の担い手不足や地域交流活動の多様化による助成事業の線引きが課題となっている。訪問活動が平成30年度の18自治会から4自治会に減っており訪問活動の実施方法等の検討が求められている。

(3) 真田地区

各自治会において、独自にサロン活動を行っているが、実施回数などにはそれぞれに差がある。自治会によっては福祉推進委員がお結びサポーターのアドバイスをもらいながら一緒にサロンの企画を立て実施している。真田地区福祉推進委員・福祉委員の研修会などを通じて事業内容のヒントにさせていただくなど、地域の活動に役立ててもらえるよう支援していく。

(4) 武石地区

例年と同様に、福祉推進委員と自治会関係者・地域住民の協力で計画した行事を推進することが出来た。新しい行事・新しい参加者を増やすことが課題となっている。

福祉推進委員

【事業概要】

「地域ふれあい事業」の推進役として、福祉推進委員を各自治会から推薦いただき社協会長が委嘱している。自治会役員、民生委員・児童委員と共に地域の実情に応じた様々な福祉活動を行っている。

事業実績

(1) 福祉推進委員連絡協議会

5月29日(水)、12月16日(月)

(2) 福祉推進委員全体研修会 7月18日(木)

講演 「ホンモノの地域支え合いってなんだろう」

講師 ご近所福祉クリエイション 主宰 酒井 保氏



「講演会の様子」



「研修会 健康体操の様子」

(3) 福祉推進委員講習会

内容 健康体操と脳トレ

講師 JA長野厚生連 鹿教湯三才山リハビリテーションセンター
健康運動指導士 岡田 克也 氏

7月23日(月) 上田市丸子ふれあいステーション

7月31日(火) 上田市ふれあい福祉センター

8月7日(水) 上田市真田総合福祉センター

8月24日(土) 上田市ふれあい福祉センター

評価・課題

(1) 上田地区センター

福祉推進委員の全体研修会の講演会では、身近な事例を含めての話だったため、参加者に実施したアンケートからも「特別なことをしなくても日常の中で支え合っていけば健康長寿に期待できるということが参考になった」といったことや「社会参加が介護予防につながるということが参考になった」等の回答があった。また、講習会についても参加者にアンケートを実施し、「身近な物を使って自治会内で応用したい」、「地域で行ってみたい」といった回答があり、それぞれの自治会で取り入れてもらいやすい内容であったと思われる。「認知症の方への接し方や予防」「健康によい食事について等の講習会も行ってほしい」等の要望もあつ

たため、講習会の内容についてはなるべく福祉推進委員の皆さんが持ち帰りやすい内容を検討していきたい。

(2) 丸子地区

福祉推進委員には全体研修会や講習会、丸子地区独自の全体学習会に積極的に参加していただいた。地域の担い手が不足している中で、委員の選出に苦勞している自治会もあり、十分な活動ができていない委員、自治会もある。

(3) 真田地区

各自治会のサロン事業への関りに加え、「清掃ハイキング」や「ふれあい広場 in さなだ」などのイベントにも積極的に参加していただいた。なお、3月7日に予定していた真田地域の福祉推進委員・福祉委員の合同研修会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、中止となった。内容として、上田市消費生活センターの職員を講師とし、特殊詐欺と悪徳商法の現状・対処法についての講演を行う予定であったが、今後の研修会等での講演を検討したい。

(4) 武石地区

地区の研修会として「認知症サポーター養成講座」を開催し、改めて認知症への理解が深まった。また、先進地施設の見学として地域の交流の場となっている「ふれあいサロン hinata bocca とよさと」へ訪問し、サロンの立ち上げの経過から現状までのお話をお聞きし、今後の地域の活動の参考になった。

1 2 上小圏域成年後見支援センター事業(上田市・東御市・長和町・青木村受託事業)

【令和元年度事業費】 25,025 千円

【事業概要】

認知症・精神障がい・知的障がい等により判断能力が十分ではなく、一人では契約、選択、意思決定が困難になった住民が、安心して地域社会で生活し続けられるように成年後見制度の利用促進及び啓発を行っている。

事業実績

(1) 住民、実務者等からの成年後見制度に関する相談・手続き

支援及び行政職員等からの成年後見制度に関する相談・市町村長申立支援

※別表参照

(2) 成年後見制度等の普及、啓発

ア 説明会、講師依頼 10 件

イ 参加者 304 人

(3) 市民後見人の養成

ア 市民後見人養成講座

全 6 日間

参加者 延べ人数 192 人



「成年後見制度セミナーの様子」

イ 市民後見人の誕生

令和1年度2人(8月、12月)

ウ 法人後見支援員の活動

市民後見人養成講座を受講し、全課程を修了した方の中から5人を選考し、法人後見支援員として雇用し、被後見人等への定期訪問や状況確認、預貯金の払戻しや支払い、ケース会議等にも出席し、実務経験を積んだ。

(4) 後見人交流会の開催

令和元年11月22日(金)

参加者12人

(5) 成年後見人等第三者後見人の紹介・支援

弁護士、司法書士、行政書士、社会福祉士 他23件

(6) 法人後見の受任

法人後見 新規受任8件(累計63件) 令和2年3月31日現在 受任数48件

別表

(1) 相談件数及び相談者の状況(単位:件)

ア 相談件数(単位:件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
新規相談	17	11	14	7	15	12	
継続相談	45	54	98	78	83	96	
相談業務合計	62	65	112	85	98	108	
法人後見業務総件数	669	715	661	736	677	622	
総計	731	780	773	821	775	730	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規相談	9	11	8	9	8	4	125
継続相談	108	75	74	46	55	50	862
相談業務合計	117	86	82	55	63	54	987
法人後見業務総件数	790	677	608	651	641	695	8,142
総計	907	763	690	706	704	749	9,129

イ 方法別(単位:件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
来所	12	6	9	6	6	9
電話	42	49	74	63	73	76
訪問	8	6	27	10	13	18
ケース会議	0	4	2	5	6	5
その他	0	0	0	1	0	0
合計	62	65	112	85	98	108

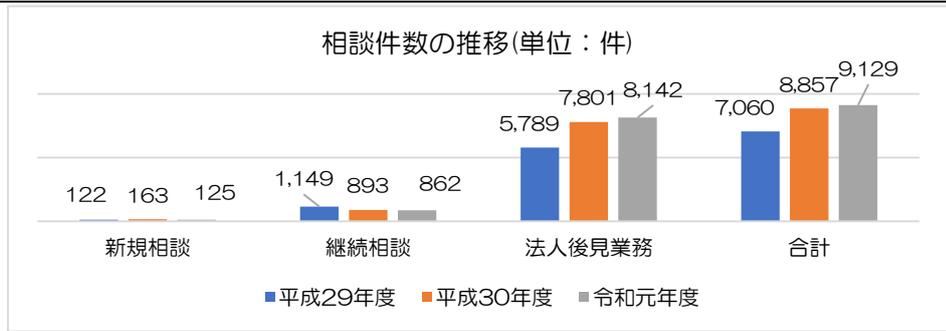
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来所	7	4	12	5	9	5	90
電話	82	62	46	41	36	38	682
訪問	25	16	21	8	9	9	170
ケース会議	3	4	3	1	9	2	44
その他	0	0	0	0	0	0	1
合計	117	86	82	55	63	54	987

ウ 対象者別(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
認知症高齢者	17	24	44	32	43	30	
知的障がい者	4	2	7	8	9	9	
精神障がい者	20	29	42	38	35	46	
身体障がい者	2	2	4	0	2	7	
複合	13	1	9	2	2	5	
任意後見	1	3	2	0	1	7	
その他	5	4	4	5	6	4	
合計	62	65	112	85	98	108	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
認知症高齢者	23	30	34	18	36	28	359
知的障がい者	38	15	9	11	5	10	127
精神障がい者	28	17	24	16	21	12	328
身体障がい者	14	7	0	3	0	0	41
複合	5	8	6	5	1	3	60
任意後見	5	4	0	1	0	0	24
その他	4	5	9	1	0	1	48
合計	117	86	82	55	63	54	987

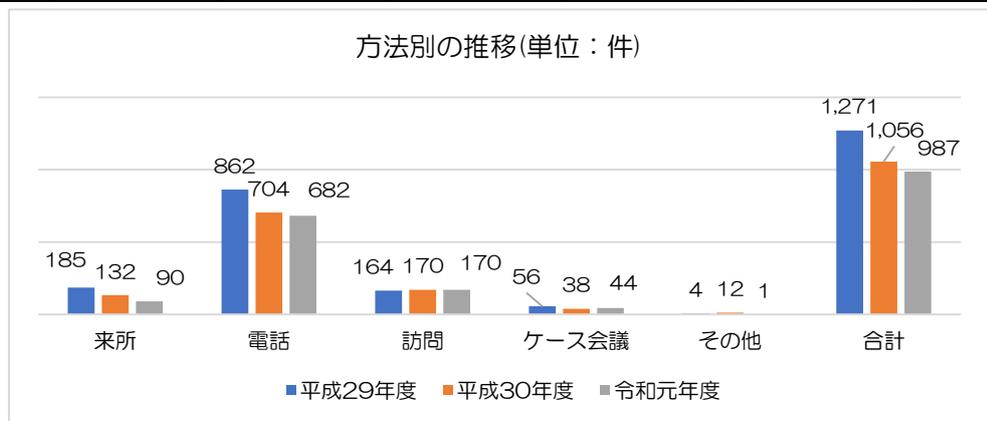
エ 相談件数の推移(単位：件)

	新規相談	継続相談	法人後見業務	合計
平成29年度	122	1,149	5,789	7,060
平成30年度	163	893	7,801	8,857
令和元年度	125	862	8,142	9,129



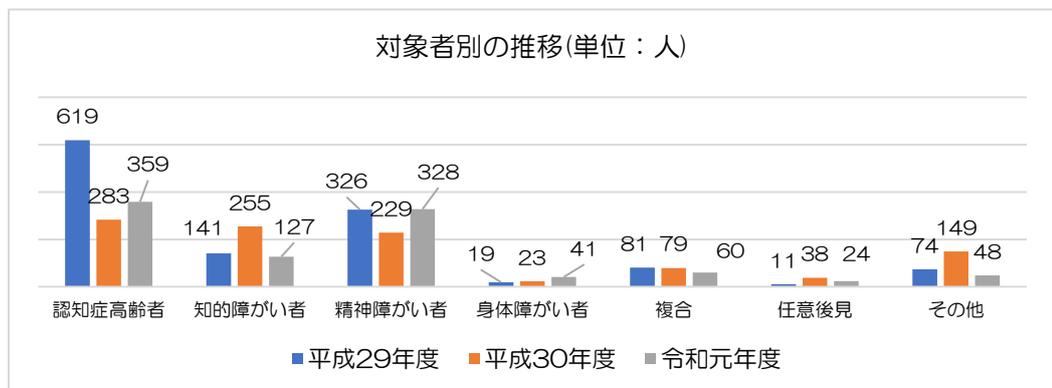
オ 方法別の推移(単位：件)

	来所	電話	訪問	ケース会議	その他	合計
平成 29 年度	185	862	164	56	4	1,271
平成 30 年度	132	704	170	38	12	1,056
令和元年度	90	682	170	44	1	987



カ 対象者別の推移(単位：人)

	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	身体障がい者	複合	任意後見	その他
平成 29 年度	619	141	326	19	81	11	74
平成 30 年度	283	255	229	23	79	38	149
令和元年度	359	127	328	41	60	24	48



(2) 法人後見業務 相談件数及び相談者の状況

ア 類型(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
後見	225	221	263	270	223	176	
保佐	444	494	398	466	454	446	
補助	0	0	0	0	0	0	
合計	669	715	661	736	677	622	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
後見	206	213	229	313	289	210	2,838
保佐	584	464	379	338	352	485	5,304
補助	0	0	0	0	0	0	0
合計	790	677	608	651	641	695	8,142

イ 方法別(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
来所	61	68	53	58	64	64	
電話	387	401	353	379	349	361	
訪問	203	225	201	245	228	175	
ケース会議	8	4	6	10	2	8	
その他	10	17	48	44	34	14	
合計	669	715	661	736	677	622	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来所	69	66	45	52	46	51	697
電話	434	375	324	382	381	413	4,539
訪問	262	220	220	198	194	213	2,584
ケース会議	4	5	6	6	6	4	69
その他	21	11	13	13	14	14	253
合計	790	677	608	651	641	695	8,142

ウ 対象者別(単位：件)

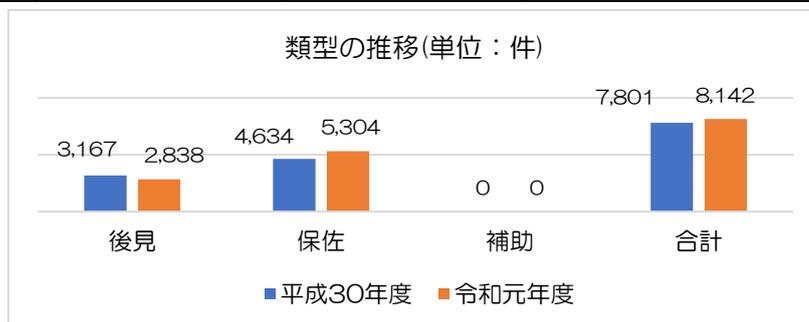
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
認知症高齢者	97	63	78	86	80	51	
知的障がい者	237	298	246	316	282	303	
精神障がい者	168	193	169	174	159	138	
身体障がい者	0	0	0	0	0	0	
複合	142	125	136	150	152	127	
その他	25	36	32	10	4	3	
合計	669	715	661	736	677	622	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
認知症高齢者	80	69	65	81	95	91	936
知的障がい者	315	283	244	219	235	245	3,223
精神障がい者	228	183	171	182	189	200	2,154
身体障がい者	0	19	24	28	6	0	77
複合	163	118	102	103	90	143	1,551
その他	4	5	2	38	26	16	201
合計	790	677	608	651	641	695	8,142

エ 市町村別

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
上田市	486	564	533	617	581	523	
東御市	32	18	31	30	33	22	
長和町	126	97	65	79	59	74	
青木村	0	0	0	0	0	0	
その他	25	36	32	10	4	3	
合計	669	715	661	736	677	622	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
上田市	602	466	479	511	466	506	6,334
東御市	61	89	64	91	95	73	639
長和町	123	117	63	49	80	116	1,048
青木村	0	0	0	0	0	0	0
その他	4	5	2	0	0	0	121
合計	790	677	608	651	641	695	8,142

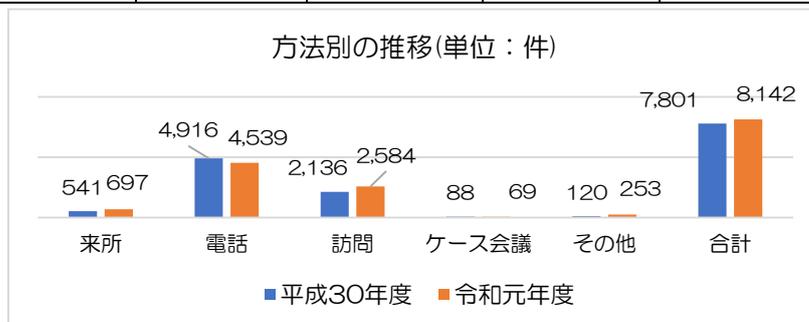
オ 類型の推移(単位：件)

	後見	保佐	補助	合計
平成30年度	3,167	4,634	0	7,801
令和元年度	2,838	5,304	0	8,142



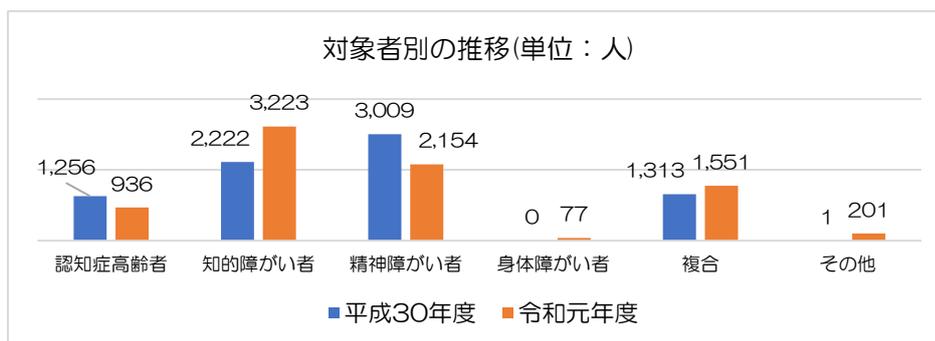
カ 方法別の推移(単位：件)

	来所	電話	訪問	ケース会議	その他	合計
平成30年度	541	4,916	2,136	88	120	7,801
令和元年度	697	4,539	2,584	69	253	8,142



キ 対象者別の推移(単位：人)

	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	身体障がい者	複合	その他
平成30年度	1,256	2,222	3,009	0	1,313	1
令和元年度	936	3,223	2,154	77	1,551	201



評価・課題

成年後見制度の普及・啓発や市民後見人の育成、親族後見人や専門職後見人の活動支援、市町村をはじめとする関係機関との情報交換や情報共有、円滑な制度利用の促進を推進した。
また、団塊世代の高齢化に伴い、今後ますます認知症高齢者の増加が予想され、判断能力が

十分でない住民の権利擁護の在り方が課題となる。そのため、成年後見制度セミナーを開講し、成年後見制度の普及啓発を行い、早期の段階から相談対応することで、地域の専門職や幅広い関係者との連携・対応強化を推進していくことが求められている。

さらに、成年後見制度の利用者にメリットのある制度運営を担保するために、地域の成年後見人等の相談に応じたり、後見人交流会を実施し、利用者やその支援者と後見人等が円滑な人間関係を構築できるよう支援する。

1 3 “まいさぼ上田” 上田市生活就労支援センター事業(市受託事業)

【令和元年度事業費】	生活困窮者自立相談支援事業	17,838 千円
	生活困窮者家計改善支援事業	3,393 千円
	生活困窮者就労準備支援事業	3,911 千円

【事業概要】

主任相談支援員を兼ねた所長 1 人と相談就労支援員 3 人及び家計相談支援員 1 人、就労準備支援員 1 人を配置して生活困窮者に対する包括的な相談・支援を行っている。

(1) 生活困窮者自立生活支援事業

生活困窮者自立支援法に基づき、市内に居住する生活困窮者等が困窮状態から早期に脱却するため、支援対象者の自立と尊厳を確保しつつ、その状況に応じて包括的かつ継続的な相談支援を実施するとともに、地域における早期把握のためのネットワークを構築し、支援対象者の自立・就労支援を促進する。

(2) 生活困窮者家計改善支援事業

生活困窮者自立支援法に基づき、市内に居住する生活困窮者等のうち、家計収支の均衡が取れていないなど、家計の問題を抱えている支援対象者に対して、家計の視点から包括的かつ継続的な支援により、生活の改善を図ることで家計収支の改善や家計管理能力の向上を図る。

(3) 生活困窮者就労準備支援事業

生活困窮者自立支援法に基づき、市内に居住する生活困窮者等のうち、直ちに就労が困難な支援対象者に対して、一般就労の従事に向けた準備として、コミュニケーション能力等の基礎能力を養いながら就労に向けた支援を実施する。

事業実績

“まいさぼ上田”では、平成 26 年度からの自立相談支援事業に加え、平成 27 年度からは住居確保給付金とコミュニケーション講座、平成 28 年度からは家計相談支援事業（現：家計改善支援事業）の受託とフードドライブへの参加、ひきこもり当事者を対象とした「しゃべり場」の開催、平成 29 年度からはひきこもりの当事者家族を対象としたペアレントトレーニング講座の開催、平成 30 年度からはひきこもりの家族を対象に精神疾患等について学ぶペアトレふらす講座や、当事者を対象にストレス対処法等について学ぶ自分磨き講座を実施することで、相談の間口を広げてきた。

令和元年度は、就労準備支援事業を受託したことで、これまでの講座に加えて、対人関係が苦手な当事者を対象としたコミュニケーション・トレーニング講座を開催し、社会参加の機会を設けるために月に1度のボランティア活動の実施、ひきこもり当事者や当事者家族を対象に、過去にひきこもりを経験した人がカウンセリングを行うピア・カウンセリングを実施するなど、支援メニューの拡大、相談のきっかけづくりに取り組めた。

就労準備支援事業を受託したことで、これまでの講座に加えて新たな連続講座の開催や小集団でのボランティア活動の開催につながった。就労準備支援事業を受託し、相談の間口が広がったことが結果として新規相談件数や年間の延べ相談件数の増加に結び付いた。

別表

(1) 相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
新規相談者数(人)	25	31	24	16	19	23	
延べ相談者数(人)	100	105	124	132	109	112	
延べ相談件数(件)	532	521	565	608	534	612	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規相談者数(人)	23	18	20	24	14	28	265
延べ相談者数(人)	108	114	137	130	104	111	1,386
延べ相談件数(件)	630	554	466	458	415	444	6,339

(2) 相談者数及び相談件数の推移

ア 新規相談者数(単位：人)

	人数
平成29年度	223
平成30年度	245
令和元年度	265



イ 延べ相談者数(単位：人)

	人数
平成29年度	1,202
平成30年度	1,384
令和元年度	1,386



ウ 延べ相談件数(単位：件)

	人数
平成29年度	4,720
平成30年度	5,795
令和元年度	6,339



評価・課題

自立相談支援事業と家計改善支援事業に加えて、就労準備支援事業を受託したことで、相談の間口が広がったが、これらの事業を一体的に実施するためには職員間の連携の強化に加えて、支援を必要としている人を相談につないでもらうための情報発信と関係機関との連携を強化していくことが必要となる。ひきこもりの相談についても家族は相談に来ているが、当事者が相談に来られていないケースがあるため、支援を行うためには相談者がいる場所に出向く支援の必要性も感じているが、訪問型の支援を積極的に行うためには当事者がその支援を受け入れることが前提となるため、家族支援を通じてどこまで訪問支援を受け入れてもらえるようなアプローチができるかが課題である。

14 有償在宅福祉サービス事業

【令和元年度事業費】 2,591 千円

福祉移送サービス事業

【事業概要】

通常バス、タクシー等の公共交通機関を利用することが困難な高齢者及び障がい者等（車いす利用者を含む）の外出の利便を図り、社会参加の促進及び社会福祉の向上に寄与するため福祉車両で移送サービスを行っている。

事業実績

(1) 上田地区				
平成 29 年度	利用会員数	127 人	協力会員数	13 人
平成 30 年度	利用会員数	142 人	協力会員数	11 人
令和元年度	利用会員数	148 人	協力会員数	7 人
(2) 丸子地区				
平成 29 年度	利用会員数	30 人	協力会員数	7 人
平成 30 年度	利用会員数	33 人	協力会員数	7 人
令和元年度	利用会員数	28 人	協力会員数	11 人
(3) 真田地区				
平成 29 年度	利用会員数	6 人	協力会員数	7 人
平成 30 年度	利用会員数	13 人	協力会員数	13 人
令和元年度	利用会員数	12 人	協力会員数	11 人



「福祉移送サービスの様子」

別表

(1) 上田地区

ア 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用回数(団体)	78	107	87	92	93	73	
利用会員数(人)	20	23	17	18	21	19	
協力会員数(人)	5	5	5	5	4	4	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用回数(団体)	94	89	72	78	73	61	997
利用会員数(人)	20	19	16	16	18	19	226
協力会員数(人)	4	3	3	4	4	3	49

イ 上田福祉移送サービスの推移

利用回数(単位：回)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
延べ	1,120	1,072	997
月平均	93.3	89.3	83.1



利用会員数(単位：人)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
延べ	310	283	226
月平均	25.8	23.5	18.8



協力会員数(単位：人)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
延べ	56	49	49
月平均	4.6	4.08	4.08



(2) 丸子地区

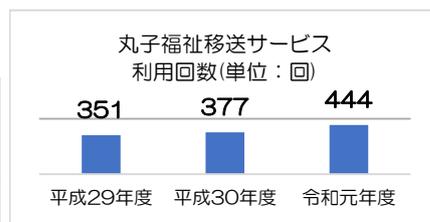
ア 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用回数(団体)	46	35	38	40	44	33	
利用会員数(人)	13	12	14	13	17	10	
協力会員数(人)	7	6	5	5	6	6	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用回数(団体)	35	34	43	29	30	37	444
利用会員数(人)	11	10	14	8	10	10	142
協力会員数(人)	5	6	5	5	5	7	68

イ 丸子福祉移送サービスの推移

利用回数(単位：回)

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
延べ	351	377	444
月平均	29.5	31.4	37.0



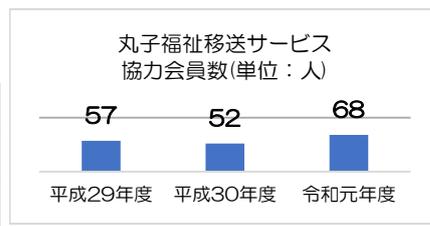
利用会員数(単位：人)

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
延べ	119	126	142
月平均	9.9	10.5	11.8



協力会員数(単位：人)

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
延べ	57	52	68
月平均	4.7	7.3	5.6



(3) 真田地区

ア 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用回数(団体)	4	2	3	3	1	1	
利用会員数(人)	1	1	1	1	1	1	
協力会員数(人)	2	1	1	1	1	1	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用回数(団体)	4	1	2	1	1	3	26
利用会員数(人)	1	1	1	1	1	1	12
協力会員数(人)	1	1	1	1	1	1	13

イ 真田福祉移送サービスの推移

利用回数(単位：回)

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
延べ	72	36	26
月平均	6.0	3.0	2.2



利用会員数(単位：人)

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
延べ	24	13	12
月平均	2.0	1.1	1.0



協力会員数(単位：人)			
	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
延べ	37	20	11
月平均	3.1	1.7	0.9

真田福祉移送サービス
協力会員数(単位：人)

平成29年度 平成30年度 令和元年度

評価・課題

(1) 上田地区

広く社協の移送サービスも知られ、利用者も増加してきており、定期的に移送の対応をお願い出来る協力員もお安定している。

現在、上田地区では介助者を必ずつけてもらわないと送迎の対応が出来ないようになってきているが、独居の方の中には、介助者をつけられない方もいるので、送迎対応を今後、検討する必要がある。

また、定期的に活動できる、協力会員が減少してきているため、今後、予約が一杯で受けられことも想定されるため、協力会員の更なる増員も検討していきたい。

(2) 丸子地区

新規ニーズに対応しきれない状況が続いていたが、わずかながら年度末に運転協力員が増加したことにより徐々に改善されてきた。協力員の活動状況が各々異なるため対応を見ながら運転依頼を行っている。現在、利用者は通院利用が主であり医療機関等への送迎が多い。感染症拡大に嚴重注意をし、できる限りの予防を行っているが、リスクの高い有償ボランティアである。制度の利用について再検討が必要と感じる。

(3) 真田地区

市民の協力により成り立っている事業であり、協力会員のボランティア精神や支え合いの気持ちが広く地域に波及することを期待したい。利用者、協力者共に、現状を維持している状況である。

ご用聞きサービス事業

【事業概要】

上田市にお住まいの高齢者世帯及び障がい者世帯を対象に、日常生活を送る上で困っていることなどをご近所の助け合いや支え合いにより支援することを目的とした有償福祉サービスであり、平成 22 年 2 月 1 日から事業を開始した。現在、利用会員と協力会員とのマッチングを進め、多くの協力員の方に御協力をいただき活動を行っている。

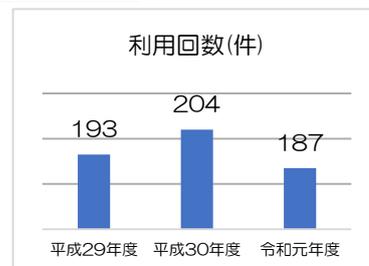
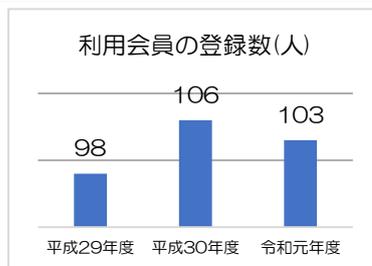
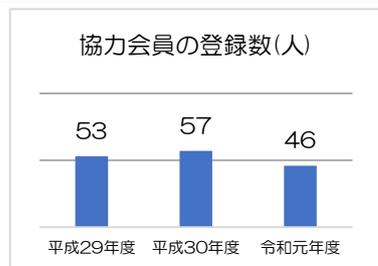
事業実績		
(1) 令和元年度	協力会員の登録数	46 人
	利用会員の登録数	103 人
	利用回数	187 件

【活動内容の内訳】

買物代行 81 件、ゴミ出し 90 件、草取り、6 件、雪かき 2 件軽微な修繕（障子張り）2 件、その他(剪定) 6 件

(2) 推移

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
協力会員の登録数(人)	53	57	46
利用会員の登録数(人)	98	106	103
利用回数(件)	193	204	187



評価・課題

今年度、事業開始当時に登録いただいた方を中心に協力会員、利用会員の状況把握を行った結果、協力会員は、高齢となり退会する方や、依頼会員は施設入所や亡くなっている方もおり、登録者数が減少した。

また、低額な料金ということで相談が多数あるが、地域によっては、依頼があっても協力会員がいないため、お引き受けできないことがあるが、今後も依頼に応えられるよう事業の周知と協力会員の確保に努めたい。

15 心配ごと相談事業

【令和元年度事業費】 278 千円

【事業概要】

どんな悩みでも、誰でも、いつでも、気軽に相談できる安心のネットワークの一環として、秘密厳守、相談はすべて無料で相談者と共に考え、良い解決方法を見出すため実施している。

(1) 心配ごと相談事業

全市民を対象に様々な相談（介護、福祉サービス、家庭内の問題等）に応じ、関係機関と連絡を密にして、問題の解決に努める。

(2) 法律相談事業

弁護士による様々な法的な悩みを解決する無料の法律相談（予約制）

事業実績

(1) 上田地区

ア 心配ごと相談

(ア) 相談員：1人

- (イ) 相談日：毎週月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分
- (ウ) 開設日数：244日
- (エ) 相談件数：146件(平成30年度52件)
- (オ) 相談内容：家族のこと、生活(借金)、近所とのトラブルや苦情、人間関係の悩み、医療のこと、パワハラ・労働のこと 他

イ 法律相談(予約制)

- (ア) 相談員：弁護士1人
- (イ) 相談日：毎月第3土曜日 午前10時～正午
- (ウ) 開設日数：11日
- (エ) 相談件数：55件(平成30年度46件)
- (オ) 相談内容：離婚、相続、金銭トラブル、不動産問題、労働問題、成年後見申立てについて、養子縁組について 他

(2) 丸子地区

ア 心配ごと相談

- (ア) 相談員：1人
- (イ) 相談日：毎週月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分
- (ウ) 相談件数：6件(平成30年度26件)
- (エ) 相談内容：近隣トラブル、親子関係、

イ 法律相談

- (ア) 相談員：弁護士1人
- (イ) 相談日：2ヶ月に1回を目安に実施 午後1時30分～午後3時30分
- (ウ) 開設日数：6日
- (エ) 相談件数：18件(平成30年度13件)
- (オ) 相談内容：遺産相続、家族問題、土地の所有権トラブル 他

(3) 真田地区

ア 心配ごと相談

- (ア) 相談員：1人
- (イ) 相談日：毎週月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分
- (ウ) 相談件数：6件(平成30年度4件)
- (エ) 相談内容：家族関係、生計関係

(4) 武石地区

ア 心配ごと相談

- (ア) 相談員：1人
- (イ) 相談日：毎週月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時15分
- (ウ) 相談件数：2件(平成30年度2件)
- (エ) 相談内容：生活困窮、家族関係

評価・課題

(1) 上田地区

市民の方からの身近な相談窓口として、親身に寄り添いながら、内容によっては他専門機関と連携を図り解決の糸口を見つけるよう努めることができた。

(2) 丸子地区

市民の方からの身近な相談窓口として様々な生活上の相談に応じ、内容によっては他の専門機関等と連携を図りながら、相談者が一人で抱え込まずに解決の糸口を見つけるよう努めた。

(3) 真田地区

市民の方々からの身近な相談窓口として様々な生活上の相談に応じ、内容によっては法律相談を紹介するなど、他機関と連携しながら解決の糸口となるよう努めた。

(4) 武石地区

市民の方からの身近な相談窓口として様々な生活上の相談に応じ、行政等と連携を図りながら、相談者が一人で抱え込まずに解決の糸口を見つけるよう努めた。

16 結婚相談事業

【令和元年度事業費】 1,796 千円

【事業概要】

独身男女の出会いを提供するお手伝いとして、結婚相談や、婚活パーティーなどを行っている。上田地区と丸子地区で相談を行っており、どちらの窓口でも登録を受付けている。登録・相談いずれも無料で行っている。また、県内広域での紹介を希望する方は「ながのマッチングシステム」への登録も受け付けている。

[上田地区]

上田市ふれあい福祉センター
毎週水曜日 10時～15時
毎週第2土曜日 10時～15時

[丸子地区]

丸子ふれあいステーション
毎週第4土曜日 10時～15時

事業実績

(1) 結婚相談事業

ア 相談員：4人

イ 開設日数：75日

ウ 相談件数：1,903件 来所者数(延べ)727人

(平成30年度 1,682件 来所者数(延べ)973人)

エ 登録者(実活動者数) 男性448人 女性149人 計597人

オ 成立組数：見合い76組 婚約0組 結婚12組

(2) ながの結婚マッチングシステム

長野県内でマッチングシステムに登録者している男女を、インターネットで検索し紹介するシステム

- ア 上田での登録者数 男性 26 人 女性 4 人
- イ 相談来所者数 (延べ) : 162 人
- ウ お見合い 5 組
- エ 結婚 0 組

(3) お見合企画

- ア 「婚活パーティー」 in 上田
30代・40代の独身男女を対象
8月25日(日) Resort Dining ハレの日上田店
参加者 男性 23 人 女性 23 人(応募 男性 50 人 女性 30 人)
カップル成立 5 組
- イ 大人の婚活&セミナー「Premium X'mas Party」
対象 男性：30代・40代の独身者 女性：25歳～40代の独身者
12月22日(日) 上田東急REIホテル
参加者 男性 20 人 女性 20 人(応募 男性 54 人 女性 26 人)
男性セミナー：“脱”友達どまり！また会いたい人になる簡単 3STEP」
女性セミナー：「最後の恋」に巡り合う愛され女子の会話&見極めの法則
講師：荒井 広治 氏 (ゼクシィ婚活セミナーレギュラー講師)
カップル成立 3 組

(4) 上田市結婚支援ネットワーク実行委員会

- ア 連続交流会・セミナー(39歳以下向け)
9月28日～11月16日 全5回
参加者 男性 15 人、女性 12 人 カップル成立 4 組
- イ 大人のための婚活パーティー(40歳以上対象)
10月26日(土)
参加者 男性 13 人、女性 11 人 カップル成立 5 組
- ウ 結婚相談員スキルアップセミナー
2月16日(日) 上田市西部公民館 相談員人参加
「日々変化している独身者の求める婚活について」
講師 若井 順子氏 (若井結婚センター所長)

評価・課題

婚活パーティーを2回開催するなど積極的に活動を行い12組が成婚した。結婚後も出産の報告のため来所してくださる方もおり、相談員の熱意ある対応が成果につながっていると感じる。

行政や他団体と連携したセミナーやイベントを行うとともに相談員のスキルアップにも力を入れたい。

17 たすけあい資金貸付事業

【令和元年度事業費】 30 千円

生活再建に向け世帯厚生を促進を図り、地域社会の福祉増進を図ることを目的に実施している。

たすけあい資金

【事業概要】

要保護世帯またはこれに準ずる世帯に対し、応急的に貸付ける制度で、貸付限度額は5万円まで、無利子である。

事業実績			
低所得者、高齢者、障がい者を対象に資金の貸付と必要な援助指導を行うことにより、世帯の自立と構成に努めた。			
(1) たすけあい資金貸付状況			
	相談件数 (件)	貸付件数(件)	貸付額(円)
上田地区	59	1	30,132
丸子地区	3	0	0
真田地区	0	0	0
武石地区	2	0	0
合計	64	1	30,132
評価・課題			
たすけあい資金の督促状を送るも、連絡がつかない方が多くおり、今後の対応について検討している。			

生活福祉資金(県社協受託事業)

【事業概要】

(1) 総合支援資金

失業等により生計の維持が困難になった世帯に対して、再就職までの生活資金として貸し付けるものである。

(2) 福祉資金

低所得世帯等に対し自立生活を送る上で一時的に必要であると認められた場合に貸し付けるものである。

(3) 教育支援資金

低所得世帯に対し高校、短大、大学または高等専門学校に就学するために必要な経費を対象とした貸付である。

事業実績

(1) 生活福祉資金貸付状況

資金種類		相談件数 (件)	貸付件数 (件)	貸付額 (円)
総合支援資金	上田地区	6	1	600,000
	丸子地区	0	0	0
	真田地区	1	0	0
	武石地区	0	0	0
	合 計	7	1	600,000
福祉資金	上田地区	124	20	3,450,000
	丸子地区	8	3	600,000
	真田地区	1	1	200,000
	武石地区	2	0	0
	合 計	135	24	4,250,000
教育支援資金	上田地区	12	1	585,000
	丸子地区	0	0	0
	真田地区	0	0	0
	武石地区	0	0	0
	合 計	12	1	585,000
合 計		154	26	5,435,000

※福祉資金内訳 (上田地区)

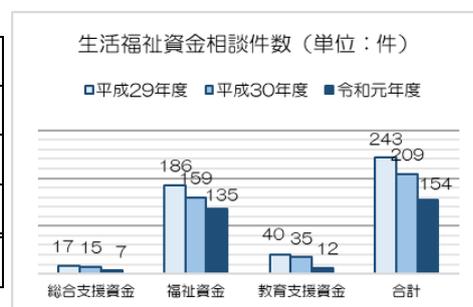
ア コロナ特例貸付	14 件	2,500,000 円
イ 台風特例貸付	2 件	200,000 円
ウ 通常の小口資金	3 件	300,000 円
エ 技能習得費	1 件	450,000 円

別表

(1) 生活福祉資金貸付状況の推移

ア 相談件数 (単位：件)

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
総合支援資金	17	15	7
福祉資金	186	159	135
教育支援資金	40	35	12
合 計	243	209	154



イ 貸付件数 (単位：件)

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
総合支援資金	0	0	1
福祉資金	3	3	24
教育支援資金	1	2	1
合計	4	5	26

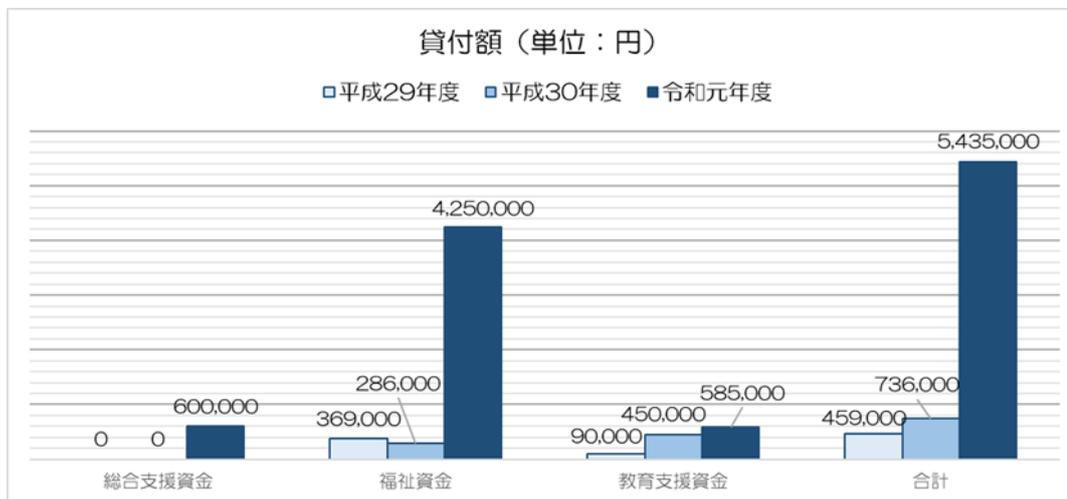
生活福祉資金貸付件数 (単位：件)



ウ 貸付額 (単位：円)

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
総合支援資金	0	0	600,000
福祉資金	369,000	286,000	4,250,000
教育支援資金	90,000	450,000	585,000
合計	459,000	736,000	5,435,000

貸付額 (単位：円)



評価・課題

(1) 上田地区

貸付相談者の中には、複合的な課題を抱えている方が多く、まいさぼや福祉課と連携を図り対応を行った。また、県社協から依頼のあった2年間償還がない長期滞納者への自宅訪問を24件行ったが、生活状況が改善されているにもかかわらず償還する意思のない方が目立った。相談者については、返済への意識付けを行っていけるような対応を初期相談時から心がけていきたい。

(2) 丸子地区

特例貸付件数：3件。たすけあい資金・生活福祉資金とも相談はあるが、他制度利用等の理由により貸付につながらない件数が多い。また県社協と連携し償還指導を実施するも長期にわたり償還できていないケースが多い。今後は特例貸付件数の増加が予想されるため、償還計画をしっかりと確立し、未償還ケースについては県社協と連携をとりながら、行政等関係機関を含めた対応を検討していく。

(3) 真田地区

通常の貸付相談及び新規貸付については、たすけあい資金並びに生活福祉資金とも0件だった。

令和2年3月25日から実施された、新型コロナウイルスの影響による緊急小口資金特例貸付については、年度内に1件の相談があり、20万円の貸付となった。

償還金未納について、緊急小口資金1件が長期間にわたり償還がなされていなかったが、電話や通知文にて償還指導を行ったところ、一部の償還がされた。今後も継続した償還指導を行っていく。

(4) 武石地区

行政と連携を図り貸付相談に対応したが、他制度利用等の理由により貸付につながらなかった。

18 ボランティア地域活動センター事業

【令和元年度事業費】 1,830千円

【事業概要】

地域住民のボランティア活動に関する理解を深めるとともに、あらゆるボランティアとの協働による育成援助とボランティア活動の推進を図ることを目的とする事業

事業実績

(1) 上田市ボランティア地域活動センター

ア 災害時の訓練、協力（上田地区）

(ア) 災害救援ボランティア登録数 個人 69人 団体 30団体

(イ) 災害救援ボランティア訓練及び研修

(ウ) 令和元年度災害救援ボランティアセンター立ち上げ訓練
(市総合防災訓練と合同開催)

8月31日（土） 上田市真田体育館

災害ボランティア登録者12人参加

イ 令和元年度東日本台風（台風19号）災害支援

(ア) 上田市災害救援ボランティアセンター立ち上げ

10月14日（月）～10月31日（木）

ニーズ受付件数 62件

活動件数 80件

活動ボランティア数 295人

(イ) 上田ボランティア地域活動センター

11月1日（金）～11月30日（土）

ニーズ受付件数 20件

活動件数 17件



災害救援ボランティアセンター立ち上げ訓練の様子

活動ボランティア数 157人

(ウ) 災害ボランティアバスパック

長野市北部災害ボランティアセンター（穂保地区）

参加者 12月12日（木） 19人

12月14日（土） 18人



「令和元年度東日本台風（台風19号）上田市災害救援ボランティアの様子」

ウ ボランティア地域活動センター運営委員会

(ア) 運営委員会の開催

第14回上田市ボランティア地域活動センター運営委員会 令和元年5月23日（木）

第15回上田市ボランティア地域活動センター運営委員会 令和元年9月18日（水）

第16回上田市ボランティア地域活動センター運営委員会

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(1) 上田ボランティア地域活動センター

ア ニーズの把握 ※別表参照

(ア) 相談活動によるニーズの把握

(イ) 社会福祉施設、ボランティア団体のニーズの把握

(ウ) 企業の社会貢献に関する状況把握

イ 広報、啓発

(ア) 情報提供

啓発のためのボランティアセンターパンフレット配布、ボランティアコーナー掲示板・社協ホームページでのボランティア情報提供、「社協うえだ」へボランティア情報の掲載

年6回（2月、4月、6月、8月、10月、12月）上田市内全戸へ配布

(イ) マスメディア等の活用

信濃毎日新聞、東信ジャーナル、信州民報、週刊うえだ、上田ケーブルビジョン等

(ウ) 収集活動

使用済み切手 整理後、海外支援団体（ジョイセフ・日本キリスト教海外支援協会）及び国内NPO法人（誕生日ありがとう本部）へ送付 58.74kg

(エ) ボランティア保険等の普及、保険への加入促進

・ ボランティア活動保険加入者 359件 3,775人

- ・ ボランティア活動行事用保険加入者 111件 5,400人
- ・ 上田市福祉ボランティア保険掛金補助交付制度代理事務による補助 1,881人

ウ 養成研修、組織化

(ア) 各種講座の開催

- ・ お話を通して地域でつながる講座 (全2回) 参加者 延べ62人
- ・ 輝く男性のためのそば打ち実践講座 (全3回) 参加者 延べ22人

(イ) 上田ボランティア連絡協議会の活動支援

平成25年度から、事務局を上田ボランティア地域活動センターに設置し、事業の充実に向けて取り組んだ。

- ・ みんなの居場所しおじり 子どもカフェ 6回
- ・ 音楽レクリエーション 10回

エ 社会資源活用、ネットワーク促進

(ア) ひざ掛の配布

製作：モチーフの会

対象者：高齢者及び重度障がい者

配布地区 北部地区 93枚、塩尻地区 66枚

(配布地区は上田地区内を毎年順番に回している。)

オ 福祉教育の推進

(ア) 社会福祉普及校の指定

内容： 児童・生徒が体験を通じて、社会福祉の理解と関心を高め、日常生活の中に相互扶助、社会連帯の思想を浸透させることを目的に、小・中学校及び高等学校を対象に、社会福祉の普及を推進する。普及校1校に対し活動費50,000円の補助を行う。それぞれ地域の実情に合わせ、特性を生かした活動を展開した。

指定校：小学校16校、中学校7校、高校3校 計26校

社会福祉普及校連絡会議 7月2日(火)開催

(イ) 出前福祉体験事業

内容： 福祉体験を目的とした活動について、資材貸出、講師紹介及びハンディキャップ体験(車いす、アイマスク体験、高齢者擬似体験など)を学校等地域に出向いて行った。

対象： 小学校 11件、中学校 1件、大学 1件、PTA 2件、その他 1件
計 16件 対象者 1,179人

(ウ) 福祉体験プログラムの展開

○ サマーチャレンジボランティア(対象中学生以上)

内容： ボランティア活動を体験することにより、生徒、学生の視点から地域の課題を見つめ、自分たちが出来ることは何かを主体的に考え活動することを目的に実施した。



「福祉体験の様子」



「サマーチャレンジボランティア事前研修の様子」

- ・ 事前研修
7月20日(土) 上田市ふれあい福祉センター
事前研修・受入施設職員との打ち合わせ 参加者 182人
- ・ 施設でのボランティア体験活動
7月26日(金)～8月22日(木)の間、一人1施設で1日～3日間の体験活動を行う。
- ・ 受入承諾施設 67施設 活動先施設 53施設
参加者 198人(中学生134人、高校生58人、大学生6人)
- ・ 振り返りの会
8月24日(土) 西部公民館 参加者 30人
(中学生17人、高校生11人、大学生2人)
- スプリングチャレンジボランティア(対象中学生以上)
 - ※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
 - 内容： 春季休暇を利用し、ボランティア活動を体験することにより学生の視点から地域の課題を見つめ、自分達が取り組めることは何かを主体的に考え活動できることを目的としている。
 - ・ 受入承諾予定施設 67施設 活動先予定施設 45施設 参加者希望者 122人

(2) 丸子ボランティア地域活動センター

ア ニーズの把握 ※別表参照

- (ア) 相談活動によるニーズの把握
- (イ) 社会福祉施設、ボランティア団体のニーズの把握
- (ウ) 企業の社会貢献に関する状況把握

イ 広報、啓発

- (ア) マスメディア等の活用
信濃毎日新聞、信州民報、東信ジャーナル、週刊うえだ、丸子テレビ、丸子有線放送
- (イ) 「鈴木クラジ文庫」による啓発DVD、書籍などの貸出 (38件 73冊)
- (ウ) 収集活動
使用済み切手 整理後、日本キリスト教海外支援協力会へ送付 (31年度送付2回)
- (エ) ボランティア保険等の普及、加入促進
 - ・ ボランティア活動保険 38件 554人
 - ・ ボランティア行事保険 11件 538人
 - ・ サロン保険 5件 386人
 - ・ 上田市福祉ボランティア保険掛金補助交付制度代理事務による補助 516人

ウ 養成研修、組織化

- (ア) 各種講座の開催
 - ・ ボランティア講座
「音訳ボランティアフォローアップ研修」3回講座
内容：技術の向上・今後の学習方法について

講師：星野照子氏 参加者：13人

- ・ 「みまもり声かけ訪問フォローアップ研修」
内容：「話してよかった。」と相手を感じるコミュニケーション術について
講師： コーチングアカデミー諏訪校 校長 土橋桂子氏
参加者：15人

- ・ SNS活用講座
「Facebook を使ってボランティア活動アピールしてみよう」
内容：Facebook についての理解と投稿の手段について
講師：NPO 法人 UFM 理事 竹内充氏 参加者：8人

- ・ 地域サロンの開催
丸子ボランティア地域活動センターで男性ボランティアグループの育成と地域交流スペースの活用とセンターの活動周知を目的に月1回「珈琲サロンさざなみ」を開催
参加者 379人

- ・ サロン活動についての発表
発表 2会場 上田市(豊殿地区)・東御市
地域包括支援センター主催の居場所づくり講座
- ・ 丸子地域のふれあいの会等へレクリエーション用品の活用を呼びかける。
レク用品貸出 28件
- ・ 丸子ボランティア連絡協議会
加入団体 21団体 加入者数(個人ボラ含) 822人

エ 社会資源活用、ネットワーク促進

(ア) 丸子ボランティア連絡協議会の活動支援

- ・ 会員交流事業
7月12日(金) 視察研修
視察：社会福祉法人八葉会児童養護施設恵愛 参加者：23人
内容：こどもを通して地域が関われる現状について
- 12月7日(土) 丸子ボランティア連絡協議会定期交流会
会場：丸子ふれあいステーション会議室 参加者：35人
講演会：講師 上田東高等学校 学校長 丸尾泉氏
演 題 「子供の教育 今・昔・未来」
交流タイム：「みんなで語ろう。災害時に感じたささえあい」

- 3月1日(日) 多文化共生事業「ランチ交流会」
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
- ・ 地域交流事業
7月6日(土) いきいきフェスティバル2019 健康と福祉の祭典)
会場：丸子文化会館
内容：ふれあいコーナー(わたあめ、ポップコーン珈琲) 会場係等、参加35人
- 9月28日(土) 上小ブロックボランティア地域活動フォーラム

会場：東御市総合福祉センター 参加者：8人

内容：ユニバーサルスポーツについて

講師：NPO 法人 D-SHiPS32 代表 上原大祐氏

10月12日(土) げんきまるこ産業フェスタ 2019 ※ 台風19号災害のため、中止

12月7日(土)～8日(日) 長野県ボランティアまちづくりフォーラム 2019

※ 台風19号災害のため、中止

2月15日(土) 上田市視覚障がい者福祉協会施術奉仕

会場：丸子ふれあいステーション 施術者5人 参加者10人

内容：上田市視覚障協と音訳・点訳ボランティア団体を中心に交流を兼ねて開催

3月17日(月) 丸子災害救援ボランティア研修会兼地域づくり講座

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止

- ・ 丸子ボランティア連絡協議会代表者会

役員会・三役会へ参加

- ・ 外国籍市民や母子家庭などへ支援米の配布

令和元年度配布数量 77.5 kg

- ・ その他活動の支援

丸子モチーフの会

独居高齢者等へモチーフの膝掛を配布 110枚 (内村地区、丸子第一・第二地区)

- ・ E-キャップの会 (やさしい帽子の会)

闘病生活を送るガン患者の方にタオルの帽子を提供 提供数 601枚

提供医療機関 上田医療センター、佐久医療センターおよび個人

- ・ 傾聴ボランティア・まるこ

傾聴の技術により話を聞いてほしい人に寄り添うボランティア活動

利用者(個人宅、高齢者施設) 117人 訪問件数 79件

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2月末から訪問を自粛中

オ 福祉教育の推進

(ア) 社会福祉普及校の指定

児童・生徒が体験をとおして、社会福祉への理解と関心を高め、日ごろから助け合いの気持ちを育むことを目的として指定した。普及校1校に対し活動費50,000円までの補助を行う。(小学校4校、中学校2校、高校1校)

(イ) 出前福祉体験事業

内容： 学校や地域における福祉体験を目的とした活動について援助し、講師派遣、車いす体験、高齢者疑似体験などを行った。

対象：中学校2件 対象者128人

カ 福祉体験プログラムの展開

(ア) サマー体験ボランティア 2019

- ・ 内容： 夏の長期休暇等を利用して、福祉施設やボランティア団体での体験学習をとおして今後の学校や地域社会におけるボランティアのあり方を考え

る事を目的とし実施した。

- ・ 受入れ施設、団体 8施設 4団体
- ・ 参加者 36人 (延べ58日間)
- ・ 事前研修会 7月22日(土)
活動先施設との事前打ち合わせ
研修「むかしの遊びにチャレンジ」

覚えて、実践。昔あそびは最強のコミュニケーションツール

講師 昔あそびの会 代表 寺島初子氏

(3) 真田ボランティア地域活動センター

ボランティア・市民・学校・行政などさまざまな団体、個人からのボランティア活動に関する相談や問い合わせがあった。

ア ニーズの把握 ※別表参照

- (ア) 社会福祉施設、ボランティア団体、NPO法人の把握
- (イ) 相談による把握

イ 広報、啓発

- (ア) 啓発のためのチラシを作成し福祉体験授業に使用した。
 - ・ エスコートガイド(車いす、アイマスク)
 - ・ 高齢者疑似体験のチラシ作成
 - ・ イベントのチラシを全戸に配布
- (イ) 収集活動(使用済み切手、アルミ缶、書き損じはがき)にあわせて啓発し協力した。
- (ウ) マスメディア等(信濃毎日新聞、週刊うえだ、東信ジャーナル、有線放送)を活用しボランティア活動等を周知し参加を呼び掛けた。
- (エ) 福祉用具を学校へ貸出しした。

アイマスク 25枚

(オ) ボランティア保険の普及と加入促進

- ・ ボランティア活動保険加入 12団体 194人、天災プラン 31人
- ・ ボランティア行事用保険加入 67件 1,935人
- ・ 送迎サービス補償保険加入 300人

ウ 養成研修・組織化

(ア) 各種講座の開催

- ・ ボランティア講座 参加者 延べ人数 7回 168人

関心があることから勉強していただき、家族、地域、そこからボランティア活動をしていただけるように、基礎的な知識や技能を学んでいただくための講座を開催した。

① 6月3日(月) ハンドマッサージ・リンパの基本

講師 中沢由美子氏

② 6月10日(月) ヘッドスパについて

講師 中沢由美子氏

- ③ 6月17日(月) アロマについて
講 師 中沢由美子氏
- ④ 7月12日(金) 受講者との実演
講 師 中沢由美子氏
- ⑤ 7月18日(木) みんなと楽しむ～紙芝居コミュニケーション講座
講 師 塚原茂幸氏
- ⑥ 7月24日(火) 笑顔を育む～ユーモア・コミュニケーション講座
講 師 塚原茂幸氏
- ⑦ 2月18日(火) 良いコミュニケーションに必要な3つのコツ！
講 師 土橋桂子氏

(イ) ボランティア連絡協議会加入者数(団体13、施設2)

(ウ) サマーチャレンジボランティア、ふれあい広場、清掃ハイキングを地域の福祉施設、学校、地域住民、NPO法人と連携し開催することができた。

(エ) いきいきサロンへの協力

- ・ いきいきサロンで使える資料を作成し、活用していただいた。また、講師の派遣や職員も参加した。紹介件数 30件
- ・ 赤井自治会、十林寺自治会など、いきいきサロンへ出向き、手遊び、毛糸の小物作りをし交流することができた。

(オ) 地域清掃ハイキングの実施

福祉施設、福祉団体、学校、保育園、幼稚園、ボランティア団体、2社の企業の職員が参加し、真田地域の環境美化を守るため春と秋の2回計画したが、また、特別養護老人福祉施設で豚汁の提供を受け、参加者全員で施設内の庭をお借りして、昼食を食べながら年代を超えての交流を図ることができた。

第48回 6月1日(土)

長、傍陽、本原地域の県道・国道沿い 参加者 138人

第49回 10月5日(土)

長、傍陽、本原地域の県道・国道沿い 参加者 106人

(カ) 第32回ふれあい広場 in さなだへの参画

9月7日(土) 真田総合福祉センター、真田体育館(3回実行委員会開催)

地域住民総参加で、世代を超えて交流を図ることができた。

また、住民からバザー用品の提供を受け、売上金の一部(100,000円)を社協の善意銀行に指定寄付(内訳100,000円真田地域での活用)

一般入場者数約600人(中学生・大学生ボランティア27人)

(キ) 真田ボランティア連絡協議会の活動支援

- ・ 役員会、代議員会への協力
- ・ 令和2年2月8日(土)交流会開催

講 師 竹田貴一氏

内 容 「これからのボランティアは」

別所線の DVD を見ながら別所線の話などお聞きする。また、ボランティア団体の発表も行われた。

- (ク) 中止となった福祉推進委員、福祉委員合同研修会資料の送付に併せ、いきいきサロン等で活用していただくよう資料を提供した。

エ 福祉教育の推進

(ア) 福祉体験学習

- ・ 4月22日(月) 菅平中学校事前研修 1年生8人が参加
真田地域の福祉施設の見学を行い、生徒がボランティア活動をしたい施設を調べた。
- ・ 5月9日(木)、10日(金) 菅平中学校1年生8人がボランティア体験
障がい者施設、デイサービスセンター、特別養護老人ホームで行った。

(イ) サマーチャレンジボランティア

中学生を対象に、夏休みを利用してボランティア活動を行うきっかけ作りと、地域にはどのような施設があり、活動しているのか理解し、どのようなボランティア活動ができるのか考える機会にさせていただくことを目的に実施した。

- ・ 7月26日(金) 事前打ち合わせ
- ・ 7月29日(木)・30日(火)・31日(水)・8月1日(木)・2日(金)・3日(土)
デイサービスセンター、特別養護老人福祉施設、障がい者施設で体験 16人参加

(ウ) 小中学生の福祉体験学習(出前講座)

- ・ 11月29日(金)
長小学校6年生、28人高齢者疑似体験
- ・ 11月28日(木) 真田中学校1学年 35人車いす体験
真田中学1年生 35人アイマスク体験
- ・ 12月6日(金) 真田中学1学年 35人車いす体験
真田中学校1学年 35人アイマスク体験(ボランティア1人にお手伝いいただく)

オ ボランティア活動状況

- (ア) デイサービスセンターへ個人ボランティア派遣 延べ人数 65人
- (イ) 小・中学校へ福祉体験個人ボランティア派遣 2人
- (ウ) 真田モチーフの会で高齢者、障がい者にモチーフ5枚民生委員・児童委員を通じてお配りする。他に、長野市ボランティアセンターを通じ、台風19号で被災された方(サロン)へ30枚と雑巾30枚、施設にひざ掛け20枚、雑巾20枚を配布

カ 災害救援ボランティア研修

- (ア) 8月31日(土) 参加者数 12人
上田市防災訓練にボランティアの方と「災害救援ボランティアセンター立上げ訓練」に参加

(4) 武石ボランティア地域活動センター

ボランティア活動の推進を図るとともに、地域住民のボランティア活動に対する理解と関心を深めるため、その育成と組織化を図ることを目指した。

ア ニーズの把握 ※別表参照

- (ア) 相談活動によるニーズの把握
- (イ) 社会福祉施設、ボランティア団体のニーズの把握
- (ウ) 企業の社会貢献に関する状況把握

イ 広報、啓発

- (ア) 住民参加の地域内のごみ拾いや清掃など、ボランティア活動を通し啓発を進めた。
 - (イ) ボランティア保険の普及、保険への加入促進
 - ボランティア活動保険 9件 108人
 - ボランティア行事用保険 9件 230人
- 上田市福祉ボランティア保険掛金補助交付制度代理事務による補助 108人

ウ 養成研修、組織化

- (ア) ボランティア養成講座の開催
 - ・ 第1回 コーチングセミナー
 - 実施日 9月10日(火)
 - 講師 コーチングアカデミー諏訪校 校長 土橋桂子氏
 - 参加者 21人
 - ・ 第2回 セラピューティック・ケア講習
 - 実施日 10月17日(木)
 - 講師 日本セラピューティック・ケア協会 西川信子氏
 - 参加者 18人
 - ・ 第3回 心も弾むレクリエーション体操
 - 実施日 11月12日(火)
 - 講師 東信レクリエーション協会 鷹野優子氏
 - 参加者 14人
 - ・ 第4回 心も弾むレクリエーション体操
 - 実施日 12月3日(火)
 - 講師 東信レクリエーション協会 鷹野優子氏
 - 参加者 12人

- (イ) 武石ボランティア連絡協議会加入者数
 - 団体 12団体 193人 個人 24人

エ 社会資源活用、ネットワーク促進

- (ア) 高齢者クラブ女性部による高齢者福祉施設での洗濯物たたみ
 - 5月～11月 月2回 延べ参加者 44人
- (イ) 団体によるデイサービス等への訪問活動
 - ・ JAフラダンス、カラオケクラブひまわり、ハーモニーたんぼぼ、
- (ウ) 個人による施設などへのボランティア活動
 - ・ サックス演奏、本の読み聞かせ、セラピューティック・ケアによるケア活動
- (エ) 高齢者クラブ員による老人福祉センター庭園の樹木の剪定や草刈りを行い、施設の景観整備に努めた。

年2回 6月、9月 延べ参加者 90人

(オ) 武石ボランティア連絡協議会活動支援

- ・ 「おさんぽギャラリー」参加
4月28日(日)、11月2日(土)、3日(日) J Aひだまり武石 (縁が輪)
飲み物コーナー担当 延べ参加者 15人
- ・ アレチウリ等駆除作業
実施日 6月8日(土) 参加者 34人
- ・ 武石ボランティア連絡協議会交流会
実施日 6月8日(土) 参加者 22人
演歌にあわせて健康体操 成沢秀敏氏
会員相互の交流

カ 福祉教育の推進

(ア) 社会福祉普及校の指定

児童・生徒が体験を通じて、社会福祉の理解と関心を高め、日常生活の中に相互扶助、社会連帯の思想を浸透させることを目的に指定した。普及校1校に対し活動費50,000円までの補助を行う。(小学校1校、依田窪南部中学校については、長和町社会福祉協議会と合わせて1校25,000円の補助)

(イ) 福祉体験学習

依田窪南部中学校

近隣福祉施設に1年生から3年生希望者58人 体験学習 8月5日(月)、9日(金)
武石小学校

地域活動として、児童館の清掃活動、通学路のごみ拾い登校

別表

(1) 上田地区

ア ボランティアニーズ状況(単位:件)

	施設	自治会	学校	団体	個人	合計
合計	106	62	19	15	80	282

(2) 丸子地区

ア ボランティアニーズ状況(単位:件)

	施設	自治会	学校	団体	個人	合計
合計	20	13	2	2	6	43

イ 丸子ボランティア地域活動センター利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
使用団体(団体)	25	19	23	22	22	21
使用人数(人)	242	203	258	247	210	185

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
使用団体(団体)	20	19	14	16	20	8	229
使用人数(人)	193	137	156	133	163	48	2,175

※ 令和2年2月末から新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベントの中止やボランティア団体の活動自粛が始まりニーズが低迷。センター会議室は使用制限のためボランティア団体の利用が減少した。

(3) 真田地区

ア ボランティアニーズ状況(単位：件)

	施設	自治会	学校	団体	個人	合計
合計	21	25	3	3	12	64

イ 真田ボランティア地域活動センター利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
使用団体(団体)	5	7	2	6	5	3	
使用人数(人)	22	28	6	27	18	10	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
使用団体(団体)	7	4	9	2	1	2	53
使用人数(人)	30	22	38	9	3	9	222

(4) 武石地区

ア ボランティアニーズ状況(単位：件)

	施設	自治会	学校	団体	個人	合計
合計	8	0	0	8	3	19

評価・課題

(1) 上田地区

令和元年度は、男性の地域参加のきっかけづくりを目指し、「輝く男性のためのそば打ち実践講座」を開催した。参加者に好評だったため、今後も継続していき、男性の地域参加の手助けをしたい。課題として、多くの市民の方が気軽に参加でき、長く続けて行くことができる講座にするためのプログラム作りの工夫や広報に努める。

また、今年度は令和元年東日本台風（台風19号）の災害により上田市災害対策本部と連携し、災害救援ボランティアセンターを立ち上げ、多くのボランティアの方に参加いただき迅速な対応ができた。また、長野県社会福祉協議会から職員1人が災害救援ボランティアセンターに派遣され、ボランティアと連携しながら現地ニーズ調査を実施した。今回の災害救援ボランティアセンターの運営を通して、災害時の設置場所の確保や資材不足等の課題がみえてきた。今後にも備え検討していきたい。

(2) 丸子地区

ア ボランティアセンター運営事業

丸子の特性を活かし、当センターをボランティア活動拠点として利便性良く活用され、住民への周知がされてきている。ボランティアの高齢化に伴う活動の縮小が大きな課題である。ボランティア団体の活動支援は職員が手厚く対応しなければ機能がならず切迫している。

本年度は台風災害に襲われ丸子地域でも多くの方が不安な日々を過ごした。災害救援ボランティアセンターが立ち上がった際には地域のボランティア団体から情報を頂き無事に終える事が出来た。日ごろから地域でのボランティア活動は、相手に寄り添い共に労わりあう行動が起こる。今後も強いつながりが持てるボランティアセンター運営が目標である。

イ ボランティア育成事業

地域で活動しているボランティアのフォローアップを行い、活動への意識づけを再確認した。

ボランティア団体の高齢化が進み活動支援の強化と活動内容の柔軟な見直しが課題である。新規ボランティアの獲得には魅力ある講座作りを企画していきたい。

ウ 災害等の情報提供啓発事業

実際に台風災害を経験し様々な現場で課題が起きている。避難の初動対応について学ぶ予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

エ 地域活動推進事業

台風災害発生時の初動時、避難指示を理解できず戸惑う住民が多くいた。全ての住民が不安なく避難できる環境づくりに努めていきたい。

今回災害研修と合わせて講座を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。地域においても様々な事業が中止となり地域で孤立化が起きやすい環境になっている。つながりが保てる地域づくりが大きな課題である。

(3) 真田地区

地域の特性を活かしながら各団体と連携し、ボランティアの育成やボランティア講座を開催し、講座で学んだことをボランティア活動につなげるために、施設での活動を行っている。課題として、ボランティアの高齢化があげられるため、若い世代への参加を促す活動を進めたい。

(4) 武石地区

ボランティアを始めたい方やボランティアをスキルアップしたい方を対象にボランティア養成講座を4回開催した。今後は現状より、講座終了後の活動を見据えた内容で開催を進める。恒例の行事になっている、春季「アレチウリ駆除作業」、「交流会」を開催した。また、個人・団体等のパフォーマンスボランティア活動(演芸、演奏等)も積極的に実施した。課題としては、メンバーの高齢化により、活動の内容、範囲が狭くなったボランティア団体が見受けられることである。

また、いずれの事業も参加者がほぼ重なる傾向にあり、会員の増加は難しい状況にある。

19 地域子育て支援拠点事業【連携型、一般型】（市受託事業）

【令和元年度事業費】 6,611 千円

【事業概要】

未就園児の親子を対象に子育ての負担感の緩和を図り、安心して子育てができることを目的とした事業であり、上田市からの委託を受け、4か所の子育てひろば[連携型3か所(大星・神科・東塩田児童館内)、一般型1か所(清明子ども館)]を開設し運営している。

事業実績

地域における子育て支援拠点として、親子で遊んだり、他の親子と交流したり、子育ての悩みなどを相談できる場としてサービスの提供をしており、様々な遊具や遊びの他、保護者のための講座や親子で楽しめる遊びの講座を毎月1回以上実施した。

また、自治会内に回覧や掲示をして、子育てひろばの利用方法や毎月の講座、ひろばの様子を知らせるなど周知に努めた。子育てひろばスタッフ研修会、救急法講習会、発達障がい研修会に参加し、職員の資質向上を図った。

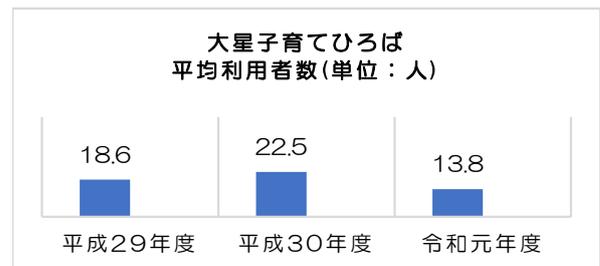
会 場	開設曜日	開設時間
大星児童センター	火・木・金	9:30～12:30
神科児童センター	火・水・木	9:30～12:30
東塩田児童センター	月・火・水	9:30～12:30
清明子育てひろば	月・水・金	9:30～14:30

別表

(1) 平均利用者数 推移

ア 大星子育てひろば

	平均利用者数(人)
平成29年度	18.6
平成30年度	22.5
令和元年度	13.8



イ 神科子育てひろば

	平均利用者数(人)
平成29年度	19.0
平成30年度	21.3
令和元年度	16.3



ウ 東塩田子育てひろば	
	平均利用者数(人)
平成 29 年度	13.5
平成 30 年度	12.6
令和元年度	12.9

エ 清明子育てひろば	
	平均利用者数(人)
平成 29 年度	15.3
平成 30 年度	16.4
令和元年度	14.6

評価・課題

各子育てひろばの特色によって、ひろばを選んで利用する親子が増えてきている。育児に不安や悩みを抱える母親にとって、スタッフや母親同士で話をすることで気分転換できる場となっている。我が子の成長に不安を抱えていた母親には、上田市や専門機関等との連携をとり、安心して入園できるようにつなげることができた。

講座を楽しみに来られる方も多いため、身近なもので簡単にできるおもちゃの制作や母親がリラックスできるヨガ、ハンドマッサージ等の講座を実施し、利用者親子に好評だった。

昨年好評だった4つのひろばで合同の講座を今年度も実施した。いくつかのひろばを親子で回り、ハロウイングッズが出来上がり、楽しい思い出となった。

今後もすぐそばにある子育てひろばとして、子育ての支援をしていきたい。

20 上田市高齢者福祉センター管理事業（市受託事業）

【令和元年度事業費】 38,473 千円

上田市高齢者福祉センター

【事業概要】

市内に在住する60歳以上の高齢者の方の生きがいと健康づくりを目的として昭和56年に開設された。平成9年4月1日からは上田市社会福祉協議会が管理運営を行っている。

2階にある展望風呂を楽しみに来館される方が多く、また貸出部屋を利用した各種同好会活動等も盛んに行われている。

他にも、高齢者介護課が主催する介護予防体操や自主事業として行っている初級パソコン教室があり、大勢の方々に利用していただいている。センター内では利用者の趣味を生かした各種クラブが25クラブあり、約770人の会員が積極的な活動を行い、特に高齢者文化祭や高齢者作品展での発表や作品展示に向けて仲間との交流を図りながら楽しんで取り組んでい

る。

また、当センターを主会場に3年間のカリキュラムで上田市高齢者学園の授業が行われており、卒業後は各種同好会やクラブ活動をはじめ、学んだ知識を地域での活動に役立てている。

事業実績																							
(1) 利用状況 高齢者の生きがいと健康づくりを目的に多くの皆さんが利用された。																							
(2) その他事業 高齢者文化祭 10月19日(土)、20日(日) 参加者 1,354人																							
(3) 利用人数																							
ア 教養クラブ活動(25クラブ)		延べ参加者 30,777人																					
イ 高齢者初級パソコン教室(222回)		延べ参加者 1,846人																					
ウ 実習生・ボランティア(10回)		延べ参加者 76人																					
別表																							
(1) 利用状況																							
	4月	5月	6月	7月	8月	9月																	
利用延べ人数(人)	7,766	6,887	7,206	7,919	6,146	7,206																	
開館日数(日)	24	22	25	26	26	23																	
1日平均利用者(人)	323.5	313.0	288.2	304.5	236.3	313.4																	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計																
利用延べ人数(人)	8,051	7,219	6,650	6,573	7,057	5,451	84,134																
開館日数(日)	26	24	24	23	23	25	291																
1日平均利用者(人)	309.6	300.7	277.1	285.8	306.8	218.0	289.1																
(2) 上田市高齢者福祉センター利用状況の推移																							
	利用延べ人数(人)		開館日数(日)		1日平均利用者(人)																		
平成29年度	89,919		294		305.9																		
平成30年度	88,344		293		301.5																		
令和元年度	84,134		291		289.1																		
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>上田市高齢者福祉センター 利用延べ人数(単位:人)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>利用延べ人数(人)</th></tr> <tr><td>平成29年度</td><td>89,919</td></tr> <tr><td>平成30年度</td><td>88,344</td></tr> <tr><td>令和元年度</td><td>84,134</td></tr> </table> </div> <div style="text-align: center;"> <p>上田市高齢者福祉センター 1日平均利用者(単位:人)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>1日平均利用者(人)</th></tr> <tr><td>平成29年度</td><td>305.9</td></tr> <tr><td>平成30年度</td><td>301.5</td></tr> <tr><td>令和元年度</td><td>289.1</td></tr> </table> </div> </div>								年度	利用延べ人数(人)	平成29年度	89,919	平成30年度	88,344	令和元年度	84,134	年度	1日平均利用者(人)	平成29年度	305.9	平成30年度	301.5	令和元年度	289.1
年度	利用延べ人数(人)																						
平成29年度	89,919																						
平成30年度	88,344																						
令和元年度	84,134																						
年度	1日平均利用者(人)																						
平成29年度	305.9																						
平成30年度	301.5																						
令和元年度	289.1																						

評価・課題

高齢者福祉センターは、超高齢社会並びに人口減少社会に突入した時代において、高齢者が主体的に社会との関わりを保ちながら、生きがいを持って健康増進を図ることができるための拠点となる施設として有効に活用されている。

事業内容については、介護予防体操や初級パソコン教室は特に人気が高く、毎回たくさんの方が参加され、高齢者のニーズが健康増進や生涯学習に向けられていることが理解できる。

また、福祉教育の一環として看護学校をはじめとした実習生や学生ボランティアを受け入れる中で、学生と利用者との貴重な世代間交流の場となり、互いに良好な相互作用がもたらされた。クラブ活動においては、講師や会員の高齢化等に伴い活動が困難となり、解散するクラブも出てきている。働き方改革における高齢者の就労促進の影響もあり、60歳代の方の活動が減ってきていることも要因と考えられるが、今後のクラブ活動や利用者協議会の運営が懸念される状況となってきている。

施設的环境整備面では、利用者が心地よく過ごしていただけるように努めているが、老朽化(昭和56年築)が進み年々修繕箇所や設備の不具合が増えているのが課題となっている。

高齢者学園事業（市受託事業）

【事業概要】

「仲間づくり、健康づくり、生きがいづくり」を行動指針に、3つの学習分野（より良い社会参加・健康といきがいづくり・豊かな長寿社会の実現）を柱に、地域の中でも主体的に社会参加し、地域社会の発展に寄与することを目指して学習に取り組んでいる。

また、講義評価アンケートを実施するとともに、学生からの様々な要望や意見を取り入れ、学園生の自発的な学園運営に活かしている。

事業実績

- | | |
|----------|--|
| (1) 学生数 | 1年生 46人、2年生 45人 3年生 30人 |
| (2) 講義回数 | 1年生 17講義、2年生 17講義、3年生 17講義 |
| (3) 研修会 | 1年生 創造館研修
2年生 松代研修
3年生 長野研修 |
| (4) 交流会 | 1年生 別所地域散策
2年生 武石地域散策
3年生 真田地域散策 |
| (5) 研修旅行 | 1年生 10月9日(水)～10日(木) 木曾・伊那方面と昼神温泉
2年生 9月25日(水)～26日(木) 福島県被災地と穴原温泉
3年生 6月5日(水)～6日(木) 伊豆方面と伊東温泉 |

(6) クラブ活動

8種類のクラブ活動を各学年の講義日に設定し(年間7回)学習効果を高めるとともに、三学年合同のクラブ発表会を開催し、ステージ発表や作品展示をとおして活動の成果を確かめ合った。

また、学園運営委員を招き、意見交換を行いながら互いに交流を深めた。

(7) 運営委員会 第1回運営委員会 11月20日(水)

第2回運営委員会 2月14日(金)

(8) その他 講義評価アンケートの実施

評価・課題

高齢者学園事業については、「仲間づくり、健康づくり、生きがいくくり」を行動指針に、3つの学習分野(より良い社会参加・健康といきがいくくり・豊かな長寿社会の実現)を柱に、地域の中でも主体的に社会参加し、地域社会の発展に寄与することを目指し、学習に取り組んでいただいている。

学園生に講義に対する評価アンケートを実施しているが、感想・意見からも満足度が高いことが伺われ、高評価を得られている。

2.1 上田市丸子老人福祉センター設置管理事業(市補助事業)

【令和元年度事業費】 14,753千円

【事業概要】

高齢者の心身の健康の保持のため、健康相談・指導・入浴・休養・レクリエーションなどを行うとともに、文化教養の向上を図るため老人のクラブ活動等を行い、高齢者福祉に総合的に寄与することを目的に昭和54年に開設した。

開設当時より、老人クラブの活動や高齢者憩いの場所として多くの方に利用されている。

事業実績

高齢者の心身の健康保持のため、健康相談・入浴・レクリエーションなどを行うとともに、老人クラブの活動等を行っている。

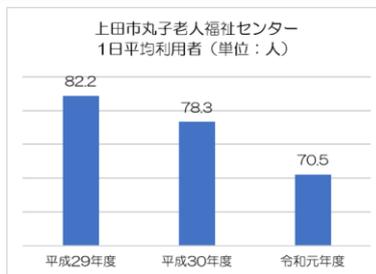
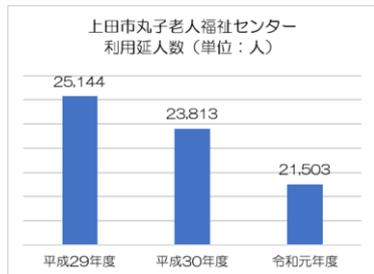
別表

(1) 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用延べ人数(人)	2,019	1,891	1,855	1,831	1,524	1,739	
開館日数(日)	26	27	25	26	25	24	
1日平均利用者(人)	77.7	70.0	74.2	70.4	61.0	72.5	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延人数(人)	1,824	1,795	1,840	1,851	1,893	1,441	21,503
開館日数(日)	27	26	24	24	25	26	305
1日平均利用者(人)	67.6	69.0	76.7	77.1	75.7	55.4	70.5

(2) 上田市丸子老人福祉センター利用状況の推移

	利用延人数（人）	開館日数（日）	1日平均利用者（人）
平成29年度	25,144	306	82.2
平成30年度	23,813	304	78.3
令和元年度	21,503	305	70.5



評価・課題

丸子高齢者クラブの活動も盛んであり、丸子地域高齢者の憩いの場として多くの皆さんに利用されている。課題としては、施設(昭和54年築)が老朽化しているうえ耐震化も未実施である。また、冷房設備がないため、夏は施設の温度管理に苦慮している。

22 上田市真田老人福祉センター管理事業（市受託事業）

【令和元年度事業費】 8,196千円

【事業概要】

高齢者の健康相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーション等憩いの目的に利用されている。

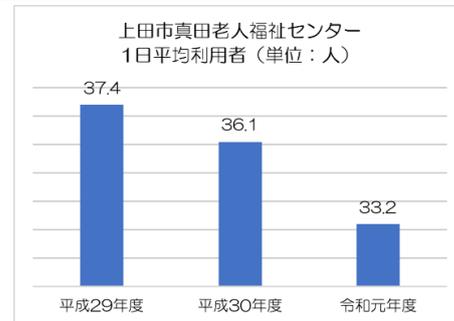
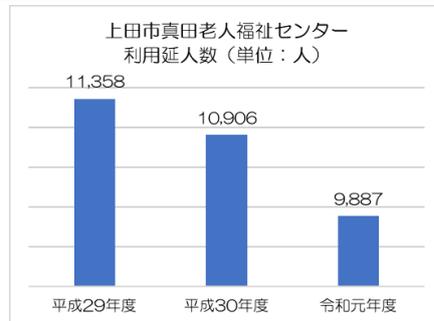
事業実績

(1) 上田市真田老人福祉センター利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用延べ人数（人）	938	885	901	951	704	829	
開館日数(日)	26	27	25	27	23	25	
1日平均利用者（人）	36.1	32.8	36.0	35.2	30.6	33.2	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延人数(人)	802	887	843	821	944	382	9,887
開館日数(日)	25	25	22	23	24	26	298
1日平均利用者（人）	32.1	35.5	38.3	35.7	39.3	14.7	33.2

(2) 上田市真田老人福祉センター利用状況の推移

	利用延人数（人）	開館日数（日）	1日平均利用者（人）
平成29年度	11,358	304	37.4
平成30年度	10,906	302	36.1
令和元年度	9,887	298	33.2



評価・課題

高齢の方々が自由に来館し利用できる施設として、また、趣味を通じた仲間づくりなど健康で生きがいのある生活を送るための憩いの場となるよう施設運営に努めた。利用者数は、新型コロナウイルスの影響で団体利用自粛により減少傾向にさらに拍車がかかったが、自主事業である「さわやかサロン」は好評を得ており、今後の状況を踏まえながら利用促進に向けPRしていきたい。

23 上田市武石老人福祉センター管理事業（市受託事業）

【令和元年度事業費】 2,617 千円

【事業概要】

「木彫教室」、「地域リハビリテーション」「高齢者クラブによるカラオケ・マージャン」などの趣味活動、単位高齢者クラブ等や各種福祉団体の会議等に利用されている。

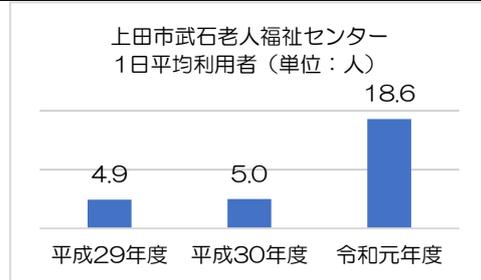
事業実績

(1) 武石老人福祉センター利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用延べ人数（人）	572	513	688	729	623	544	
開館日数（日）	30	31	30	31	31	30	
1日平均利用者（人）	19.1	16.5	22.9	23.5	20.1	18.1	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延人数（人）	586	500	539	505	718	162	6,679
開館日数（日）	31	30	28	28	29	31	360
1日平均利用者（人）	18.9	16.7	19.3	18.0	24.8	5.2	18.6

(2) 武石老人福祉センター利用状況の推移

	利用延人数（人）	開館日数（日）	1日平均利用者（人）
平成29年度	1,197	245	4.9
平成30年度	1,254	253	5.0
令和元年度	6,679	360	18.6



評価・課題

今年度は、高齢者クラブ関係者が積極的に利用していただいたこと、武石公民館の代替施設として利用が集中したことにより利用延人数が大幅に増加した。令和2年度も武石公民館の代替施設として利用が集中し利用延人数が多くなることが予想される。

24 真田ふれあいバス運行事業(市受託事業)

【令和元年度事業費】 3,910千円

【事業概要】

老人センターへの利便を図るため、定期的にくれあいバスを運行している。公共のバス路線では対応できない地域に密着した路線を中心に運行している。

事業実績

- (1) 定期運行 毎週 月、水、木、金曜日に真田地域巡回（菅平区は除く）
- (2) 25人乗りマイクロバス 迎え1回 送り2回の巡回
- (3) 運休日 毎週 火、土、祝日、お盆（8月13日～16日）
年末年始（12月29日から1月3日まで）

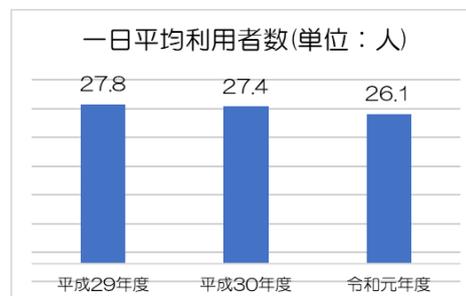
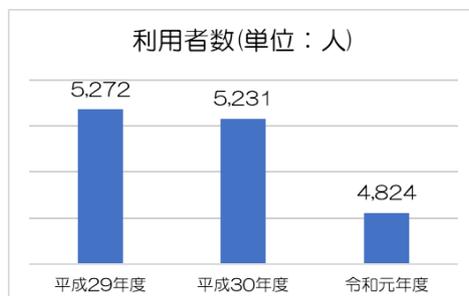
別表

(1) 真田ふれあいバス利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者(人)	467	429	403	449	356	375	
運行日数(日)	16	15	16	17	14	15	
1日平均利用者数(人)	29.2	28.6	25.2	26.4	25.4	25.0	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数(人)	457	404	428	355	377	324	4,824
運行日数(日)	17	15	14	15	15	16	185
1日平均利用者数(人)	26.9	26.9	30.6	23.7	25.1	20.3	26.1

(2) 真田ふれあいバス利用状況の推移

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
利用者数 (人)	5,272	5,231	4,824
運行日数(日)	190	191	185
一日平均利用者数(人)	27.8	27.4	26.1



評価・課題

特に高齢の方々の乗車に配慮し、安全運転はもとより乗降時等の丁寧な誘導に努めている。利用者数は、新型コロナウイルスの影響もあり減少傾向にさらに拍車がかかったが、引き続き、地域における高齢者等の交通手段確保に向け、市の受託業務として取り組んでいきたい。

25 在宅介護者リフレッシュ事業(市受託事業)

【令和元年度事業費】 1,634 千円

【事業概要】

在宅で高齢者を介護している介護者の皆さんが、心身の疲れを癒し、元気の回復を図り、専門職からの相談援助や情報提供を受ける。

また、同じ悩みや体験を持つ介護者同士の交流を図ることを目的として実施している。

事業実績

(1) 日帰り

ア 期 日 8月28日(火)

場 所 軽井沢

参加者 18人

イ 期 日 11月16日(金)

場 所 ろくもん

参加者 24人

(2) 1泊2日 期 日 10月15日(月)～16日(火)

場 所 新潟方面

参加者 26人

評価・課題

日帰り旅行として今までになかった「ろくもん列車の旅」を取り入れることができ、募集定員を超えるほどに好評であった。参加者も新規の方を増やすことができた。

課題としては、今年度も圧倒的に女性参加者が多かったため、引き続き男性も参加しやすい内容も取り入れたい。また、介護に関する講演等も行っしてほしいとの意見もありましたが、今年度は旅行の中で取り組みができなかったため、次年度は介護に関する内容のビデオを流したり、資料配布して理解を深めていただく取り組みを計画したい。

26 上田市ふれあい福祉センター管理事業(市受託事業)

【令和元年度事業費】 15,720 千円

【事業概要】

旧上田郵便局舎を改修し、障がい者の社会参加の支援、市民のボランティア活動への参加を積極的に促進するとともに、市民と高齢者、ボランティアの交流を推進することを目的に平成11年11月15日にオープンし、福祉の拠点として多くの方が利用されている。

事業実績

(1) 上田市ふれあい福祉センター利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用延べ人数(人)	2,619	3,162	2,443	2,677	2,242	2,741	
日数(日)	30	30	30	31	31	30	
1日平均利用者(人)	87.3	105.4	81.4	86.3	72.3	91.3	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延べ人数(人)	2,763	2,904	2,122	1,762	2,226	1,386	29,047
日数(日)	31	29	28	28	29	31	358
1日平均利用者(人)	89.1	100.1	75.7	62.9	76.7	44.7	81.1

(2) 上田市ふれあい福祉センター推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
利用延べ人数(人)	31,218	31,821	29,047
1日平均利用者(人)	87.2	89.1	81.1

利用延べ人数 (単位:人)



評価・課題

10月頃から1階社協役員室、2階大会議室、2階日常生活訓練室の雨漏りが深刻な状態であったが、上田市と協議し屋上の防水シートの修繕を行った。現在も雨が降った際には、雨漏りが発生してしまうが、以前よりは改善された。

雨漏りによる北側玄関・大会議室の天井の修繕の他にエアコン室外機、駐車場のブロック塀の改修など高額な修繕について上田市と協議し改修工事を行った。

築年数 54 年を経過し、建物の老朽化もあり毎年高額な修繕が発生している状況ではあるが、今後も優先度の高い箇所から順次対応できるよう上田市と協議していく。

27 上田市真田総合福祉センター管理事業(市受託事業)

【令和元年度事業費】 2,401 千円

【事業概要】

真田総合福祉センターは、地域の多くの方に利用していただける施設です。障がい者及び高齢者の社会参加を支援するとともに、市民のボランティア活動への参加を積極的に推進することを目的としている。また多くのクラブ活動に利用されている。

(1) 開館日：火曜日の夜間を除く毎日（ただし、12月29日から1月3日を除く）

(2) 開館時間：午前9時～午後9時30分

事業実績

(1) 真田総合福祉センター利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用延べ人数(人)	1,102	1,280	1,507	1,400	1,210	1,664	
日数(日)	30	31	30	31	31	30	
1日平均利用者(人)	36.7	41.3	50.2	45.2	39.0	55.5	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延べ人数(人)	1,606	1,001	1,227	1,003	853	373	14,226
日数(日)	31	30	28	28	29	31	360
1日平均利用者(人)	51.8	33.4	43.8	35.8	29.4	12.0	39.5

(2) 真田総合福祉センター推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
利用延べ人数(人)	16,268	14,138	14,226
1日平均利用者(人)	45.3	39.4	39.5

利用延べ人数 (単位：人)



評価・課題

主に真田地域のボランティア団体、福祉団体、各種クラブ等大勢の方に使用され、昼夜を問わず利用も活発で地域の活動拠点となっている。幅広い年齢層に利用されているが、エレベーターが無いため高齢の方、障がいのある方には階段による昇降など利用上の不便さもある。利用者数は新型コロナウイルスの影響も懸念されたが昨年並みであった。築48年が経過しており雨漏りや館内の暖房効率など施設の課題もあるが、修理・点検を行いながら安全な利用環境が整うよう取り組んでいる。

28 上田市真田地域活動支援センター管理事業(市受託事業)

【令和元年度事業費】 2,283 千円

【事業概要】

障がい者及び高齢者が民芸品の自主制作に取組み、生産意欲を持って健康で楽しく働き、社会生活の適応性を高めることを目的に利用されている。

(1) 開館日：月曜日～金曜日（ただし、年末年始・祝日休館）

事業実績	
利用者	7人（身体障がい者3人、高齢者4人）
評価・課題	
利用される方々の障がいの状況や年齢、体力等に応じた活動となるよう配慮すると共に利用者同士の交流も含め「生きがい」づくりに努めている。市内同種の5施設中、本施設のみ設置主体が市であり、利用者数の減少や高齢化が進む中、設置条例に即した障がい者福祉サービスを提供する施設として、用途変更また用途廃止も含め「今後のあり方」について市で検討が進められている。	

29 上田市長瀬市民センター管理事業(市受託事業)

【令和元年度事業費】 5,112 千円

【事業概要】

市からの受託事業で、市民の福祉の増進に寄与することを目的として、会場の貸出し等の管理運営を行い、市民に広く利用されている。

事業実績							
(1) 上田市長瀬市民センター利用状況							
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用延べ人数(人)	1,435	909	1,454	1,656	934	969	
日数(日)	26	26	26	27	25	26	
1日平均利用者(人)	55.2	35.0	55.9	61.3	37.4	37.3	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延べ人数(人)	1,215	1,089	929	986	1,311	461	13,348
日数(日)	27	26	24	24	26	27	310
1日平均利用者(人)	45.0	41.9	38.7	41.1	50.4	17.1	43.1

(2) 上田市長瀬市民センター推移

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
利用延べ人数 (人)	14,950	13,553	13,348
1 日平均利用者(人)	48.5	43.9	43.1



評価・課題

多くの市民や団体が交流の場や活動拠点として利用している。今後も安全に利用できるような施設管理に努めていきたい。

30 共同募金配分金事業



【事業概要】

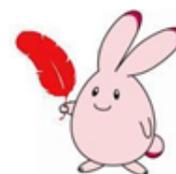
戦後の混乱した経済社会状況の中、「国民たすけあい」の精神を基に始められ赤い羽根共同募金運動は、民間社会福祉事業の経済的基礎を確立する上で大きく貢献してきた。

半世紀以上過ぎた今でも、共同募金にお寄せいただく皆様の善意は、民間社会福祉施設や団体にとって貴重な活動財源になっており、毎年 10 月 1 日から各都道府県共同募金会が主体となって全国一斉に展開される共同募金運動に積極的に協力している。

お寄せいただいた募金は、長野県共同募金会へ一旦集約され、配分決定のあった民間社会福祉施設、団体に翌年度配分される。

令和元年度募金総額 26,399,041 円(目標額 26,007,000 円)

内訳	戸別募金	23,826,167 円
	法人募金	1,599,416 円
	学校募金	259,095 円
	職域募金	158,510 円
	街頭募金	510,167 円
	その他	45,686 円

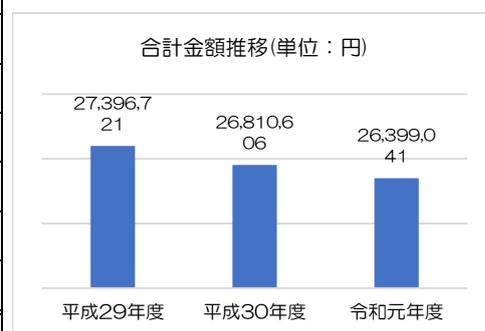


(1) 令和元年度内訳

	上田地区	丸子地区	真田地区	武石地区	合計
戸別募金	16,650,761	4,192,632	2,033,824	948,950	23,826,167
法人募金	1,211,055	319,861	65,500	3,000	1,599,416
学校募金	196,849	37,298	21,284	3,664	259,095
職域募金	99,141	25,241	26,335	7,793	158,510
街頭募金	438,994	51,577	13,735	5,861	510,167
その他	11,586	34,100	0	0	45,686
合計	18,608,386	4,660,709	2,160,678	969,268	26,399,041

(2) 合計推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
戸別募金	24,967,261	24,329,806	23,826,167
法人募金	1,548,985	1,534,725	1,599,416
学校募金	286,259	291,716	259,095
職域募金	137,005	129,400	158,510
街頭募金	418,072	476,673	510,167
その他	39,139	48,286	45,686
合計	27,396,721	26,810,606	26,399,041



上田地区共同募金配分金事業

【令和元年度事業費】 11,064 千円

(上田共募高齢者 1,533 千円、上田共募障がい児・者 1,138 千円、上田共募児童・青少年 1,789 千円、上田共募住民全般 6,514 千円、共募広域福祉活動事業 90 千円)

事業実績			
(1) 経年推移			
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
戸別募金	17,173,756	16,679,953	16,650,761
法人募金	1,132,660	1,166,430	1,211,055
学校募金	227,133	209,918	196,849
職域募金	84,636	76,809	99,141
街頭募金	331,794	413,817	438,994
その他	9,139	13,286	11,586
合計	18,959,118	18,560,213	18,608,386



丸子地区共同募金配分金事業

【令和元年度事業費】 3,610 千円

(丸子共募高齢者 476 千円、丸子共募障がい児・者 402 千円、丸子共募児童・青少年 600 千円、丸子共募住民全般 2,132 千円)

事業実績			
(1) 経年推移			
	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
戸別募金	4,716,210	4,683,593	4,192,632
法人募金	371,325	300,295	319,861
学校募金	32,277	50,116	37,298
職域募金	21,904	27,389	25,241
街頭募金	47,758	42,088	51,577
その他	30,000	35,000	34,100
合計	5,219,474	5,138,481	4,660,709

丸子地区 合計金額推移(単位：円)

年度	合計金額
平成29年度	5,219,474
平成30年度	5,138,481
令和元年度	4,660,709

真田地区共同募金配分金事業

【令和元年度事業費】 1,577 千円

(真田共募高齢者 130 千円、真田共募障がい児・者 111 千円、真田共募児童・青少年 280 千円、真田共募住民全般 1,056 千円)

事業実績			
(1) 経年推移			
	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
戸別募金	2,146,006	2,029,650	2,033,824
法人募金	40,000	65,000	65,500
学校募金	23,549	29,386	21,284
職域募金	16,011	15,535	26,335
街頭募金	29,165	14,118	13,735
その他	0	0	0
合計	2,254,731	2,153,689	2,160,678

真田地区 合計金額推移(単位：円)

年度	合計金額
平成29年度	2,254,731
平成30年度	2,153,689
令和元年度	2,160,678

武石地区共同募金配分金事業

【令和元年度事業費】 754 千円

(武石共募高齢者 318 千円、武石共募障がい児・者 44 千円、武石共募児童・青少年 75 千円、
武石共募住民全般 317 千円)

事業実績			
(1) 経年推移			
	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
戸別募金	931,289	936,610	948,950
法人募金	5,000	3,000	3,000
学校募金	3,300	2,296	3,664
職域募金	14,454	9,667	7,793
街頭募金	9,355	6,650	5,861
その他	0	0	0
合計	963,398	958,223	969,268

武石地区 合計金額推移(単位：円)

年度	合計金額(円)
平成29年度	963,398
平成30年度	958,223
令和元年度	969,268

共同募金配分金事業 評価・課題
<p>毎年 10 月 1 日から全国一斉に、「じぶんの町を良くするしくみ」をキャッチフレーズとして実施している。</p> <p>令和元年度の共同募金運動は、台風 19 号の対応をしながらの取り組みとなった。目標額には達成したが募金実績額では減少の一途をたどっている状況のなか、上田、真田、武石の 3 地区では若干ではあるが、昨年度の各地区募金実績よりも上回る事ができた。戸別募金の減少が顕著であるため、より共同募金の配分金が何に使われているのかの周知と「見える化」をより進めていく必要がある。また、自治会での一括納入自治会数が増えていることから、自治会役員に対しての周知が必要と考える。</p> <p>今回、戸別募金の減少を補えるよう、法人募金や募金箱設置協力店の新規開拓をはじめ、街頭募金期間を延ばし、社協職員による街頭募金の回数を増やして取り組んだ。</p> <p>また、共同募金改革推進モデル事業の最終 2 年目の取り組みとして、昨年改訂した申請書類(配分応募要項、申請書、請求書、報告書)一式を再度検討や修正を行った。また、配分限度額についても社会福祉施設、社会福祉団体それぞれ見直した。(社会福祉施設 15 万円、社会福祉団体 25 万円)</p> <p>なお、次年度は、新型コロナウイルス感染症の影響もあると思われるため、どのような募金運動を行うのか県共同募金会と相談、連携して取り組みたい。</p> <p>引き続き地域の皆様に、募金活動の趣旨や募金の使用用途の周知、御理解いただけるような方法等を検討していきたい。配分団体においても共同募金の主旨を理解して活動いただけるように周知に努めたい。</p>



事業実績

(1) 上田地区

ア 子育て中の親を対象に、交流の場づくりとリフレッシュ、子育てに関わる学習会を目的とした事業

(ア) 子育て支援事業

- ・ 11月6日(火) 足育講座
 ※ 台風19号災害により中止
- ・ 3月7日(土) ベビーダンス教室&ハンドマッサージ!
 ※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(イ) サロン支援事業

上田市ふれあい福祉センターを地域の資源として活用することや周辺自治会のサロン開催につなげることで、赤い羽根共同募金の配分金を地域の皆様に還元できるように体操教室とそば打ち講座を開催した。

- ・ 輝く男性のためのそば打ち実践講座(全3回開催)
 11月15日(金)
 11月18日(月)
 12月17日(火) 参加者延べ22人
- ・ 楽椅子体操教室 3月9日(月)
 ※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- ・ 背骨コンディショニング教室 3月16日(月)
 ※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止



「そば打ち実践講座の様子」

(2) 丸子地区

- | | | |
|---------------|-------|----------------------|
| ア ママのリフレッシュ講座 | 1回開催 | 参加者7組 |
| イ 親子教室 | 3回開催 | 参加者22組 |
| ウ 料理教室 | ※ | 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 |
| エ ママカフェ | 10回開催 | 参加者45組 |
| オ 託児サポーター養成講座 | 2回開催 | 参加者2人 |

評価・課題

(1) 上田地区

上田地区共同募金会配分審査委員会にて審査委員から児童や住民にも目を向けた事業を行ってほしいと提案があり、始まった事業である。いずれも、赤い羽根共同募金の配分金を活用している。新企画として、男性の地域参加のきっかけづくりを目指し、そば打ち講座を開催した。参加者に好評だったため今後も継続して続けていきたい。課題としては、多くの市民の方が気軽に参加でき、長く続けて行かれるようなプログラム作りが必要となるので、今後の開催の仕方を検討したい。

(2) 丸子地区

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、計画されていた料理教室が中止になった。参加希望の方が多かったので、また企画を考えたい。

ママのリフレッシュ講座は参加者の満足度が高く、また利用したいとの声が多かった。月齢が小さい子ども向けの企画をお願いしたいとの声があったので、今後検討していきたい。

その他(高齢者事業)

共同募金配分金事業



事業実績

(1) 上田地区

ア 紙おむつ配布事業

民生委員・児童委員の協力を得て、在宅介護支援の一環として在宅で寝たきりの方、認知症高齢者、障がい者の方、必要としている方を対象に紙おむつまたは尿取りパッドを贈呈している。

(ア) 実施内容

10月に民生委員・児童委員定例会にて調査票の配布・依頼、11月の民生委員・児童委員定例会にて調査票回収、翌年2月の民生委員・児童委員定例会にて配布、本人宅にお届けいただいている。

(イ) 対象者

在宅で生活している寝たきりの方、認知症高齢者、障がい者の方、また、紙おむつや尿取りパッドを頻繁に利用している方

(ウ) 令和元年度紙おむつ贈呈数

パンツタイプ 630人、テープ止めタイプ 74人、尿取りパッド 195人 合計 899人

(2) 丸子地区

ア みまもり(声かけ)訪問事業

少子高齢化、核家族化社会の中で、一人での暮らしや健康に不安をかかえている高齢者世帯が、住み慣れた地域で孤立することなく安心して暮らすことができるよう、ボランティアによるみまもり声かけ訪問を行っている事業

(ア) 実施内容

登録ボランティアが月2回程度利用者宅を訪問し、玄関先や軒先で日常の話をお聞きした。訪問にはお便りなどを届けている。

(イ) 対象者

65歳以上の方のみの世帯または同居されていても日中一人になる方で介護保険サービスを利用されていない方(登録利用者3人)

(ウ) 協力者 みまもり(声かけ)訪問事業登録ボランティア(登録25人)

イ みまもり(声かけ)訪問実績 (単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
訪問件数	8	8	8	7	5	6	
訪問ボランティア	16	16	15	14	10	12	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問件数	5	7	7	4	4	6	75
訪問ボランティア	9	14	13	8	8	12	147

(3) 武石地区

ア 高齢者弁当宅配事業

民生委員・児童委員の協力を得て75歳以上の一人暮らしの方を対象に季節感のあふれる弁当を配ることで一人暮らしの中に生活の楽しさを味わってもらうことを目的に実施した。

(ア) 実施日 12月18日(水)

(イ) 配食数 91食

(ウ) 料金 無料

評価・課題

(1) 上田地区

上田地区の独自事業である「紙おむつ贈呈事業」は、在宅介護を地域で支えるために、地域のつながりを作り支援するという目的もあり、地域の民生委員・児童委員の御協力をいただき、行っている。上田地区では、歴史ある事業の一つであるが、民生委員・児童委員の皆様からも賛否両論あり「この活動をきっかけに訪問している。」「御本人、御家族に喜ばれているので継続してほしい。」という意見や「訪問して紙おむつなどプライバシーに関わることを確認することはお互い抵抗がある。」「1つ渡すだけで意義があるのか。」「何か紙おむつ以外のもので行えないのか。」といった意見もある。

ここ数年、紙おむつに代わるものを検討しているが、なかなか代替案が見つからないため、引き続き事業内容を検討していきたい。

(2) 丸子地区

丸子地区の独自事業である「みまもり(声かけ)訪問事業」は、地域住民のボランティアによって支えられてきた。登録されている利用者は自宅に引きこもりがちの方で地域との関わりが薄い方達です。「地域コミュニティ」の中で孤立しないよう、関係機関と連携して利用者を把握していきたい。

(3) 武石地区

民生委員・児童委員の訪問やお弁当を楽しみに待っていただいております、大変喜ばれている。新しい団体からの配分申請が増えたこと、共同募金の実績額の減少傾向が見られることから、当該事業への財源の確保が難しくなってくる。75歳以上の独居高齢者を対象としているが、対象年齢の枠を上げていく検討が必要となってきた。

団体事業の育成

共同募金配分金事業



【事業概要】

各種福祉団体事業を推進するため、協力費として活動費を助成し、団体育成に努めている。

事業実績			
(1) 上田地区 活動費助成団体			
団体名	助成金額(円)	団体名	助成金額(円)
上田地域福寿クラブ連合会	250,000	モチーフの会	55,000
上田市身体障害者福祉協会	270,000	うえだ市民ふれあい広場実行委員会	70,000
上田市赤十字奉仕団	80,000	上田地区更生保護女性会	100,000
上田ボランティア連絡協議会	70,000	上田市子ども会育成連絡協議会	70,000
上田市視覚障害者福祉協会	100,000	ビックリ箱の会	50,000
上田市聴覚障害者協会	110,000	チャイルドラインうえだ運営委員会	150,000
上田地区保護司会	100,000	上田市食生活改善推進協議会	50,000
豊殿地区循環バス運営委員会	265,000	上田市学童保育所どんぐり運営委員会	141,000
上小手話サークル	95,000	上小ふれジョブ連絡協議会上田支会	30,000
絵手紙サークルひまわり	38,000	NPO 法人子育て応援団ばれっと	90,000
		合計 団体	2,184,000
(2) 丸子地区 活動費助成団体			
団体名	助成金額(円)	団体名	助成金額(円)
丸子地域高齢者クラブ連合会	300,000	丸子モチーフの会	50,000
上田市丸子身体障害者福祉協会	300,000	丸子地域食生活改善推進協議会	30,000
丸子ボランティア連絡協議会	150,000	E-キャップの会	50,000
傾聴ボランティア・まるこ	80,000	上田市丸子地区赤十字奉仕団	30,000
		リハ・つぼみの会(新)	176,000
		合計 団体	1,166,000
(3) 真田地区 活動費助成団体			
団体名	助成金額(円)	団体名	助成金額(円)
真田地域長寿会	30,000	ミミールの会	15,000
障害のある人達の家族の会	30,000	大福会	20,000
真田町身体障害者福祉協会	30,000	真田地域ボランティア連絡協議会	70,000
おもちゃ図書館くるくるさなだ	30,000	上田市真田地域食生活改善推進協議会	30,000
たまたま箱	20,000	モチーフの会	25,000
上田市真田地区赤十字奉仕団	30,000	ふれあい広場実行委員会	70,000
		合計 団体	400,000

(4) 武石地区 活動費助成団体

団体名	助成金額(円)	団体名	助成金額(円)
武石高齢者クラブ連合会	133,000	武石身体障害者福祉協会	30,000
もみじ会	80,000	武石ボランティア連絡協議会	25,000
		chi-ku 竹庵	20,000
		合計 5 団体	288,000

3 1 地域包括支援センター事業(市受託事業)

【事業概要】

専門職の看護師、社会福祉士、主任介護支援専門員が配置され、地域の高齢者を中心に全ての地区住民が、住み慣れた地域で安心して生活を送っていただくことを目的とし、地域福祉の拠点となるよう事業を実施している。

- (1) 高齢者の実態把握及び介護予防支援計画、介護予防ケアマネジメント支援計画の作成
- (2) 高齢者や家族、地域住民等に対する総合的相談及び支援
- (3) 高齢者虐待防止及び早期発見、消費者被害防止等の権利擁護事業
- (4) 支援困難ケースへの対応など介護支援専門員への支援
- (5) 高齢者の社会参加や自立支援を促進するための地域活動への支援・啓発
- (6) 生活支援体制整備事業におけるコーディネート業務

神川地域包括支援センター事業

【令和元年度事業費】 25,879 千円

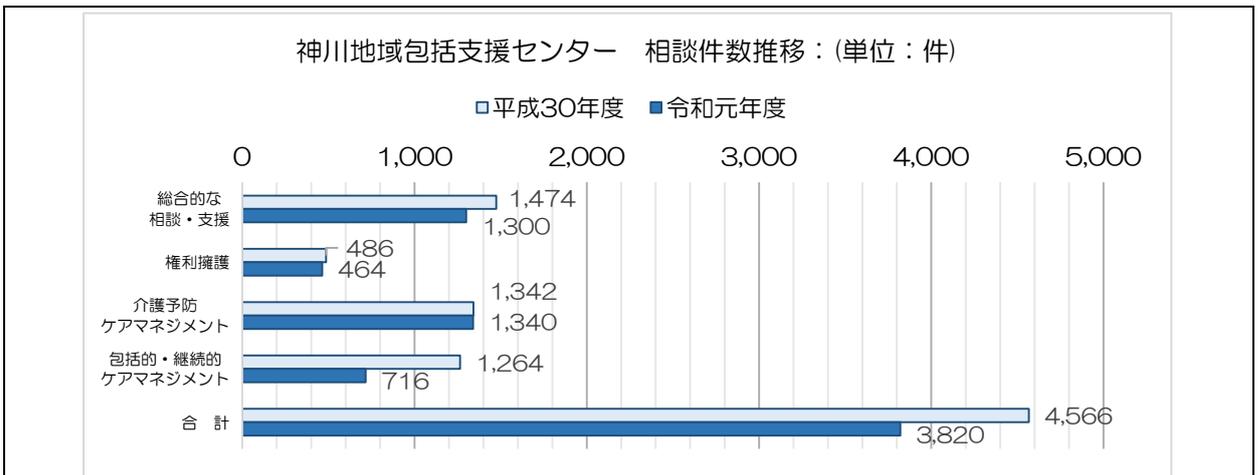
事業実績
(1) 相談内容・人数(電話・来所・訪問) ※ 別表参照
(2) 事業内容※別表参照
(3) その他 ア 地域リハビリテーション活動支援事業の推進を図るとともに、活動拠点の定着を図りながら、住民の皆さんの生きがい活動の増進と健康寿命の延伸に役立てていただくことができた。(14 地域で実施) イ 介護予防地域支援事業として「軽い体操と頭のトレーニングについて」「熱中症予防について」「介護保険について」等、地域で講座を開催した。 ウ 認知症の正しい理解をしていただき、地域での見守り活動へつなげてもらうために、地元中学校や地域住民を対象に認知症サポーター養成講座を開催した。(3 回開催 121 人参加)

- エ 地域の介護支援専門員（ケアマネージャー）が抱える困難な事例についての支援・アドバイスをはじめ、研修会の実施やネットワーク作り等、要支援・要介護高齢者等を支えるケアマネージャーの支援に努めた。
- オ 担当区域の民生委員・児童委員会定例会に出席し、地域包括支援センターの活動内容の紹介と支援のための関係づくりに努めた。
- カ 地域ケア会議（個別・推進）を開催し、地域包括ケアシステム構築の推進に努めた。（8回開催）
- キ 福祉教育の一環として、福祉推進委員連絡協議会や自治会役員会等、地域に出向き、地域福祉推進の取り組みをはじめ地域包括ケアシステム並びに地域包括支援センターの役割について説明し、協力を求めた。
- ク 実態把握調査を実施し、その後のニーズに対して連携を図りながら円滑に支援が行えるよう取り組んだ。
- ケ 各種研修会に参加し自己研鑽に努めた。
- コ 勤務時間外は携帯電話にて24時間緊急対応体制をとり対応を行った。
- サ 「神川包括だより」を発行し、地域包括ケアシステムにおける地域包括支援センターの役割や健康寿命の延伸のための取り組み、認知症高齢者の見守り支援、地域で行われている福祉活動の紹介、介護保険制度や消費者被害防止等の情報提供に努めた。（年4回自治会回覧）
- シ 新規事業である生活支援体制整備事業においては、生活支援コーディネーターを配置し、第2層協議体の設置・連携を図りながら住民主体の介護予防・生活支援サービス等の実施に向けた啓発や調査等に取り組んだ。（住民説明会32回、第2層協議体10回）
- ス 地域密着型施設の運営推進会議に出席し、利用者が安心して利用できるようサービス向上への取り組みに努めた。（9施設）
- セ 看護学生並びに社会福祉士等の医療・福祉の国家資格取得を目指す実習生の受け入れを行い、これからの地域福祉・医療の支え手となる人材育成に協力した。

別表

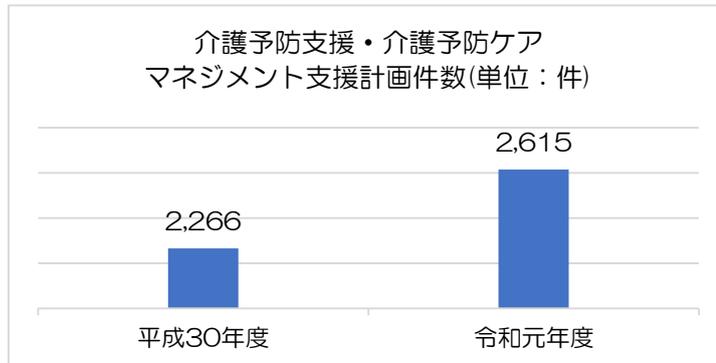
(1) 相談件数の推移（単位：件）

	総合的な 相談・支援	権利擁護	介護予防 ケアマネジメント	包括的・継続的 ケアマネジメント	合 計
平成30年度	1,474	486	1,342	1,264	4,566
令和元年度	1,300	464	1,340	716	3,820



(2) 事業内容

	回数	内容
夜間緊急相談実績回数	138	介護保険について、介護相談等
介護予防活動講演、実技等	111	地域リハビリテーション、健康広場、いきいきサロン、ふれあい事業、茶話会等
会議・研修等	179	民生委員・児童委員会、地域包括担当者会議、県・市主催の研修会、各施設運営推進会議等
医療・関係機関との連携	437	認知症高齢者や精神疾患を抱える方、個別事例に対する入退院支援、医療機関から在宅へ向けての支援、高齢者虐待等における行政・警察・成年後見・関係機関等との連携、その他連携
介護支援員専門員に対する支援	19	支援困難ケースへの対応・支援、研修会の開催
高齢者実態把握	73	新規相談者並びに民生委員・児童委員からの台帳による訪問
介護予防プラン作成件数	7	生活支援型ヘルパー、配食サービス、訪問指導
介護予防支援・介護予防ケアマネジメント支援計画件数	2,615	事業対象者並びに要支援1・要支援2の認定を受けた高齢者に対する介護予防支援計画の作成・サービス調整等



評価・課題

(1) 地域包括支援センターの核となる総合相談支援業務においては、地域からの様々な相談に対して適切に対応できるよう、3職種並びに関係者との連携を図りながら迅速に取り組んだ。特に、介護ニーズの増加に伴い、要支援・要介護状態の新規相談ケースにおいても早期訪問・早期対応に努め、課題解決へつなげることができた。

また、総合相談をはじめ、県・市・警察、関係者等から寄せられる高齢者虐待等をはじめとした権利侵害が疑われる相談においても、上田市高齢者介護課を中心に関係機関との連携を図りながら迅速な対応に努めた。

(2) 地域支援として重要な取り組みである地域ケア会議（個別・推進）を積極的に開催した。特にここ数年来実施してきた精神疾患を抱えた当事者や家族への支援のための推進会議においては、接し方や相談機関について多くの不安や困りごとが出された。地域には身近なところに支援者に成り得る関係者や関係機関があり、そうした関係者と結びつくことで問題解決の糸口が見えてくることを、大勢の参加者に認識していただけたことは大きな意義があった。ただし、地域の中では制度やサービス、地域の見守りだけでは解決されない支援困難ケースは数多くあり、今後の実践における大きな課題である。

丸子地域包括支援センター事業(市受託事業)

【令和元年度事業費】 23,732 千円

事業実績

(1) 相談内容・人数(電話・来所・訪問)

※ 別表参照

(2) 事業内容※別表参照

(3) その他

ア 新規事業である生活支援体制整備事業においては、生活支援コーディネーターを配置し、第2層協議体の設置・連携を図りながら住民主体の介護予防・生活支援サービス等の実施に向けた啓発や調査等に取り組んだ。

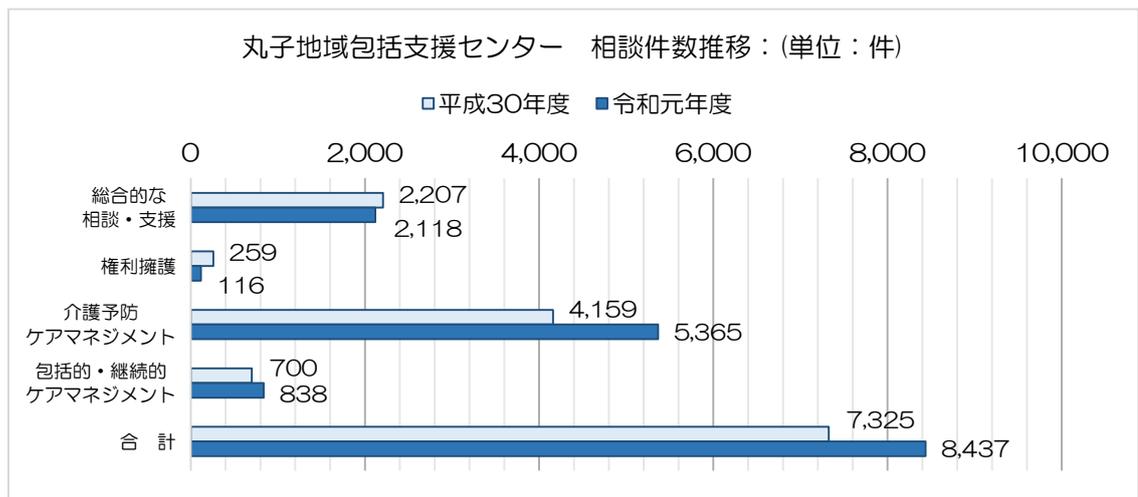
イ 看護学生の実習受け入れを行い、人材育成に協力した。

ウ 昨年に比べ来所、電話等での新規相談が多く、必要に応じサービスや関係機関につなげた。特に緊急性のあるケースも多く依頼あり、癌末期などターミナルケア等、早期対応に努めた。

別表

(1) 相談件数の推移 (単位：件)

	総合的な 相談・支援	権利擁護	介護予防 ケアマネジメント	包括的・継続的 ケアマネジメント	合計
平成30年度	2,207	259	4,159	700	7,325
令和元年度	2,118	116	5,365	838	8,437



(2) 事業内容

	回数	内容
夜間緊急相談実績回数	267	介護相談、虐待相談、支援困難ケース対応、配食業者からの連絡対応等、勤務時間外は24時間携帯電話による緊急体制をとり対応したが、時間外の連絡が増えている。
介護予防活動講演、実技等	42	<ul style="list-style-type: none"> ・地域サロン・地域リハビリテーションに出向き、介護予防や居場所作り等の啓発活動を行い地域の課題把握に努めた。 ・認知症の正しい理解を深めてもらうため、認知症サポーター養成講座3回実施した。(中学生・高齢者対象)
会議・研修等	143	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括担当者会議、介護保険運営協議会、地域密着型サービス運営推進会議、県・市主催の研修等に参加し、関係機関と状況共有した。 ・民生委員・児童委員協議会にて包括の活動内容を紹介し、関係作りに努めた。
医療・関係機関との連携	612	退院調整会議、ケースカンファレンス、行政機関や関係機関との訪問や会議に参加し、連携をとり対応した。
介護支援員専門員に対する支援	25	居宅・施設からの相談や支援困難ケースが増えており、関係機関と連携を図り対応した。
高齢者実態把握	101	民生・児童委員からの独居台帳をもとにおこなうが、相談業務が多く思うように訪問ができなかった。
介護予防プラン作成件数	21	生活支援型ヘルパー、配食サービス、生きがい対応型デイサービスのプラン作成

介護予防支援・介護予防ケアマネジメント支援計画件数	3,114	事業対象者・要支援1・要支援2						
<div style="text-align: center;"> <p>介護予防支援・介護予防ケア マネジメント支援計画件数(単位：件)</p> <table border="1" style="margin: auto;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成30年度</td> <td>2,787</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>3,114</td> </tr> </tbody> </table> </div>			年度	件数	平成30年度	2,787	令和元年度	3,114
年度	件数							
平成30年度	2,787							
令和元年度	3,114							
評価・課題								
<p>(1) 地域が広範囲に渡り、高齢者人口も多い丸子地域で、地域からの様々な日々の相談やケアマネジャー、市からの困難なケースへの対応依頼も増えており、関係機関との連携をはかり迅速・丁寧な対応に努めた。</p> <p>(2) 新規相談やターミナルケアなどの急な依頼も多く相談業務に追われて、高齢者世帯・おひとり暮らし台帳をもとにした訪問や実態把握は十分に実施できなかった。</p> <p>(3) 丸子・武石地域包括支援センター合同の地域ケア会議を開催し、地域課題の把握や住民同士の支え合いで何ができるかを考える機会となった。また、ケア推進会議では、ケース相談や居宅介護事業所も参加し、専門職からの具体的なアドバイスを受ける機会を持って、課題解決へつなげることができた。精神疾患を抱えた方への家族の対応拒否も増えており、家族背景に合わせた支援方法も課題となっている。</p>								

真田地域包括支援センター事業(市受託事業)

【令和元年度事業費】 19,782 千円

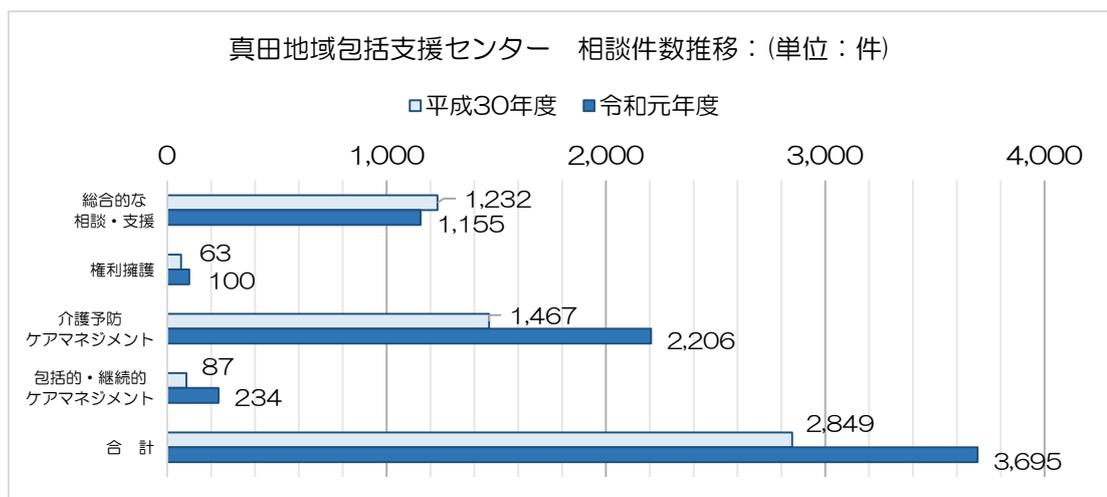
事業実績
<p>(1) 相談内容・人数（電話・来所・訪問） ※別表参照</p> <p>(2) 事業内容 ※別表参照</p> <p>(3) その他</p> <p>ア 地域リハビリテーション事業の推進に努めた。また全 10 カ 所の地域リハビリに参加しアンケートを実施し参加者の意見や集まりの場に対するニーズの把握に努めた。</p> <p>イ 認知症の正しい理解をしてもらうため、認知症サポーター養成講座を開催した。小学生、中学生、高齢者学園等、幅広い世代を対象に講座を開催することができた。(3 回開催 92 人参加)</p>

- ウ 地域ケア会議（個別・推進）を開催し、地域包括ケアシステム構築の推進に努めた。
（9回開催）
- エ 真田地域包括支援センター独自事業として、運動教室～笑顔で元気～を月1回、男性の料理教室を年1回開催し介護予防の推進と自立支援に努めた。
（運動教室：11回開催 79人参加、料理教室：1回開催 18人参加）
- オ いきいきサロン等に参加し、体操・レクリエーションの実施や介護予防・特殊詐欺防止に向けた講座を開催した。
- カ 民生委員・児童委員会に出席し、包括支援センターの活動内容の紹介と支援のための関係づくりに努めた。
- キ 真田地域における地域密着型施設の運営推進会議に出席した。
- ク 看護学生の実習受け入れを行い、人材育成に協力した。
- ケ 独居・高齢者世帯・認知症高齢者が増えている中、地域からの相談件数が増加している。関係機関とも連携を図り迅速な対応に心掛けた。
- コ 真田地域に全戸配布されている「真田生き生きふるさと通信」の1ページに年3回「包括支援センター便り」を掲載し、センターの活動や介護予防に関する広報活動に努めた。
- サ 各種研修会に参加し自己研鑽に努めた。
- シ 新規事業である生活支援体制整備事業においては、生活支援コーディネーターを配置し、第2層協議体の設置・連携を図りながら住民主体の介護予防・生活支援サービス等の実施に向けた啓発や調査等に取り組んだ。
- ス 勤務時間外は携帯電話にて24時間緊急対応体制をとり対応を行った。

別表

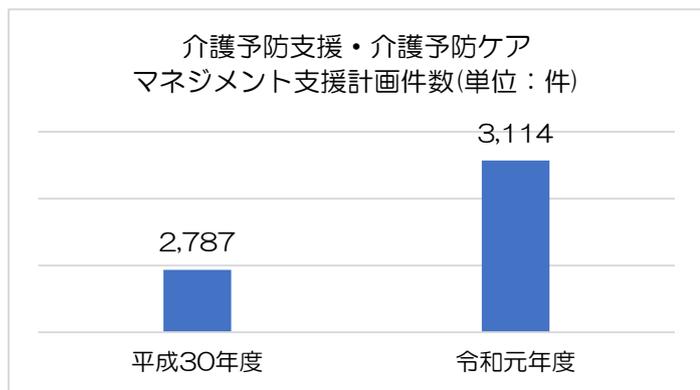
(1) 相談件数の推移（単位：件）

	総合的な 相談・支援	権利擁護	介護予防 ケアマネジメント	包括的・継続的 ケアマネジメント	合 計
平成30年度	1,232	63	1,467	87	2,849
令和元年度	1,155	100	2,206	234	3,695



(2) 事業内容

	回数	内容
夜間緊急相談実績回数	27	介護保険について、介護相談等
介護予防活動講演、実技等	45	いきいきサロン、ふれあい広場、地域リハビリテーション、運動教室（笑顔で元気）、認知症サポーター養成講座等
会議・研修等	129	民生委員・児童委員会、地域包括担当者会議、県・市主催の研修会、各施設運営推進会議等
医療・関係機関との連携	221	個別事例に対するサービス担当者会議開催支援、医療機関から在宅へ向けての支援（認知症独居高齢者の退院の支援について等）高齢者虐待等における行政・警察・成年後見・関係機関等との連携、その他連携
介護支援員専門員に対する支援	9	支援困難ケースへの対応・支援、研修会の開催
高齢者実態把握	76	新規相談者並びに民生委員・児童委員からの台帳により訪問
介護予防プラン作成件数	23	配食サービス、訪問指導
介護予防支援・介護予防ケアマネジメント支援計画件数	2,054	事業対象者・要支援1・要支援2



評価・課題

- (1) 高齢者に対する地域の総合相談窓口として年々相談が増えており、関係機関との連携を図りながら迅速な対応に心掛けた。相談内容では、介護予防ケアマネジメント件数の増加に伴い相談件数も増えている他、認知症や虐待等、権利擁護に関する相談や地域の介護支援専門員からの支援困難ケースに関する相談が増えており、3職種並びに行政や医療機関等、各関係機関との連携を今後も図りながら対応していきたい。
- (2) 新規相談が増えており、独居・高齢者台帳に基づいた実態把握訪問が十分に行えなかった。支援を必要としている人の早期発見、地域住民のニーズ把握のため今後努力したい。
- (3) 真田包括支援センター独自事業として年1回開催している「男性の料理教室」は、昨年に比べ参加者が増加し、また実施後のアンケートからも継続してほしいという意見が多か

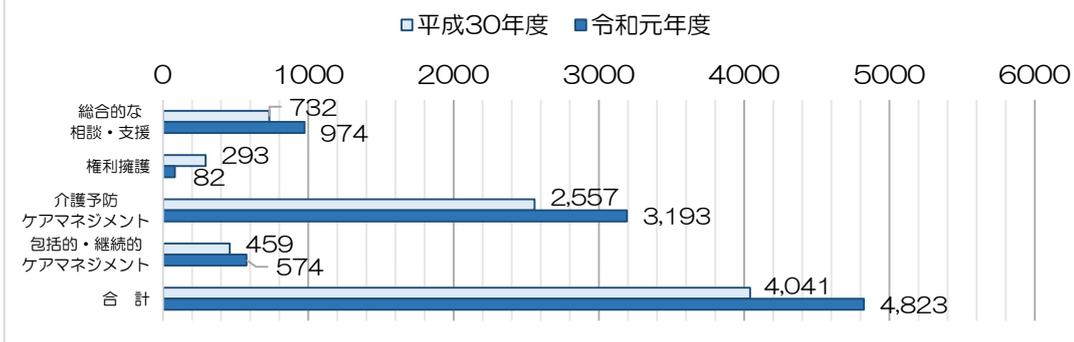
った。独居世帯の増加や高齢者世帯における男性の介護者が増えている現状から今後も地域高齢者の介護予防・自立支援に向けた支援を提供していきたい。

武石地域包括支援センター事業(市受託事業)

【令和元年度事業費】 18,389 千円

事業実績					
(1) 相談内容・人数（電話・来所・訪問）					
※ 別表参照					
(2) 事業内容					
※ 別表参照					
(3) その他					
ア 武石地域7ヶ所、丸子地域9ヶ所の地域リハビリテーションに参加、協力した。					
イ 総合事業によるミニデイの介護予防ケアマネジメントと要支援の人の介護予防支援を行った。					
ウ 市武石高齢者支援係と社協武石地区センターと協働して、サロンを行ない介護予防の必要性についての啓発と健康運動指導士の指導による体操を毎月行った。(武石地域)					
エ 地域ケア会議を6回開催した。(内個別地域ケア会議4回)					
オ 各種研修会に積極的に参加し自己研鑽に努めた。					
カ 社会福祉士実習生と看護師実習生の受け入れを行い人材育成に協力した。					
キ 民生委員・児童委員会に参加し、地域包括支援センターの活動内容の紹介と事例報告などを行い、連携への協力を求めた。					
ク 勤務時間外は携帯電話にて24時間緊急対応体制をとり対応した。					
ケ 地域の介護支援専門員の資質向上のための研修会を主催した。					
コ 地域密着型サービス事業所の運営推進会議に出席した。					
サ 「地域包括支援センターだより」を年3回発行し、地域包括支援センターの活動や介護保険、介護予防に関する広報活動に務めた。					
シ 生活支援体制整備事業の住民説明会を15回、第2層協議体を9回開催した。					
別表					
(1) 相談件数の推移（単位：件）					
	総合的な 相談・支援	権利擁護	介護予防 ケアマネジメント	包括的・継続的 ケアマネジメント	合計
平成30年度	732	293	2,557	459	4,041
令和元年度	974	82	3,193	574	4,823

武石地域包括支援センター
相談件数推移：(単位：件)



(2) 事業内容

	回数	内容
夜間緊急相談実績回数	38	介護保険について、介護相談等
介護予防活動講演、実技等	72	地域リハビリテーション、地域ふれあい事業、ふれあい広場、楽しい会～!!、認知症サポーター養成講座開催等
会議、研修等	147	民生委員・児童委員協議会、地域包括担当者会議、地域ケア会議、県・市主催の研修、各施設運営推進会議等
医療・関係機関との連携	124	医療機関・市高齢者支援係との連携、個別事例に対するサービス担当者会議開催支援
介護支援専門員に対する支援	21	困難支援ケースへの対応・支援、資質向上のための研修会の開催等
高齢者実態把握	67	民生委員・児童委員からの台帳、当事者・高齢者支援係からの依頼により訪問
介護予防プラン作成件数	14	生活支援型ヘルパー、配食サービス、生きがい対応型デイサービスのプラン作成、介護予防事業
介護予防支援・介護予防ケアマネジメント支援計画件数	1,869	事業対象者・要支援1・要支援2

介護予防支援・介護予防ケアマネジメント支援計画件数 (単位：件)



評価・課題

- (1) 地域の高齢者の総合相談窓口として、相談に対しては迅速に対応した。必要があれば、地域の社会福祉資源とのコーディネートなど、関係機関と連携、協力しながら適切なサービスにつなげるよう心掛けた。
- (2) 買い物バスの企画を行ったが、思うように参加者が集まらなかったため、企画を年度の途中で中止した。買い物難民はいるが、家族などの支援を得られており、地域リハビリテーションと同日開催であったため、買い物よりも自分の体のことが大切で介護予防体操に参加者が集中してしまい、結果として買い物バスの参加者が少なくなり継続が困難となった。
- (3) 生活支援体制整備事業や生活支援コーディネーターについて、地域リハビリテーションや地域ふれあいサロン・介護予防体操等・包括だより等で周知を図ったが、住民主体で地域支え合い活動をしていただく関係者及び団体等の発掘が課題である。

3 2 通所介護事業

【事業概要】

身体の障がい、虚弱等のため介護が必要な方が日中通所して、日常動作訓練・給食・入浴・レクリエーション等のサービスを受けることにより、心身機能の維持向上を図るとともに、社会的孤立感の解消・介護者の負担軽減を図ることを目的に実施している。

また、日常生活動作、特に立ち上がりや座る動作、階段昇降に使われる下肢筋力を意識して運動するように目的を明確化している。

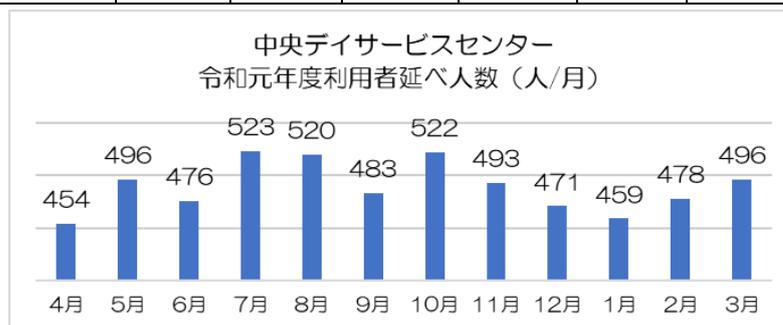
中央デイサービスセンター事業

【令和元年度事業費】 45,848 千円

事業実績

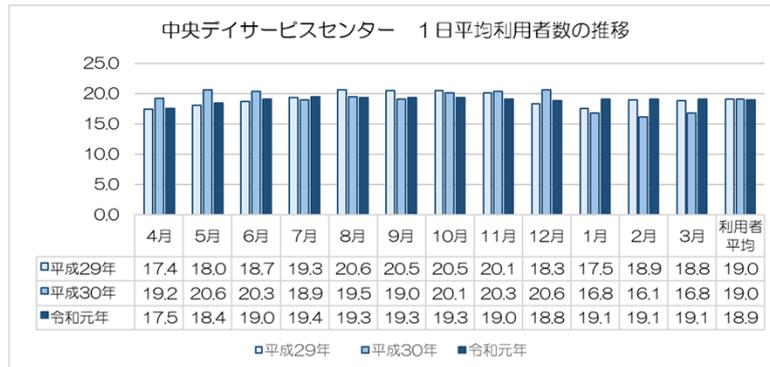
(1) 令和元年度利用者延べ人数(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者(人)	454	496	476	523	520	483	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者(人)	522	493	471	459	478	496	5,871



(2) 1日平均利用者数(人) ※1日の利用者定員 25人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
平成29年度	17.4	18.0	18.7	19.3	20.6	20.5	
平成30年度	19.2	20.6	20.3	18.9	19.5	19.0	
令和元年度	17.5	18.4	19.0	19.4	19.3	19.3	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	利用者平均
平成29年度	20.5	20.1	18.3	17.5	18.9	18.8	19.0
平成30年度	20.1	20.3	20.6	16.8	16.1	16.8	19.0
令和元年度	19.3	19.0	18.8	19.1	19.1	19.1	18.9



(3) 関わったボランティアの人数(人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
21	27	18	20	21	20	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
17	18	30	22	19	0	233

(4) 主な行事

ア すいせん見学	4月11日(木)～12日(金)	40人
イ お花見	4月13日(金)・15日(月)	34人
ウ 鯉のぼり見学	4月20日(土)	18人
エ あやめ見学	5月16日(木)	17人
オ 藤見学	5月18日(土)	19人
カ 坂城バラ園見学	6月4日(火)～7日(金)	64人
キ 買い物ツアー	6月11日(火)～20日(木)	55人
ク あじさい見学	7月8日(月)	19人
ケ 蓮見学	7月24日(水)	18人
コ 七夕祭り	8月7日(水)	20人
サ かき氷作り	8月8日(木)	21人
シ 夏祭り	9月9日(月)～10日(火)	40人
ス 利用者百歳祝い	9月3日(火)	25人
セ 美術展見学	9月4日(水)	15人
ソ 敬老会	9月16日(月)	17人



「利用者百歳祝いの様子」

タ	外食ツアー	9月16日(月)～30日(月)	34人
チ	高齢者文化祭見学	10月19日(土)	17人
ツ	紅葉見学	11月2日(土)～15日(金)	83人
テ	お楽しみ会	12月16日(月)～18日(水)	人
ト	園児と交流	12月13日(金)	18人
ナ	まゆ玉作り	1月13日(月)	19人
ニ	節分豆まき	2月3日(月)	21人
ヌ	ひな祭り	3月3日(火)	20人
ネ	お誕生日会	随時	

評価・課題

利用者の心身機能の維持向上を目的に、個別機能訓練を取り入れ、サービスの充実に努めた。また、利用者が安心して利用できるよう業務の改善をはじめ、体操やレクリエーションも新たな企画を取り入れるとともに信頼される関係づくりに取り組んだ。

今後、職員の資質向上を目的に研修会等に積極的に参加できるよう体制の強化に努めたい。

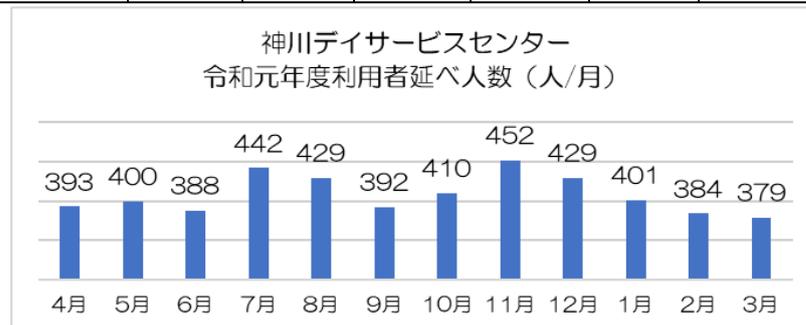
神川デイサービスセンター事業

【令和元年度事業費】 41,683 千円

事業実績

(1) 令和元年度利用者延べ人数(単位：人)

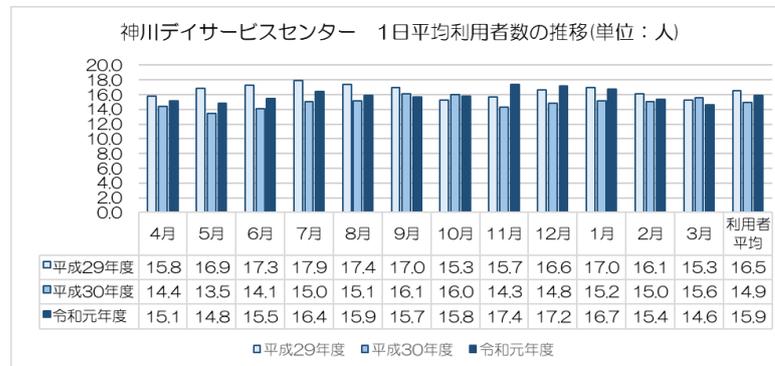
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者(人)	393	400	388	442	429	392	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者(人)	410	452	429	401	384	379	4,899



(2) 1日平均利用者数(人) ※1日の利用者定員25人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
平成29年度	15.8	16.9	17.3	17.9	17.4	17.0
平成30年度	14.4	13.5	14.1	15.0	15.1	16.1
令和元年度	15.1	14.8	15.5	16.4	15.9	15.7

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	利用者平均
平成29年度	15.3	15.7	16.6	17.0	16.1	15.3	16.5
平成30年度	16.0	14.3	14.8	15.2	15.0	15.6	14.9
令和元年度	15.8	17.4	17.2	16.7	15.4	14.6	15.9



(3) 関わったボランティアの人数(人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
3	3	2	7	2	12	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
3	3	35	10	0	0	80

(4) 主な行事

ア	神川地区桜まつり	4月12日(土)	1回
イ	お花見鯉のぼり	4月17日(金)～5月21日(月)	4回
ウ	国分寺藤見学	5月11日(月)～15日(金)	4回
エ	七夕まつり	8月4日(水)～6日(金)	3回
オ	運動会	10月16日(水)～19日(金)	3回
カ	利用者忘年会	12月14日(月)～14日(木)	4回
キ	出前ラーメン	21日(木)、27日(木)	3回
ク	節分	2月2日(土)	1回
ケ	外出(ファッションモールはなおか及びやおふくへ買い物)		9回
コ	第一中学校との交流会		年2回
サ	誕生日会		随時
シ	ボランティア		
	(ア) ギターフォーラム		年5回
	(イ) 花柳社中		年2回
	(ウ) 仲良しグループ		年3回
	(エ) 川西フォークダンスクラブ		年1回
	(オ) 侍学園		年1回
	(カ) お話しボランティア		週1回
ス	その他		
	(ア) サマーチャレンジボランティア受け入れ		1人

(イ) 介護体験学生受入		4人
(ウ) 職場体験受入		2人
(エ) 利用者忘年会	12月11日(月)～14日(木)	3回
(オ) 出前ラーメン	2月8日(金)、12日(火)、21日(木)	3回
(カ) 節分	2月2日(土)	1回
(キ) 外出(ファッションモールはなおか及びやおふくへ買い物)		9回
(ク) 第一中学校との交流会		年2回
(ケ) 誕生日会		随時
評価・課題		
<p>常に笑顔を意識して利用者に接することができるよう、朝礼で目標を復唱し、利用者が楽しい雰囲気でも過ごせるよう常に心がけ、心がこもったサービスが実施できた。</p> <p>事故防止に心がけ安全に送迎できるよう、朝礼で目標を復唱し、交通安全運動の呼びかけ、職員会議で危険箇所の情報共有を行ったり、天候による危険やお盆などに増える県外車による危険や工事情報・事故情報などを共有するなど、具体的に安全運転を呼びかけ事故なくできたが、送迎の出発時間ギリギリになり慌てて出かけることもあったため、今後も事故なく事業運営ができるよう、ゆとりを持った運転ができるように取り組んでいく。</p> <p>また、研修にも積極的に参加し介護技術に向上に努めていきたい。</p>		

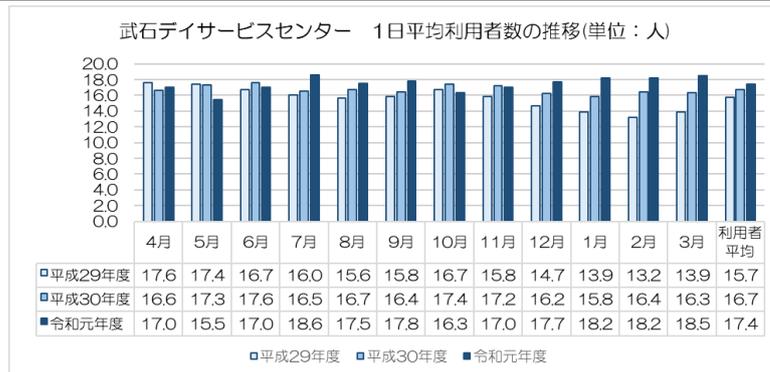
武石デイサービスセンター事業

【令和元年度事業費】 53,756千円

事業実績																																	
開所日数(年間)	359日																																
(1) 令和元年度利用者延べ人数(単位:人)																																	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月																											
利用者(人)	511	480	511	559	543	533																											
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計																										
利用者(人)	457	510	530	509	528	572	6,243																										
<p>武石デイサービスセンター 令和元年度利用者延べ人数(人/月)</p> <table border="1"> <caption>武石デイサービスセンター 令和元年度利用者延べ人数(人/月)</caption> <thead> <tr> <th>月</th> <th>利用者(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4月</td><td>511</td></tr> <tr><td>5月</td><td>480</td></tr> <tr><td>6月</td><td>511</td></tr> <tr><td>7月</td><td>559</td></tr> <tr><td>8月</td><td>543</td></tr> <tr><td>9月</td><td>533</td></tr> <tr><td>10月</td><td>457</td></tr> <tr><td>11月</td><td>510</td></tr> <tr><td>12月</td><td>530</td></tr> <tr><td>1月</td><td>509</td></tr> <tr><td>2月</td><td>528</td></tr> <tr><td>3月</td><td>572</td></tr> </tbody> </table>								月	利用者(人)	4月	511	5月	480	6月	511	7月	559	8月	543	9月	533	10月	457	11月	510	12月	530	1月	509	2月	528	3月	572
月	利用者(人)																																
4月	511																																
5月	480																																
6月	511																																
7月	559																																
8月	543																																
9月	533																																
10月	457																																
11月	510																																
12月	530																																
1月	509																																
2月	528																																
3月	572																																

(2) 1日平均利用者数(人) ※1日の利用者定員 35人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
平成29年度	17.6	17.4	16.7	16.0	15.6	15.8	
平成30年度	16.6	17.3	17.6	16.5	16.7	16.4	
令和元年度	17.0	15.5	17.0	18.0	17.5	17.8	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	利用者平均
平成29年度	16.7	15.8	14.7	13.9	13.2	13.9	15.7
平成30年度	17.4	17.2	16.2	15.8	16.4	16.3	16.7
令和元年度	16.3	17.0	17.7	18.2	18.2	18.5	17.4



(3) 関わったボランティアの人数(人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
0	0	0	0	0	11	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0	0	37	0	0	0	48

(4) 主な行事

ア 施設内

- (ア) おやつ作り 5月7日(月)～5月31日(金)
- (イ) 手づくりな 5月7日(火)～6月28日(木)
- (ウ) やすらぎ祭り 7月31日(火)～8月9日(木)
- (エ) 文化祭準備 8月18日(火)～10月31日(水)
- (オ) おはぎづくり・春・秋 彼岸
- (カ) 園児との交流会 6月、7月、10月、11月、12月 計5回
- (キ) ミニ運動会 10月4日(金)～10月15日(木)
- (ク) 正月準備 11月12日(月)～12月23日(火)
- (ケ) 忘年会 12月6日(水)～12月22日(日)
- (コ) 節分、豆まき 2月3日(金)
- (サ) 寿司バイキング 2月22日(月)、3月10日(水)
- (シ) ひなまつり 3月3日(日)
- (ス) ぼたもち作り 3月5日(金)～28日(月)

イ 屋外行事

(ア) お花見	4月 計8回(水仙・花桃)	
ウ 誕生会	毎月1回 (該当者 写真贈呈)	
エ ボランティア行事		
(ア) フラダンス		年1回
(イ) なかよしクラブ		年1回
(ウ) 手話ダンス		年1回
(エ) バルーンアート		年1回
(オ) 個人ボランティア演奏		年2回
(カ) 日本舞踊		年1回
(キ) chi-ku 竹庵 (ダンス、歌、話し相手、手作りプレゼント)		年2回
(ク) 個人 お茶出し・話し相手 (学生 含む)		随時
評価・課題		
<p>在宅で生活されている要介護・要支援の高齢者に利用していただき入浴、食事の提供、リハビリ体操、レクレーションを通じて、心身の活性化を図ると共に、同世代の交流もできるサービスの提供を行い、職員も笑顔で明るく対応することができた。利用者の延べ数は、6,243人で、一日平均17.4人であった。</p> <p>居宅介護支援専門員や包括関係者との情報共有および月度報告内容の充実等により、昨年度より約250人利用者増することができた。</p> <p>課題としては、高齢者の実態等、武石地域の特性を鑑み、利用者にとって利用しやすく質の高い総合的な支援を受けられる体制整備について早期に関係機関と調整していきたい。</p>		

3 3 居宅介護支援事業

【事業概要】

可能な限り住み慣れた居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、心身の状況やおかれている環境等に応じた支援をする。地域との連携を図りながら、利用者に適した社会資源の活用や社会参加を勧め、質の高いサービスの提供に努めている。

介護相談センター事業

【令和元年度事業費】 30,884千円

事業実績						
(1) 利用者件数(単位：件)						
4月	5月	6月	7月	8月	9月	
173	173	172	169	165	155	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
156	156	154	153	152	151	1,929

(2) 認定調査状況(単位：件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
3	3	6	1	3	7	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
4	3	3	4	3	1	41

(3) ケアプラン作成状況(単位：件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
159	161	162	158	157	145	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
149	144	148	143	143	146	1,815

(4) 介護予防支援受託状況(単位：件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
/	/	/	/	/	/	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
/	0	1	1	1	1	4

(5) 住宅改修費理由書作成にかかる事務手続き状況(単位：件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
0	0	4	2	1	1	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1	0	1	0	0	0	10

(6) 推移

	平成29年	平成30年	令和元年
利用者件数(件)	2,209	2,006	1,929
認定調査状況(件)	32	52	41
ケアプラン作成状況(件)	2,007	1,826	1,825
介護予防支援状況(件)	—	—	4



評価・課題

令和元年8月までは順調に利用者数を正規職員一人あたり35人確保できていた。しかし、9月に受け持ちの利用者が多数入所していた住宅型有料老人ホームが地域密着型特別養護老人ホームに移行したことに伴い、同事業所の介護支援専門員へ移管したことで、利用者13人が減少した。

新規利用の依頼は月平均にして2件あるものの、冬季・夏季に老健施設を利用する方や、亡くなる方が多く、介護支援専門員の担当者数(35人)に対して100%の利用者確保には至らなかった。

そのような中、令和元年10月から地域包括支援センターでは、介護予防支援業務を委託することができるようになり、介護相談センターにおいて4件受託した。

利用者の内訳は、要介護1、2の方の利用が全体の70%を占め、介護支援費が高い要介護3、4、5は30%になっており、収入額に影響している。

今後、各事業所、利用者から信頼され、どのようなケースでも真摯な対応を心がけていく。

神川介護相談センター事業

【令和元年度事業費】 21,629 千円

事業実績						
(1) 利用者件数(単位：件)						
4月	5月	6月	7月	8月	9月	
113	112	109	114	115	112	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
109	110	109	105	104	101	1,313
(2) 認定調査状況(単位：件)						
4月	5月	6月	7月	8月	9月	
2	1	2	1	1	1	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1	2	2	4	2	1	20
(3) ケアプラン作成状況(単位：件)						
4月	5月	6月	7月	8月	9月	
106	101	99	105	102	104	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
104	102	100	96	96	94	1,209
(4) 介護予防支援受託状況(単位：件)						
4月	5月	6月	7月	8月	9月	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	0	2	2	2	2	8
(5) 住宅改修費理由書作成にかかる事務手続き状況(単位：件)						
4月	5月	6月	7月	8月	9月	
1	1	1	2	0	0	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0	0	0	0	1	0	6

(6) 推移

	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者件数 (件)	1,585	1,455	1,313
認定調査状況 (件)	20	18	20
ケアプラン作成状況 (件)	1,461	1,357	1,517
介護予防支援状況 (件)	—	—	8



評価・課題

入退院、入退所時において、家族等の都合による急なケースも含み、病院や介護老人保健施設との連携を図ることができた。

また、災害時に利用者様へ早急に連絡を取り、個々の状況を確認し、対応することができた。しかし、被災状況にそれぞれの地域の差があり、ケアマネとして情報を得ることが難しい部分もあった。

要介護度 1、2 の方の件数が 70% 近くを占め、軽度利用の方が増えている。正規職員の担当件数が 35 件になるように目指す。

災害時に備え、普段から情報収集先や対応基準の確認、安否確認や緊急時対応の見直しを行う必要がある。

丸子介護相談センター事業

【令和元年度事業費】 15,905 千円

事業実績

(1) 利用者件数 (単位: 件)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
105	106	106	102	94	99	
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
98	95	95	94	95	95	1,184

(2) 認定調査状況 (単位: 件)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
0	2	2	0	1	1	
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
1	1	1	1	1	0	11

(3) ケアプラン作成状況 (単位: 件)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
103	107	105	98	94	95	
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
96	96	93	95	96	91	1,169

(4) 介護予防支援受託状況(単位：件)

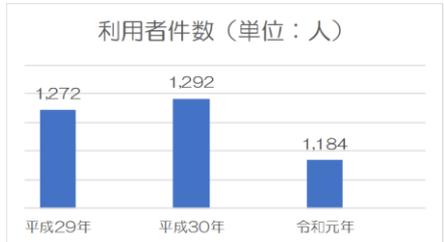
4月	5月	6月	7月	8月	9月	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	1	2	2	2	2	9

(5) 住宅改修費理由書作成にかかる事務手続き状況(単位：件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
0	1	0	1	1	0	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1	2	0	1	1	0	8

(6) 推移

	平成29年	平成30年	令和元年
利用者件数(件)	1,272	1,292	1,184
認定調査状況(件)	35	13	11
ケアプラン作成状況(件)	1,232	1,252	1,169
介護予防支援状況(件)	—	—	8



評価・課題

今年度は、毎月2件の新規利用者を確保できたが、ターミナルの方が6件ほどあった。
 施設への入所や、高齢による死亡などで、介護支援専門員一人当たりの担当者数が予定よりも減少した。比較的ほかの地域よりも要介護3、4、5の方は多いものの、介護度が高い方ほど体調を崩しやすく、入院や老健施設への入所が増え、ケアプラン作成件数が減少した結果となった。10月から予防プランも受けて、今後の利用者の確保に向けて、長期的な視野で臨んでいきたい。
 また、質の高いケアを提供できるよう外部研修に参加し、自己研鑽に努めるとともに、市、包括等の多職種との連携を図りながら職員一人ひとりが危機感と責任感を持って職務を遂行していきたい。

3 4 児童館・児童センター事業(市受託事業)

【令和元年度事業費】 60,976 千円

上田地区児童館・児童センター事業

【事業概要】

「児童福祉法」第 40 条に規定されている児童厚生施設として、上田市が設置した 2 児童館(朝日が丘・緑が丘)・6 児童センター(川辺町・秋和・東塩田・大星・神科・神川)を平成 9 年度から上田市社会福祉協議会が管理運営している。

地域の子どもたちに安心して遊べる場を提供し、いろいろな遊びや活動を通して、健康で情操豊かな子どもを育てることを目的としている。

開館時間は、平日は午後 1 時から午後 6 時まで、土曜日や長期休み等小学校の休業日は午前 9 時から午後 6 時までである。

事業実績

(1) 上田地区児童館

近年、保護者の就労等で留守家庭が増えていることから、その対策として、小学校から直接来館する下校途中の利用をはじめ、平成 17 年 3 月の春休みからは、小学校休業日に弁当持参での利用もできるようになり、児童の放課後の居場所として、ますます重要度を増している。

また、対応の難しい児童や特別な支援を必要としている児童の利用が増えているため、様々な研修会に参加し職員のスキルアップに努めた。

ア 地区懇談会

- | | |
|---------------|-------------|
| (ア) 朝日が丘児童館 | 5 月 16 日(木) |
| (イ) 神科児童センター | 5 月 28 日(火) |
| (ウ) 緑が丘児童館 | 5 月 27 日(月) |
| (エ) 神川児童センター | 6 月 5 日(水) |
| (オ) 大星児童センター | 5 月 20 日(月) |
| (カ) 秋和児童センター | 5 月 21 日(火) |
| (キ) 東塩田児童センター | 5 月 29 日(水) |
| (ク) 川辺町児童センター | 5 月 30 日(木) |

イ 研修会への参加

- (ア) 子育て・子育て支援課主催の発達障がい支援者向け講演会
- (イ) ファミリー・サポート・センター講習会(支援を必要としている子どもへの対応等)
- (ウ) 上小圏域自立支援協議会「療育・発達専門部会」
- (エ) 救急法講習会

ウ 利用者アンケート

令和元年 12 月から令和 2 年 1 月の期間に、児童館・児童センターを利用している方へのアンケートを実施した。

エ その他

年間を通して、季節や伝統の行事、工作や手芸、ドッチボールや一輪車などの体育的活動、毎月のお話・絵本の会、囲碁将棋の会、講師によるコンサートなどを実施した。また、毎月児童館だよりを発行し、小学校に配布したほか、自治会にも回覧して地域に活動を知らせた。サマーチャレンジボランティアや地域の方のボランティアを受け入れた。

利用状況

(1) 上田地区児童館

ア 朝日が丘児童館

(ア) 令和元年度利用状況

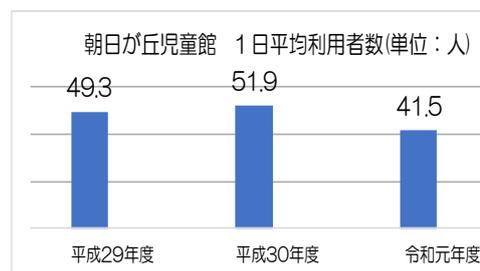
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者数(人)	1,081	1,032	1,032	1,462	1,261	838	
開館日数(日)	24	22	25	26	22	23	
1日平均利用者(人)	45.0	46.9	41.3	56.2	57.3	36.4	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
利用者数(人)	922	947	1,030	731	737	704	11,777
開館日数(日)	25	24	24	21	23	25	284
1日平均利用者(人)	36.9	39.5	42.9	34.8	32.0	28.2	41.5

(イ) 推移

	利用者数(人)
平成29年度	14,159
平成30年度	14,855
令和元年度	11,777



	開館日数(日)
平成29年度	287
平成30年度	286
令和元年度	284



	1日平均利用者(人)
平成29年度	49.3
平成30年度	51.9
令和元年度	41.5

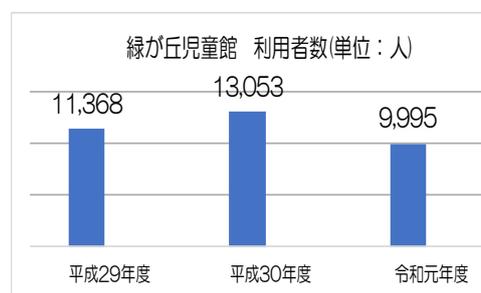
イ 緑が丘児童館

(ア) 令和元年度利用状況

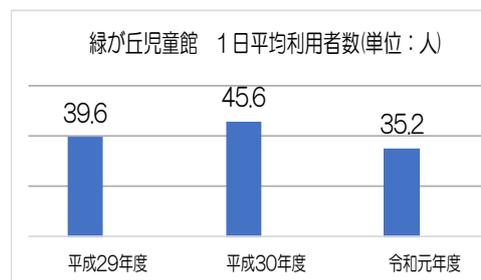
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者数(人)	894	1,000	963	988	694	874	
開館日数(日)	24	22	25	26	22	23	
1日平均利用者(人)	37.3	45.5	38.5	38.0	31.5	38.0	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
利用者数(人)	960	923	994	772	681	252	9,995
開館日数(日)	25	24	24	21	23	25	284
1日平均利用者(人)	38.4	38.5	41.4	36.8	29.6	10.1	35.2

(イ) 推移

	利用者数(人)
平成29年度	11,368
平成30年度	13,053
令和元年度	9,995



	開館日数(日)
平成29年度	287
平成30年度	286
令和元年度	284



	1日平均利用者(人)
平成29年度	39.6
平成30年度	45.6
令和元年度	35.2

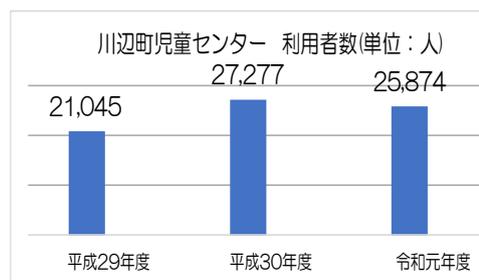
ウ 川辺町児童センター

(ア) 令和元年度利用状況

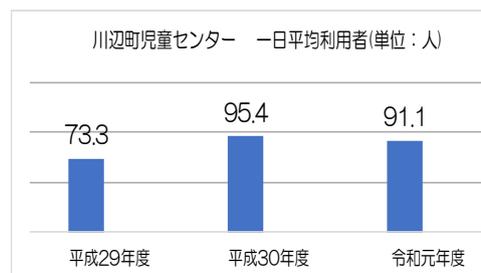
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者数(人)	2,097	2,327	2,464	2,826	2,253	2,173	
開館日数(日)	24	22	25	26	22	23	
1日平均利用者(人)	87.4	105.8	98.6	108.7	102.4	94.5	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
利用者数(人)	2,357	2,154	2,252	1,926	1,887	1,158	25,874
開館日数(日)	25	24	24	21	23	25	284
1日平均利用者(人)	94.3	89.8	93.8	91.7	82.0	46.3	91.1

(イ) 推移

	利用者数(人)
平成 29 年度	21,045
平成 30 年度	27,277
令和元年度	25,874



	開館日数(日)
平成 29 年度	287
平成 30 年度	286
令和元年度	284



	1 日平均利用者(人)
平成 29 年度	73.3
平成 30 年度	95.4
令和元年度	91.1

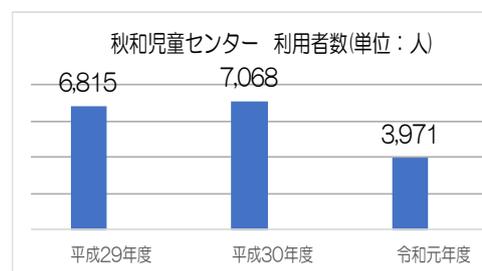
エ 秋和児童センター

(ア) 令和元年度利用状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
利用者数(人)	480	478	294	450	429	343	
開館日数(日)	24	22	25	26	22	23	
1 日平均利用者(人)	20.0	21.7	11.8	17.3	19.5	14.9	
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	累計
利用者数(人)	319	322	279	201	172	204	3,971
開館日数(日)	25	24	24	21	23	25	284
1 日平均利用者(人)	12.8	13.4	11.6	9.6	7.5	8.2	14.0

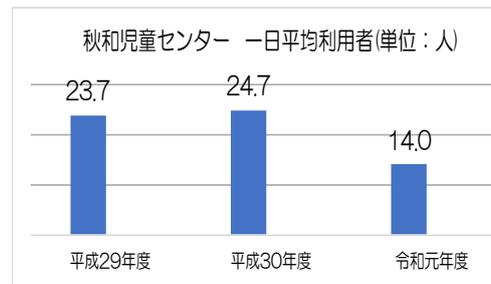
(イ) 推移

	利用者数(人)
平成 29 年度	6,815
平成 30 年度	7,068
令和元年度	3,971



	開館日数(日)
平成 29 年度	287
平成 30 年度	286
令和元年度	284

	1日平均利用者(人)
平成29年度	23.7
平成30年度	24.7
令和元年度	14.0



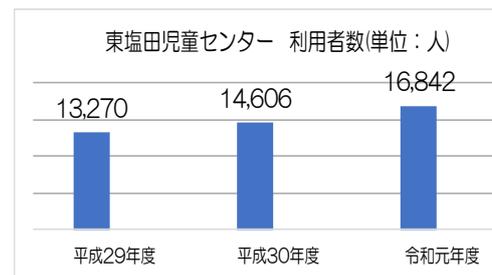
オ 東塩田児童センター

(ア) 令和元年度利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者数(人)	1,217	1,425	1,464	1,827	1,326	1,510	
開館日数(日)	24	22	25	26	22	23	
1日平均利用者(人)	50.7	64.8	58.6	70.3	60.3	65.7	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
利用者数(人)	1,698	1,681	1,583	1,240	1,358	513	16,842
開館日数(日)	25	24	24	21	23	25	284
1日平均利用者(人)	67.9	70.0	66.0	59.0	59.0	20.5	59.3

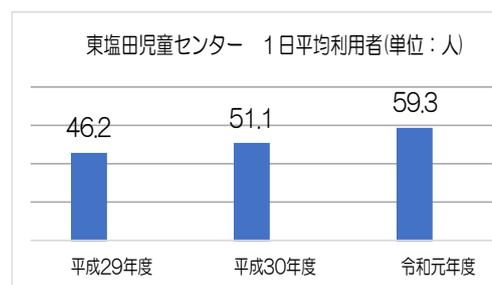
(イ) 推移

	利用者数(人)
平成29年度	13,270
平成30年度	14,606
令和元年度	16,842



	開館日数(日)
平成29年度	287
平成30年度	286
令和元年度	284

	1日平均利用者(人)
平成29年度	46.2
平成30年度	51.1
令和元年度	59.3



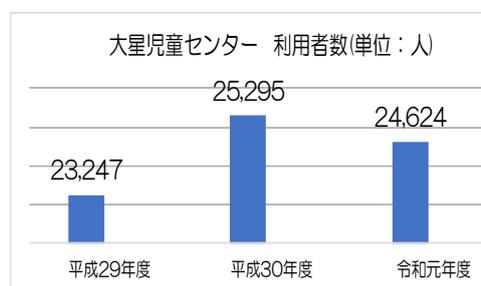
カ 大星児童センター

(ア) 令和元年度利用状況

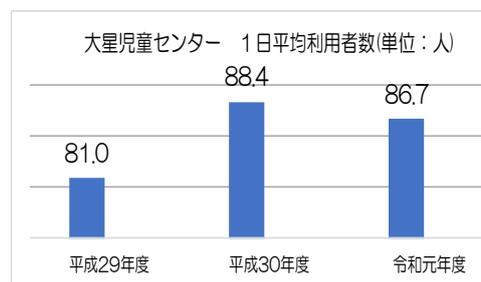
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者数(人)	2,301	2,450	2,361	2,693	2,271	2,042	
開館日数(日)	24	22	25	26	22	23	
1日平均利用者(人)	95.9	111.4	94.4	103.6	103.2	88.8	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
利用者数(人)	2,256	2,083	2,000	1,643	1,415	1,109	24,624
開館日数(日)	25	24	24	21	23	25	284
1日平均利用者(人)	90.2	86.8	83.3	78.2	61.5	44.4	86.7

(イ) 推移

	利用者数(人)
平成29年度	23,247
平成30年度	25,295
令和元年度	24,624



	開館日数(日)
平成29年度	287
平成30年度	286
令和元年度	284



	1日平均利用者(人)
平成29年度	81.0
平成30年度	88.4
令和元年度	86.7

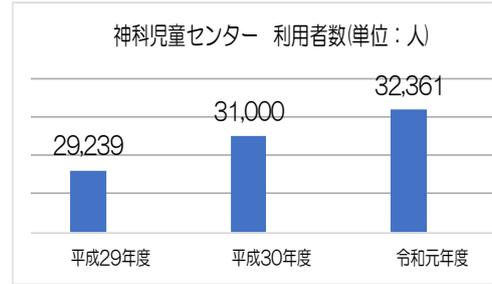
キ 神科児童センター

(ア) 令和元年度利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者数(人)	2,732	3,135	3,251	3,567	2,705	2,681	
開館日数(日)	24	22	25	26	22	23	
1日平均利用者(人)	113.8	142.5	130.0	137.2	123.0	116.6	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
利用者数(人)	3,087	2,840	2,810	2,287	2,349	917	32,361
開館日数(日)	25	24	24	21	23	25	284
1日平均利用者(人)	123.5	118.3	117.1	108.9	102.1	36.7	113.9

(イ) 推移

	利用者数(人)
平成 29 年度	29,239
平成 30 年度	31,000
令和元年度	32,361



	開館日数(日)
平成 29 年度	287
平成 30 年度	286
令和元年度	284



	1日平均利用者(人)
平成 29 年度	101.9
平成 30 年度	108.4
令和元年度	113.9

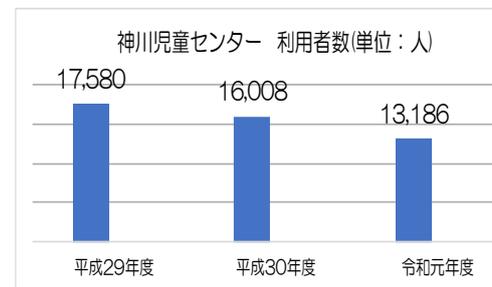
ク 神川児童センター

(ア) 令和元年度利用状況

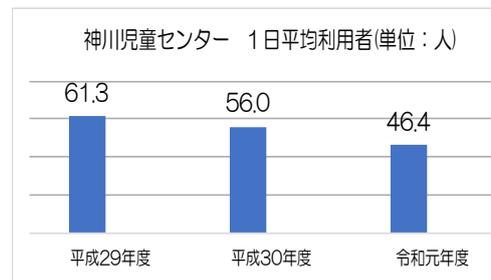
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者数(人)	1,141	1,116	1,267	1,490	1,224	1,160	
開館日数(日)	24	22	25	26	22	23	
1日平均利用者(人)	47.5	50.7	50.7	57.3	55.6	50.4	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
利用者数(人)	1,300	1,228	1,143	810	952	355	13,186
開館日数(日)	25	24	24	21	23	25	284
1日平均利用者(人)	52.0	51.2	47.6	38.6	41.4	14.2	46.4

(イ) 推移

	利用者数(人)
平成 29 年度	17,580
平成 30 年度	16,008
令和元年度	13,186



	開館日数(日)
平成 29 年度	287
平成 30 年度	286
令和元年度	284



	1日平均利用者(人)
平成 29 年度	61.3
平成 30 年度	56.0
令和元年度	46.4

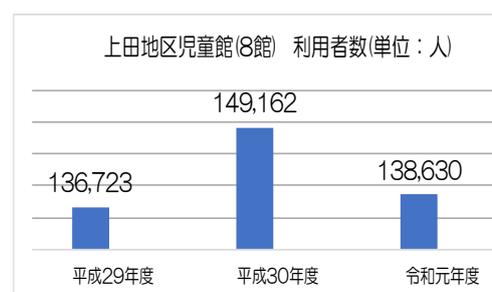
ケ 上田地区児童館(8館)

(ア) 令和元年度利用状況

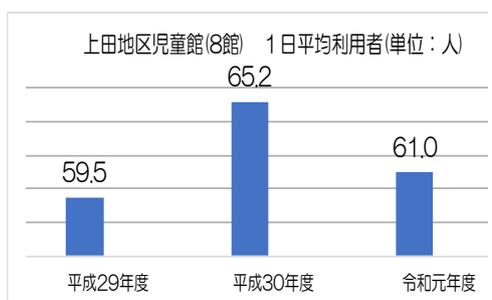
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者数(人)	11,943	12,963	13,096	15,303	12,163	11,621	
開館日数(日)	192	176	200	208	176	184	
1日平均利用者(人)	62.2	73.7	65.5	73.6	69.1	63.2	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
利用者数(人)	12,899	12,178	12,091	9,610	9,551	5,212	138,630
開館日数(日)	200	192	192	168	184	200	2,272
1日平均利用者(人)	64.5	63.4	63.0	57.2	51.9	26.1	61.0

(イ) 推移

	利用者数(人)
平成 29 年度	136,723
平成 30 年度	149,162
令和元年度	138,630



	開館日数(日)
平成 29 年度	287
平成 30 年度	286
令和元年度	284



	1日平均利用者(人)
平成 29 年度	59.5
平成 30 年度	65.2
令和元年度	61.0

利用者アンケート報告

令和元年12月から令和2年1月に利用者アンケートを実施した。
寄せられた意見を参考に、これからの児童館・児童センターのより良い運営につなげていきたい。

【アンケート回答者数 318人】

【満足の声】

- ・子どもが楽しみに通っている
- ・職員の対応が親切で丁寧である
- ・子どもをよく見てくれるので、安心して
いる
- ・毎月のイベントや工作、行事があって楽
しい
- ・学校や家庭ではできないことができる 等

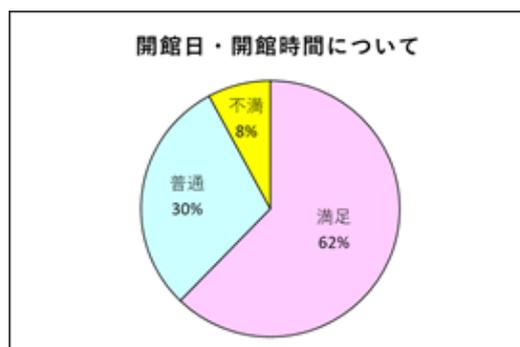
【不満の声】

- ・小学校の長期休みの開館時間を早めて
ほしい
- ・閉館時間をもう少し遅くしてほしい 等

(1) 施設の管理・運営について

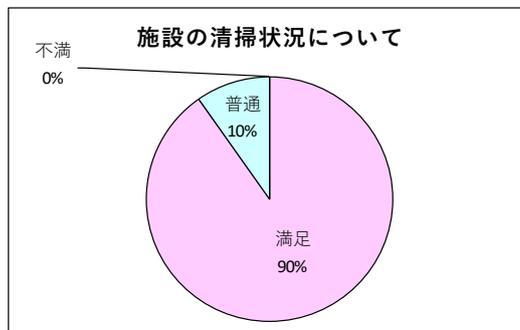
ア 開館日・開館時間について

児童館・児童センター名	満足	普通	不満
朝日が丘	25	15	8
緑が丘	24	4	0
川辺町	28	24	6
秋和	9	0	0
東塩田	18	6	0
大星	37	19	6
神科	38	17	4
神川	17	10	1
下丸子	2	0	0
合計	198	95	25



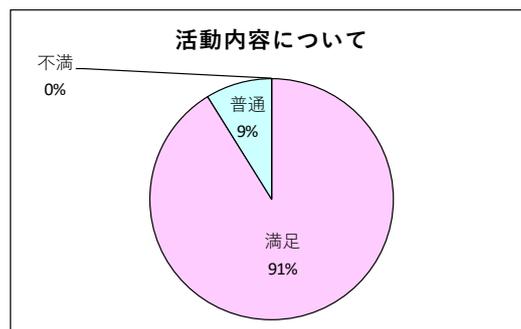
イ 施設の清掃状況について

児童館・児童センター名	満足	普通	不満
朝日が丘	39	9	0
緑が丘	26	2	0
川辺町	55	3	0
秋和	9	0	0
東塩田	24	0	0
大星	50	12	0
神科	57	2	0
神川	25	3	0
下丸子	2	0	0
合計	287	31	0



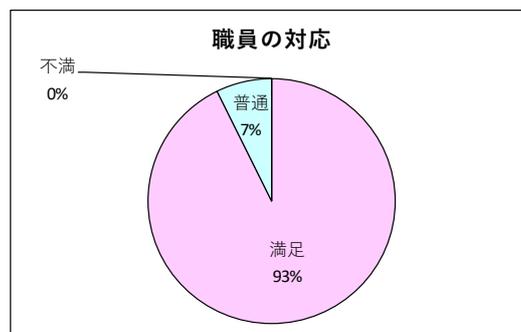
ウ 活動内容について

児童館・児童センター名	満足	普通	不満
朝日が丘	40	8	0
緑が丘	26	2	0
川辺町	53	5	0
秋和	9	0	0
東塩田	24	0	0
大星	52	10	0
神科	58	1	0
神川	26	2	0
下丸子	2	0	0
合計	290	28	0



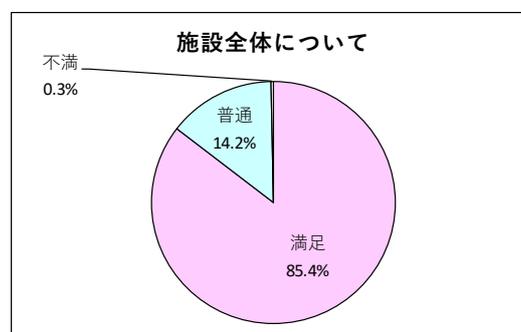
エ 職員の対応

児童館・児童センター名	満足	普通	不満
朝日が丘	42	6	0
緑が丘	27	1	0
川辺町	55	3	0
秋和	9	0	0
東塩田	23	1	0
大星	56	6	0
神科	56	2	1
神川	24	4	0
下丸子	2	0	0
合計	294	23	1



オ 施設全体について

児童館・児童センター名	満足	普通	不満	無回答
朝日が丘	34	14	0	0
緑が丘	25	3	0	0
川辺町	47	10	0	1
秋和	9	0	0	0
東塩田	24	0	0	0
大星	51	11	0	0
神科	54	3	1	1
神川	24	4	0	0
下丸子	2	0	0	0
合計	270	45	1	2



評価・課題

児童館では、児童が期待を持って来館し、楽しく取り組めるような行事や活動（制作や様々な運動）を実施し、好評だった。小学校とはまた違った環境の中で、新たな友達関係ができたことも大きな喜びとなった。

利用者人数は児童館の立地条件や地域性により差があり、全体的には減少傾向が見られる。年度末には、インフルエンザの流行や新型コロナウイルス感染拡大防止のため、利用者が減少したことの影響も考えられる。

毎月1回、施設内外の安全点検を実施し、危険箇所の早期対応に努め、避難訓練の実施や安全管理の研修会、救急法の講習会に参加し、安全管理に努めた。

発達障がい児童は、コミュニケーションが苦手、落ち着きがない、こだわりがある等の特徴があり、児童館の生活に慣れるまで、時間を要することもあった。職員は、発達障がいの研修会等に参加し、職員のスキルを深め、個々に合った分かりやすい支援に心がけた。また、保護者や小学校、専門機関と連携を取りながら対応した。

利用者アンケートを実施し、多くの貴重な意見をいただいた。利用者にとって信頼される児童館を目指していきたい。

今後も、毎年現状を見直し、職員の資質向上に努め、児童や保護者の安心安全につなげていきたい。

下丸子児童館事業

【事業概要】

- (1) 開館時間：平日（5月～10月午後3時30分～午後5時30分、11月～4月午後3時00分～午後5時00分）
- (2) 長期休み：午後1時～午後5時（夏休みは午後1時～午後5時30分）

利用状況

(1) 令和元年度利用状況

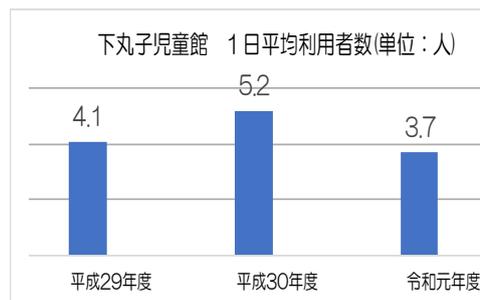
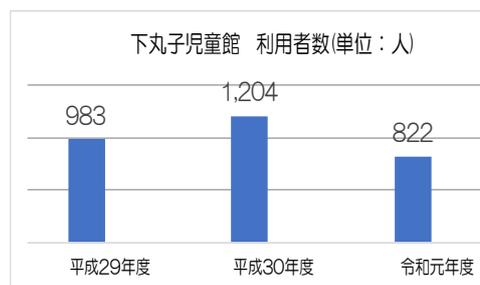
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者数(人)	97	135	101	105	77	52	
開館日数(日)	20	19	20	22	17	19	
1日平均利用者(人)	4.9	7.1	5.1	4.8	4.5	2.7	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
利用者数(人)	80	41	52	41	35	6	822
開館日数(日)	21	20	20	18	20	9	225
1日平均利用者(人)	3.8	2.1	2.6	2.3	1.8	0.7	3.7

(2) 推移

	利用者数(人)
平成 29 年度	983
平成 30 年度	1,204
令和元年度	822

	開館日数(日)
平成 29 年度	287
平成 30 年度	286
令和元年度	225

	1日平均利用者(人)
平成 29 年度	4.1
平成 30 年度	5.2
令和元年度	3.7



35 その他の事業

団体事務局

(1) 上田地区センター

ア 上田市高齢者クラブ連合会

上田市高齢者クラブ連合会は4地域(上田、丸子、真田、武石)の活動の交流や長野県老人クラブ連合会の事業への参加等を行っている。

(ア) 長野県老人クラブ連合会等主催行事への参加

- 6月23日(木) 東信地区ブロック研修会 小諸市ベルウィンこもろ 19人参加
- 6月7日(金) 上田地域福寿クラブ連合会 定期大会 正副会長参加
- 7月24日(水) 東信地区 女性指導者研修会 青木村文化会館 19人参加
- 10月31日(木) 第60回長野県老人クラブ大会
長野市ホクト文化ホール 中止
- 令和2年2月27日・28日東信地区リーダー研修会
坂城町老人クラブ連合会 当番幹事 中止

(イ) 大会、講習会等の合同開催について

- 第37回 三世代ファミリースポーツ大会(ゲートボール)
日時:8月4日(日)
場所:上田市古戦場公園 室内多目的運動場 4チーム参加
- 第12回マレットゴルフ大会
日時:10月30日(水)
場所:ハーブ橋マレットゴルフ場 中止
- 男性料理教室

時期：11月下旬から12月上旬

上田地域福寿クラブ連合会 8会場 53人参加

- ・ シルバースポーツ教室

時期：令和2年/1月下旬から2月上旬

上田地域福寿クラブ連合会 7会場 210人参加

(ウ) 正副会長会、理事会の開催

- ・ 4月25日(木) 会計監査・理事会
議事 役員改選(地域役員改選に伴う)
平成30年度 事業報告・決算報告・会計監査報告
令和元年度 事業計画(案)・予算(案)
- ・ 令和2年1月8日(水)
上田市市長・上田市社会福祉協議会長へ表敬訪問
正副会長・事務局会議
議事 研修会について、役員改選について

イ 上田地域福寿クラブ連合会

上田地域福寿クラブ連合会の活動は、健康長寿、フレイル予防、引きこもり防止のため各種シルバースポーツの推進、生きがいと健康づくりの推進の維持、継続を行う。

(ア) 正副会長関係

4月2日(火)	平成30年度会計監査	高齢者福祉センター
9日(火)	総務教養・女性部会議	〃
10日(水)	社会福祉・保健部会議	〃
16日(火)	理事会・代議員会	〃
25日(木)	高齢者クラブ連合会会計監査・理事会	〃
5月8日(水)	表彰審査委員会(福寿クラブ会長表彰)	高齢者福祉センター
29日(水)	定期大会打合せ会議	〃
6月7日(金)	第35回福寿クラブ連合会定期大会	上田文化会館
13日(木)	県老連東信地区ブロック研修会	小諸市
27日(木)	福寿クラブ連合会指導者(単位クラブ会長)研修会	中央公民館
7月24日(水)	県老連東信地区女性指導者研修会	青木村
8月21日(水)	理事会	香青軒
10月4日(金)	人権を考える市民のつどい	上田市サントミュージゼ
31日(木)	第60回長野県老人クラブ連合会定期大会 長野市ホクト文化ホール 中止	
11月9日(土)	人権啓発担当者研修会	西部公民館
12日(火)~13日(水)	他県老連交流会	群馬県安中市
1月21日(火)	正副会長会	高齢者福祉センター
2月18日(火)	理事会	高齢者福祉センター
2月27日(木)~28日(金)	東信地区リーダー研修会 通年事業：金婚祝賀事業(昭和44年結婚夫婦) お茶のみサロン設置事業	坂城町 中止 19組 32クラブ

(イ) 総務教養部関係

(平成31年~令和元年)

4月9日(火)	総務教養部会	高齢者福祉センター
23日(火)	高齢者学園入学式	高齢者福祉センター
6月7日(金)	第35回福寿クラブ連合会定期大会	上田文化会館
9月3日(火)	編集委員会 9/17・9/24 第80号「うえだ福寿だより」発行	高齢者福祉センター
10月4日(金)	人権を考える市民のつどい	上田市サントミュージゼ
10月31日(木)	第60回長野県老人クラブ連合会定期大会	

長野市ホクト文化ホール 中止

- 11月9日(土) 人権啓発担当者研修会 西部公民館
 12日(火)～13日(水) 他県老連交流会 群馬県安中市
 1月27日(月) 編集委員会 2/12・2/19日 高齢者福祉センター
 3月1日(日) 第81号「うえだ福寿だより」発行
 30日(月) 高齢者学園卒業式 高齢者福祉センター
- (ウ) 保健部関係
- 4月10日(水) 保健部会 高齢者福祉センター
 5月中旬～ 第27回シルバースポーツ大会地区大会 各地区公民館等
 6月14日(金) シルバースポーツ大会中央決勝大会
 26チーム参加 上田城跡公園体育館
 7月3日(水) 第2回福寿連グラウンドゴルフ大会 54人参加
 上田城跡公園陸上競技場
 8月4日(日) 第37回ファミリーゲートボール大会 4チーム参加
 上田原古戦場公園
 9月4日(水) 第27回福寿連ゲートボール大会 4チーム参加
 上田原古戦場公園
 10月9日(水) 第21回福寿連マレットゴルフ大会 85人参加 ハーブ橋マレット場
 10月30日(水) 市高齢者クラブ連合会マレットゴルフ ハーブ橋マレット場 中止
 11月20日(水) 男性料理教室補助員事前講習会 26人参加 市民プラザ・ゆう
 26日(火)～12月6日(金) 男性料理教室 153人参加 7地区公民館
 1月28日(火)～2月6日(木) シルバースポーツ教室 210人参加 7地区公民館
 3月20日(金) ファミリースマイルボウリング大会
 19チーム参加申込み 城跡公園体育館 中止
 通年事業：パソコン教室 参加者97人 前期4月開講 後期10月開講

(エ) 社会福祉部関係

(平成31年～令和元年)

- 4月10日 社会福祉部会 高齢者福祉センター
 6月中旬 寝たきり老人調査依頼
 9月～ 前期ふれあい献金事業開始 前期計 329,515円
 9月9日、10日 寝たきり会員訪問活動 (紙おむつ配布 48人) 各支部指定場所
 10月5日 第41回うえだ市民ふれあい広場 コーナー設置、活動 上田創造館
 2月～ 後期ふれあい献金事業開始 後期計 158,587円 合計 488,102円

(オ) 女性部関係

- 4月9日(火) 女性部会 高齢者福祉センター
 7月24日(水) 県老連 東信地区女性指導者研修会 青木村
 9月26日(木) 女性部会 (ふれあい広場準備会) 高齢者福祉センター
 10月5日(土) 第41回うえだ市民ふれあい広場コーナー設置、活動 上田創造館
 10月17日(木) 赤い羽根共同募金運動参加 5人参加 イオン上田店
 11月20日(水) 男性料理教室補助員事前講習会 26人参加 市民プラザ・ゆう
 11月26日(火)～12月6日(金) 男性料理教室 153人参加 7地区公民館等

ウ 上田市遺族会

- (ア) 役員総会 4月18日(木)
 (イ) 靖国神社参拝 4月25日(木)
 (ウ) 全国戦没者追悼式 8月15日(木)
 (エ) 長野県護国神社参拝 10月10日(木)
 (オ) 第67回長野県遺族大会 11月7日(木)
 (カ) 令和元年度長野県戦没者追悼式 11月8日(金)
 (キ) 令和元年度上田市戦没者追悼式・第63回上田市戦没者遺族大会 11月26日(火)

(2) 丸子地区センター

ア 丸子地域高齢者クラブ連合会

(ア) 高齢者クラブ数 33 単位クラブ 1,366 人

(イ) 会議、行事等

- ・ 理事会、会計監査 4月9日(火)
- ・ 丸子地域高齢者クラブ連合会総会 4月23日(火)
- ・ 理事会 6月4日(火)
- ・ 会長会 (出前講座「丸子まちづくり会議交通部会の活動について～丸子地域の公共交通を考える～」) 6月4日(火)
- ・ 県老連 東信地区ブロック研修会 6月13日(木)
- ・ いきいきフェスティバル (シルバー作品展) 7月5日(金)、6日(土)
- ・ 県老連 東信地区女性指導者研修会 7月24日(水)
- ・ 理事会 9月9日(月)
- ・ 第24回丸子地域シルバースポーツ大会 9月25日(水)
- ・ 女性部手芸講習会 10月29日(火)
- ・ 第60回長野県老人クラブ大会(中止) 10月30日(木)
- ・ 上田市高齢者クラブ連合会マレットゴルフ大会(中止) 10月31日(木)
- ・ 視察研修会(静岡県伊豆市) 11月19日(火)、20日(水)
- ・ 冬季スポーツ交流会(全4回)
12月9日(月)、1月27日(月)、2月29日(土)(中止)、3月23日(月)(中止)
- ・ 理事会 3月19日(木)
- ・ 県老連 東信地区リーダー研修会(中止) 2月27日(木)、28日(金)
- ・ まるこ高連だより(年3回発行) 7月、11月、3月

イ 上田市丸子地区赤十字奉仕

(ア) 施設・病院ボランティア

- ・ ベルポートまるこ
月2回の話相手やおやつ作りなどのボランティア
5月～10月夏祭り ボランティア 7月21日(日)
- ・ 鹿教湯病院
鹿教湯病院祭でのボランティア活動 6月8日(土)

(イ) 視察研修会

諏訪赤十字病院にて備蓄倉庫や災害救護車両見学 6月19日(水)

(ウ) いきいきフェスティバルに参加 7月6日(土)

(エ) 丸子地域防災訓練 西内小学校において炊き出し訓練
ハイゼックス包装食袋にて提供 8月31日(土)

(オ) 救急法講習会 AEDを使用した心肺蘇生法
9月18日(水)、2月12日(水)

(カ) 丸子地域消費生活展に参加 11月16日(土)

(3) 真田地区センター

ア 真田地域長寿会

(ア) 高齢者クラブ数 15 単位クラブ 1,043 人

(イ) 会議、行事等

- ・ 第60回 総代会 4月26日(金)
- ・ 東信地区市町村老人クラブブロック研修会 6月13日(木)
- ・ 真田地域マレットゴルフ大会 6月20日(木)
- ・ 真田地域マレットゴルフ大会 7月17日(木)
- ・ 老人クラブ女性指導者研修会 7月24日(水)
- ・ 金婚祝いお届け 9月14日(金)
- ・ 第42回体育祭 10月3日(木)

- ・ ふれあい広場に参画 10月6日(土)
- ・ さわやかゲートボール大会 10月8日(火)
- ・ ニコニコ健康教室 10月17日(木)
(台風のため中止)
- ・ 第60回長野県老人クラブ連合会大会(長野市) 10月30日(水)
(台風のため中止)
- ・ 上田市高齢者クラブ連合会マレットゴルフ大会 10月30日(水)
(台風のため中止)
- ・ 視察研修旅行 千葉家浦安方面 11月24日(日)~25日(月)
- ・ 第10回高齢者の健康を考えるつどい 2月1日(土)
- ・ 講演会 「私が目指してきた松本市のまちづくり」
講師 松本市長 菅谷 昭氏
参加者 246人
- ・ 他役員会、理事、監事、地域長寿会、女性部長会 7回開催
- ・ 伝承広場の開催
5月27日(月) 菅平小学校、7月10日(水) 本原小学校
9月27日(金) 傍陽小学校、7月23日(火) 長小学校

イ 真田町身体障害者福祉協会事務局

- (ア) 第45回上小地区障がい者スポーツ大会 5月25日(土)
- (イ) 総会 6月8日(土)
- (ウ) 第70回長野県身体障害者福祉大会 8月29日(木)
- (エ) 第19回長野県障がい者スポーツ大会 9月8日(日)

(4) 武石地区センター

ア 武石高齢者クラブ連合会

- (ア) 地区高齢者クラブ数 12クラブ 会員548人
- (イ) 老人センター寿楽荘庭手入れ 6月20日(木)、9月19日(木) 延べ90人
- (ウ) 女性部指導者研修会 7月24日(水) 5人
- (エ) マレットゴルフ大会 5月30日(木)、9月26日(木) 延べ107人
- (オ) 保育園児との交流 6月12日(水)、11月8日(金) 延べ15人
- (カ) ニュースポーツ大会 6月20日(木) 39人
- (キ) 講演会(講師 村岡裕氏) 10月9日(水) 51人
- (ク) 研修旅行 11月12日(月)~13日(火) 延べ17人
- (ケ) 高齢者福祉施設の洗濯物たたみ(女性部)
5月~11月 12回 延べ44人
- (コ) お茶オケサロン、健康マージャン 毎週水曜日、土曜日 延べ1,688人

イ 一人暮らし老人もみじ会

- (ア) 春の研修会 7月4日(木)、5日(金)
- (イ) 秋の研修会 11月5日(火)、6日(水)
- (ウ) 総会 3月27日(金)

ウ 武石身体障害者福祉協会

- (ア) 第45回上小地区障がい者スポーツ大会 5月25日(土)
- (イ) 視察研修(野沢温泉村) 7月4日(木)、5日(金)
- (ウ) 総会 3月26日(木)

エ 武石遺族会

- (ア) 役員会 6月14日(金)
- (イ) 武石地区靖国霊社祭 11月22日(金)

実行委員会事務局

(1) 上田地区センター

ア 上田市民ふれあい広場実行委員会

(ア) 実行委員会による事業の運営

(イ) 5月24日(金) 第1回実行委員会

(ウ) 7月25日(木) 第2回実行委員会

(エ) 9月20日(金) 第3回実行委員会

(オ) 10月15日(土) 第41回うえだ市民ふれあい広場開催 場所 上田創造館

(カ) 10月26日(土) 第4回実行委員会

実行委員 42団体 約267人 学生ボランティア 23人

来場者 約3,000人

(2) 丸子地区センター

ア いきいきフェスティバル実行委員会

身近な地域において支えあい、自分らしくともに生きる社会の実現に向け皆で考え、理解を深めることを目的として、丸子地域高齢者クラブ連合会、丸子ボランティア連絡協議会、上田市、上田市社会福祉協議会で構成する実行委員会が開催する。

(ア) 7月5日(金)、7月6日(土) 丸子文化会館 参加者 680人

(イ) 記念写真(米寿、白寿、金婚) 21組